

令和 6 年度

第 2 回 市政モニターアンケート報告書

テーマ

1. 自転車の利用環境
2. 大阪 880 万人訓練
3. 防災マップ閲覧方法・配架に関する効果測定
4. 上下水道局の取組
5. ごみ減量化・リサイクル
6. 生涯学習
7. 女性相談に関する意識調査
8. SDGs
9. 「（仮称）堺ミュージアム」のあり方

堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

目 次

■ 調査概要	1
■ 回答者属性	2
1. 自転車の利用環境	
調査結果の概要	3
(1) 都市魅力	4
(2) 利用促進	5
(3) 安全利用	11
(4) 自転車通行環境	13
(5) 駐輪環境	16
2. 大阪 880 万人訓練	
調査結果の概要	19
(1) 事前周知	20
(2) 情報収集手段	21
(3) 情報の伝達	23
(4) 訓練参加	24
(5) 訓練内容	25
(6) 訓練不参加理由	26
(7) 各種施策の周知	27
(8) 訓練実施時期	28
(9) 訓練実施方法	29
3. 防災マップ閲覧方法・配架に関する効果測定	
調査結果の概要	30
(1) 防災への関心	31
(2) 防災マップ	32
(3) 防災マップの配架先	36
(4) 防災マップの啓発効果	37
4. 上下水道局の取組	
調査結果の概要	39
(1) 水道水の飲み方	40
(2) 水道水の安全性	42
(3) 水道水への不満	44
(4) 家庭での備蓄状況	45

(5) 災害・地震対策.....	47
(6) 上下水道局スマホアプリ「すいりん」.....	48
(7) 上下水道局からの情報発信.....	52
(8) 上下水道局からの情報をご覧になった広報媒体や機会.....	53
(9) 上下水道局の情報発信の満足度.....	54
(10) 上下水道局から知りたい情報.....	55
5. ごみ減量化・リサイクル	
調査結果の概要.....	56
(1) 堺・ごみ減量 4R 大作戦.....	57
(2) 情報収集.....	62
6. 生涯学習	
調査結果の概要.....	65
(1) 生涯学習に対するイメージ.....	66
(2) 生涯学習の取組状況.....	67
(3) 今後の生涯学習.....	73
(4) 市の生涯学習施策.....	79
7. 女性相談に関する意識調査	
調査結果の概要.....	81
(1) 女性相談に関する意識調査.....	82
8. SDGs	
調査結果の概要.....	90
(1) SDGs 全体.....	91
(2) SDGs を意識した行動.....	94
9. 「（仮称）堺ミュージアム」のあり方	
調査結果の概要.....	108
(1) 博物館・美術館への関心.....	109
(2) 堺市博物館等への関心.....	110
(3) 堺の歴史・文化への関心.....	111
(4) （仮称）堺ミュージアムに期待する取組（展示等に関するサービス）.....	112
(5) （仮称）堺ミュージアムに期待する取組（イベント）.....	114
(6) （仮称）堺ミュージアムに期待する取組（その他サービス）.....	115

■ 調査概要

1. アンケートテーマ・担当課

(1) 自転車の利用環境

(担当課：建設局 サイクルシティ推進部 自転車企画推進課・自転車環境整備課・自転車対策事務所)

(2) 大阪 880 万人訓練

(担当課：危機管理室 危機管理課)

(3) 防災マップ閲覧方法・配架に関する効果測定

(担当課：危機管理室 防災課)

(4) 上下水道局の取組

(担当課：上下水道局 経営企画室 危機管理・広報広聴担当)

(5) ごみ減量化・リサイクル

(担当課：環境局 環境事業部 環境事業管理課)

(6) 生涯学習

(担当課：市民人権局 市民生活部 生涯学習課)

(7) 女性相談に関する意識調査

(担当課：子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課)

(8) SDGs

(担当課：市長公室 政策企画部 公民連携担当)

(9) 「(仮称) 堺ミュージアム」のあり方

(担当課：文化観光局 歴史遺産活用部博物館 学芸課)

2. 調査期間

令和 6 年 12 月 2 日 (月) ～令和 6 年 12 月 15 日 (日)

3. 調査方法

(1) 対象

市内在住・在勤・在学の 18 歳以上の方で、公募による市政モニター

(2) 人数

468 人

(3) 調査方法

インターネットを通じたアンケート回答

(4) 回収率

調査対象者 494 人に対して、有効回収数 468 人 回収率 94.7%となった。

4. 報告書の見方

(1) 本調査の集計分析対象とした調査票総数は 468 である。数表中の n は比例算出の基礎となる回答者総数を表している。

(2) 個々の選択肢比率を合算する場合は、個々の回答数の合計を n で除して百分率を求め、小数点第 2 位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が 100%にならない場合がある。

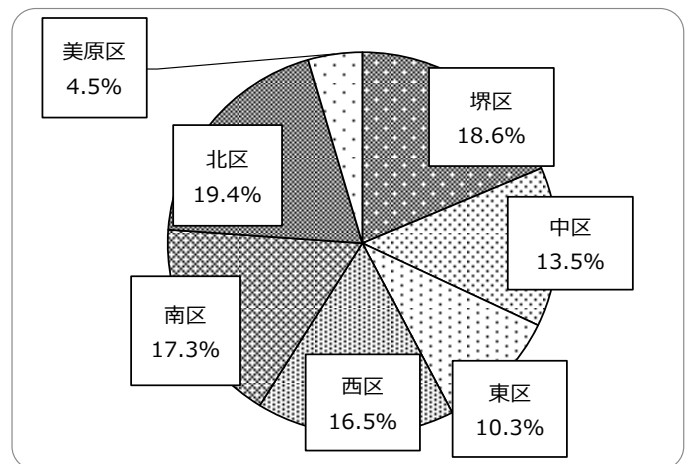
(3) アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が 100%を超える。

(4) 「その他記述」及び「自由回答」に関しては、紙面の都合上、主な内容を集約、抜粋して掲載した。

■回答者属性

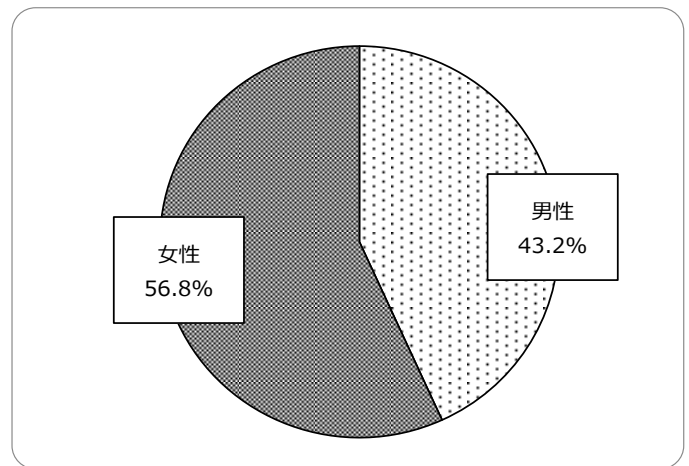
居住区別		回答数	構成比
1	堺区	87	18.6%
2	中区	63	13.5%
3	東区	48	10.3%
4	西区	77	16.5%
5	南区	81	17.3%
6	北区	91	19.4%
7	美原区	21	4.5%
	計	468	100.0%

居住区別



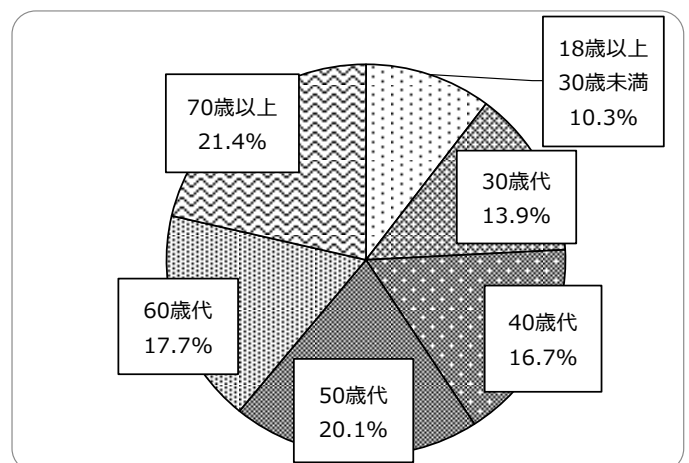
性別

性別		回答数	構成比
1	男性	202	43.2%
2	女性	266	56.8%
	計	468	100.0%



年齢層別

年齢層別		回答数	構成比
1	18歳以上30歳未満	48	10.3%
2	30歳代	65	13.9%
3	40歳代	78	16.7%
4	50歳代	94	20.1%
5	60歳代	83	17.7%
6	70歳以上	100	21.4%
	計	468	100.0%



1. 自転車の利用環境

調査結果の概要

テーマ	自転車の利用環境
担当課	建設局 サイクルシティ推進部 自転車企画推進課・自転車環境整備課・自転車対策事務所
設問数	15 問
趣旨・目的	本市では、本市が有する自転車の歴史・文化を踏まえつつ、市民が自転車に愛着を持ち、本市を訪れる人にも自転車を活用した「サイクルシティ堺」の実現をめざして取組を進めています。調査結果は、堺と自転車との歴史文化の発信強化、自転車利用の利便性向上、広域的な通行環境の整備に向けて活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る担当課の所見	・問 1 では、本市の自転車産業のルーツが百舌鳥古墳群にあることについて、「知っている」と回答した方が令和 5 年度の 33.1%から 26.9%に減少しており、情報発信に課題があることが分かりました。情報発信を強化していますが、今回の結果を踏まえ、市ホームページや SNS に加え、「大和川リバーサイドサイクルライン完成記念イベント」や新規に制作したロゴマークを活用することで、「サイクルシティ堺」として認知度の更なる向上を図ります。 ・問 4 では、自転車ヘルメット着用率について令和 5 年度の 3.7%から 8.7%に増加したものの、自転車を利用する際にヘルメットを着用している人が少ない結果となりました。自転車ヘルメット着用率向上のため、警察と連携した新たな講習会等を実施します。 ・問 11 では、原則車道通行であることを知っているが、問 10 の結果から車道を通行する方の割合は令和 5 年度から増加し、約 5 割となりましたが、今も約 3 割が車道を通行しないことが分かりました。 また、問 12 では、自転車通行空間の整備を推進すべきであると回答した方は令和 5 年度の 72.4%から 78.6%に増加しました。引き続き、自転車は原則車道通行であり、歩道通行は例外であるという観点に基づき、自転車通行環境の整備を推進します。 ・問 14 では、駅周辺の駐輪場が充足していないと回答した方が令和 5 年度に比べて増加しており、実際に一部の駐輪場では定期利用の順番待ちや一時利用が満車で利用できないところもあることから、需給バランスを踏まえた適切な駐輪場環境を確保します。

(1) 都市魅力

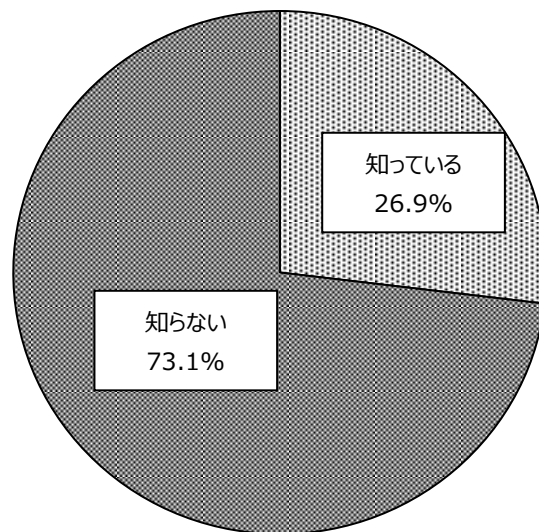
問1. 本市の自転車産業のルーツは古墳時代にあることを知っていますか。

※百舌鳥古墳群の築造で培われた鉄の加工技術が鉄砲、刃物へと伝わり自転車産業へと受け継がれています。

【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 26.9%であり、令和 5 年度の 33.1%から減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	126	26.9%
2	知らない	342	73.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(2) 利用促進

問 2. 自転車をどのような目的で利用していますか。

【複数選択可：いくつでも】

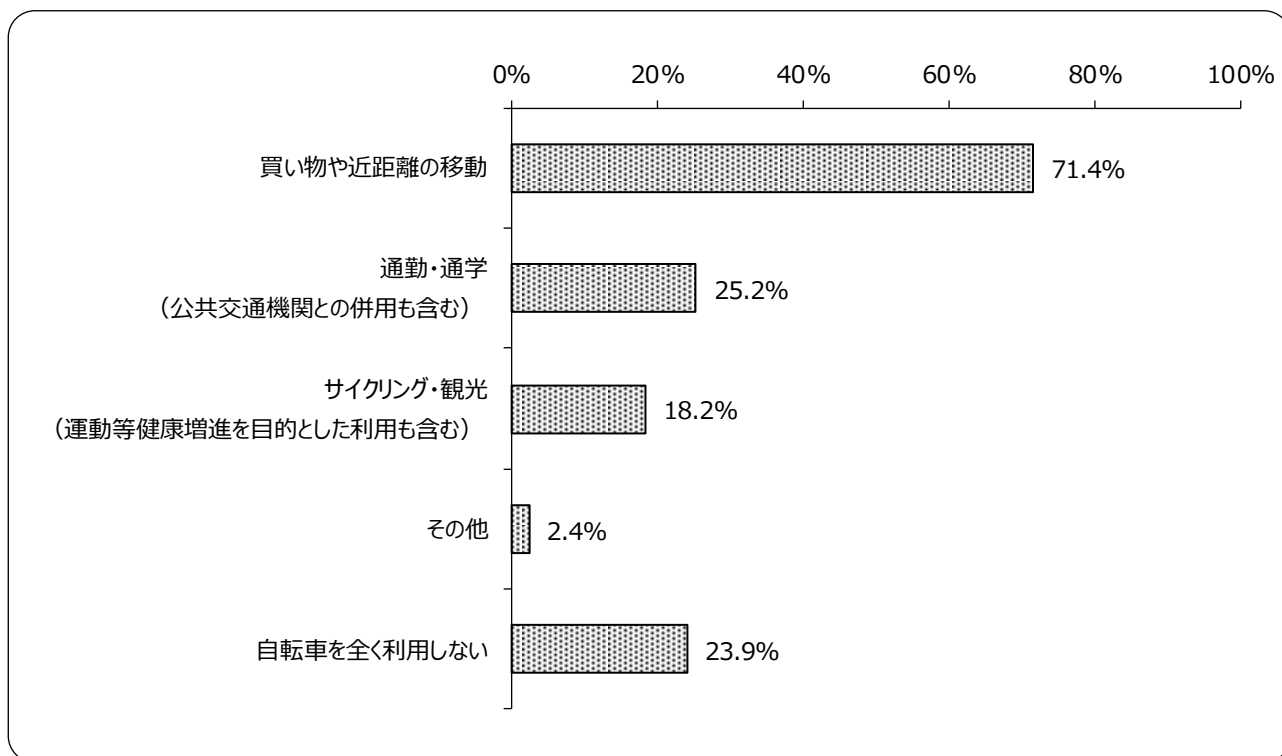
「サイクリング・観光（運動等健康増進を目的とした利用も含む）」と回答した方は 18.2%であり、令和 5 年度の 15.9%から増加した。また「買い物や近距離の移動」と回答した方は令和 5 年度と同様に最も多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	買い物や近距離の移動	334	71.4%
2	通勤・通学（公共交通機関との併用も含む）	118	25.2%
3	サイクリング・観光（運動等健康増進を目的とした利用も含む）	85	18.2%
4	その他	11	2.4%
5	自転車を全く利用しない	112	23.9%

[4 その他]

【主な回答】

- こどもの送迎・業務中の利用
- 習い事の送迎
- 必要時のみ

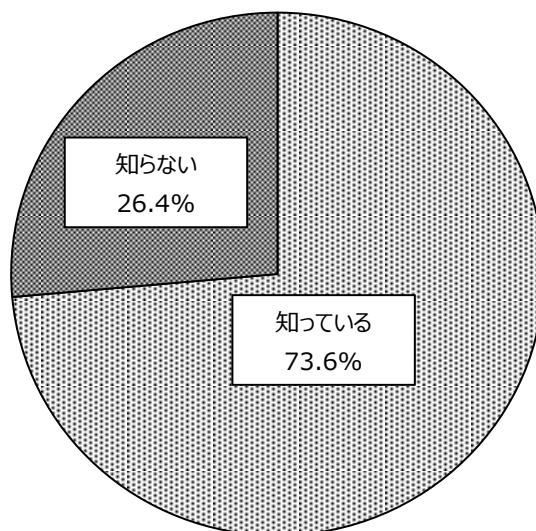


問 3. 問 2 で 1 から 4 のいずれかを選択された方に伺います。

大阪府内で自転車を利用する場合、自転車利用者は自転車損害賠償保険の加入が義務化されていることを
知っていますか。 【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は約 7 割を占めた。

	選択項目 (n=356)	回答数	構成比
1	知っている	262	73.6%
2	知らない	94	26.4%
	計 (回答総数)	356	100.0%



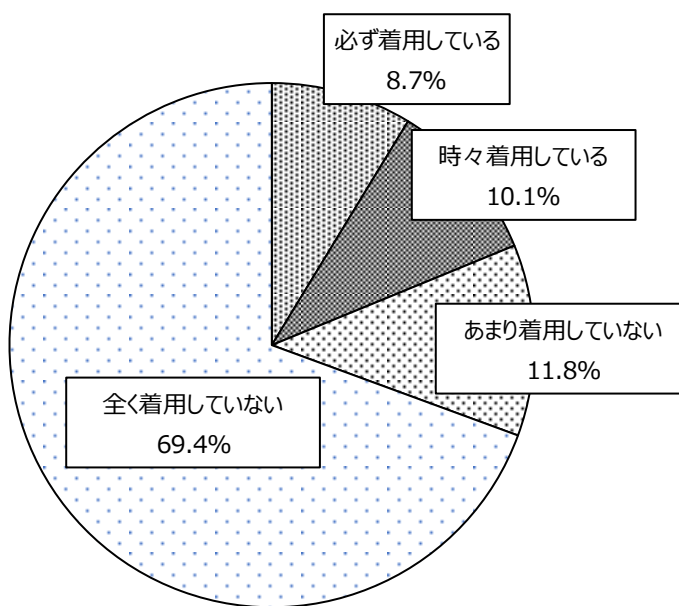
問 4. 問 2 で 1 から 4 のいずれかを選択された方に伺います。

自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。

【1 つ選択】

「必ず着用している」と回答した方は 8.7%であり、令和 5 年度の 3.7%から増加した。

	選択項目 (n=356)	回答数	構成比
1	必ず着用している	31	8.7%
2	時々着用している	36	10.1%
3	あまり着用していない	42	11.8%
4	全く着用していない	247	69.4%
	計 (回答総数)	356	100.0%

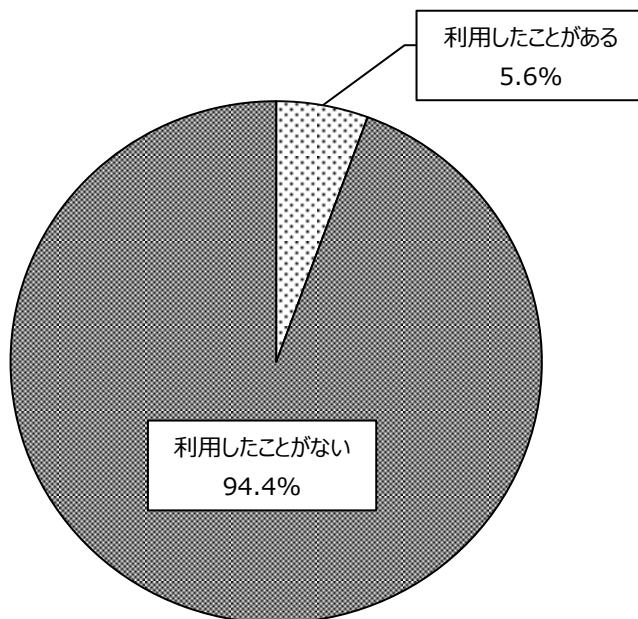


問 5. 堺市シェアサイクル※を利用したことがありますか。

※スマートフォンを活用し、利用者がどこのポート（自転車の貸出・返却拠点）でも貸出・返却できる便利な自転車シェアサイクルシステムです。 **【1つ選択】**

「利用したことがある」と回答した方は 5.6%であり、令和 5 年度の 4.0%から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	利用したことがある	26	5.6%
2	利用したことがない	442	94.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%



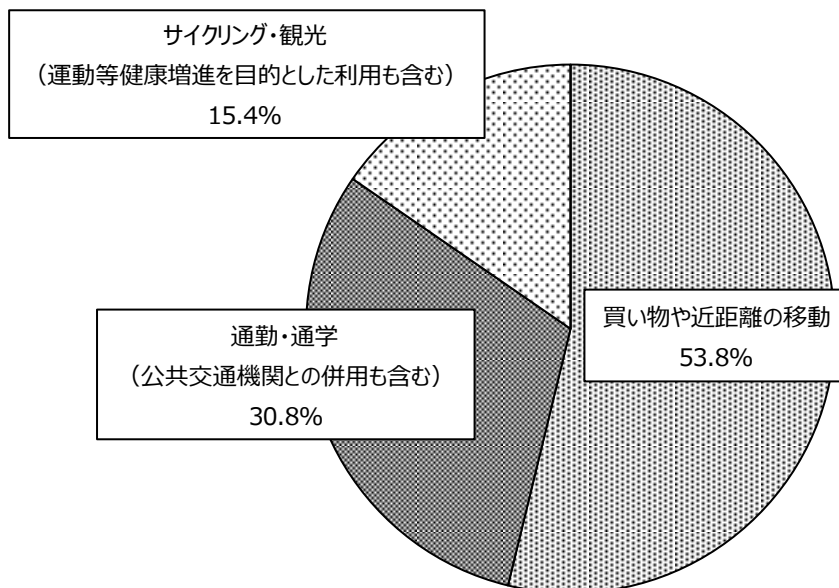
問 6. 問 5 で「1 利用したことがある」と回答された方に伺います。

シェアサイクルをどのような目的で利用していますか。

【1 つ選択】

「買い物や近距離の移動」を目的に利用している方が半数を占めた。

	選択項目 (n=26)	回答数	構成比
1	買い物や近距離の移動	14	53.8%
2	通勤・通学 (公共交通機関との併用も含む)	8	30.8%
3	サイクリング・観光 (運動等健康増進を目的とした利用も)	4	15.4%
4	その他	0	0.0%
	計 (回答総数)	26	100.0%



問 7. 問 5 で「2 利用したことがない」と回答された方に伺います。

どのようにすればシェアサイクルを利用したいと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

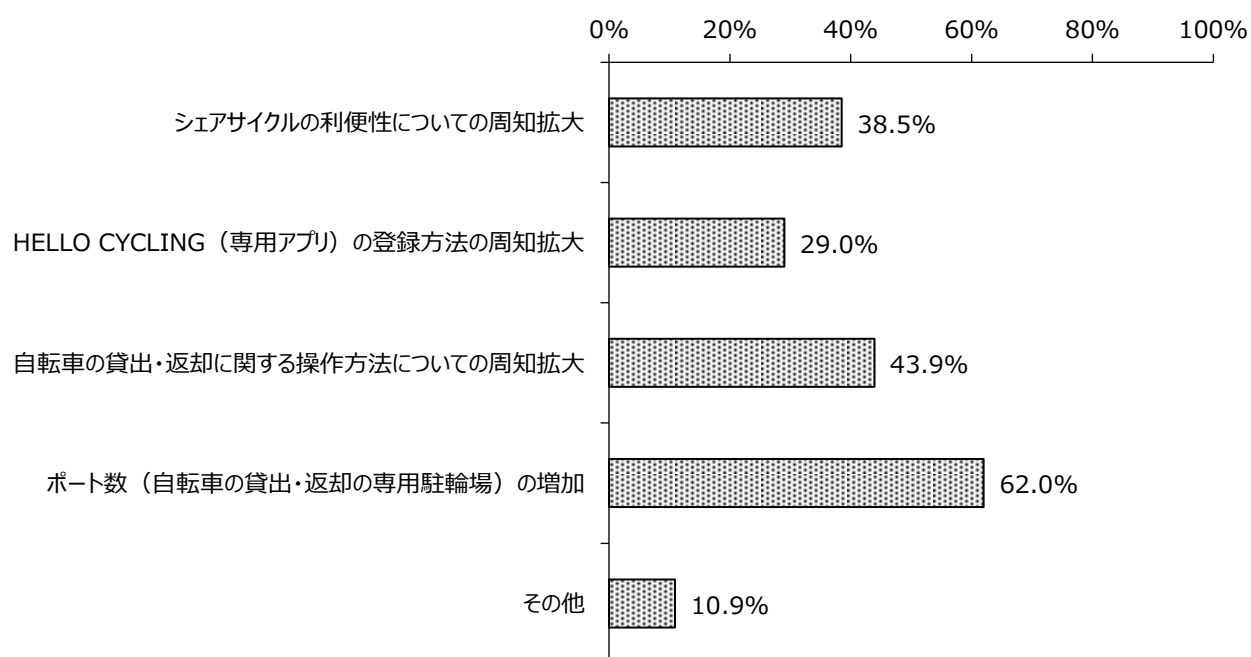
「ポート数（自転車の貸出・返却の専用駐輪場）の増加」と回答した方が半数以上であった。

	選択項目（n=442）	回答数	回答数/n
1	シェアサイクルの利便性についての周知拡大	170	38.5%
2	HELLO CYCLING（専用アプリ）の登録方法の周知拡大	128	29.0%
3	自転車の貸出・返却に関する操作方法についての周知拡大	194	43.9%
4	ポート数（自転車の貸出・返却の専用駐輪場）の増加	274	62.0%
5	その他	48	10.9%

[5 その他]

【主な回答】

- 格安な料金体系
- こども乗せ自転車があれば良い
- スマートフォン以外でも利用できれば良い
- より利便性の高い位置にあるポート



(3) 安全利用

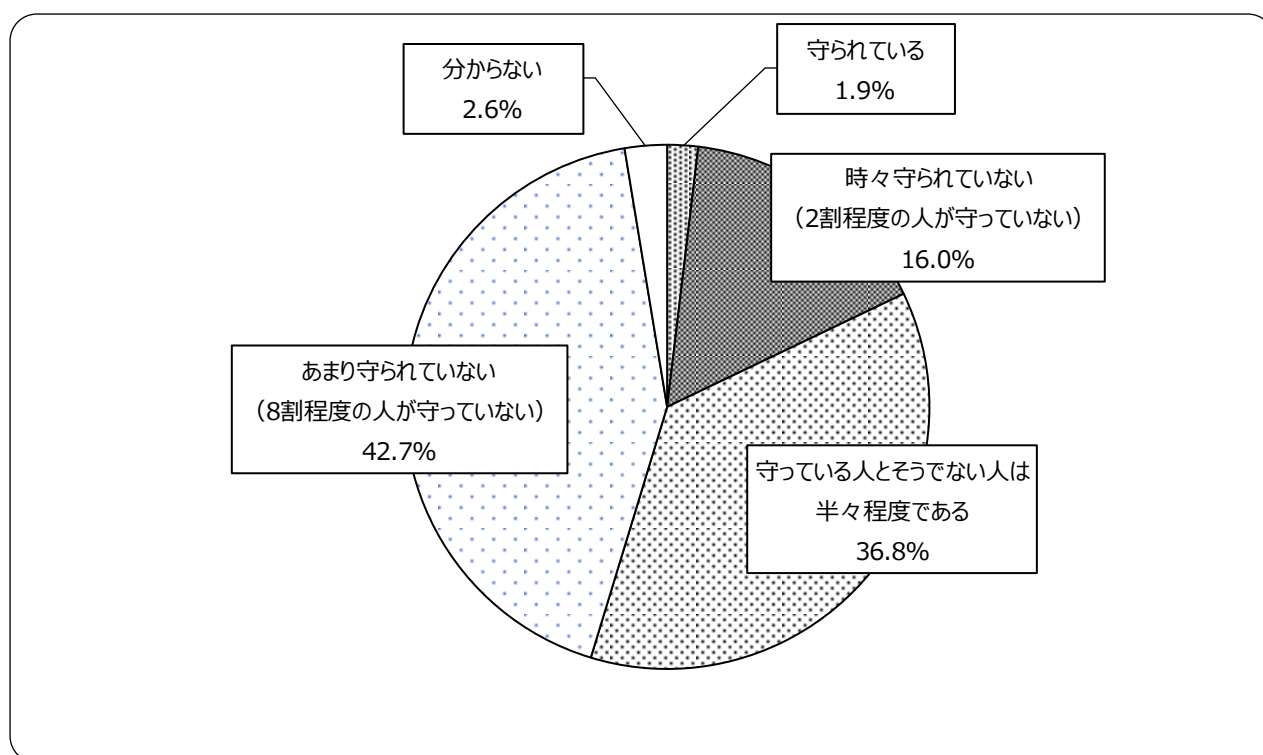
問 8. 日常生活において、見て感じる自転車の交通ルールについて伺います。

自転車乗車中の交通ルールが守られていると思いますか。

【1 つ選択】

「守られている」「時々守られていない（2 割程度の人が守っていない）」の合計は 17.9%であり、「守っている人とそうでない人は半々程度である」「あまり守られていない（8 割程度の人が守っていない）」の合計 79.5%を大きく下回った。令和 5 年度はそれぞれの合計が 22.9%、74.1%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	守られている	9	1.9%
2	時々守られていない（2割程度の人が守っていない）	75	16.0%
3	守っている人とそうでない人は半々程度である	172	36.8%
4	あまり守られていない（8割程度の人が守っていない）	200	42.7%
5	分からない	12	2.6%
	計（回答総数）	468	100.0%



問 9. 問 8 で 2 から 4 のいずれかを選択された方に伺います。

自転車乗車中に守られていない交通ルールは具体的にどのようなものですか。 【複数選択可：いくつでも】

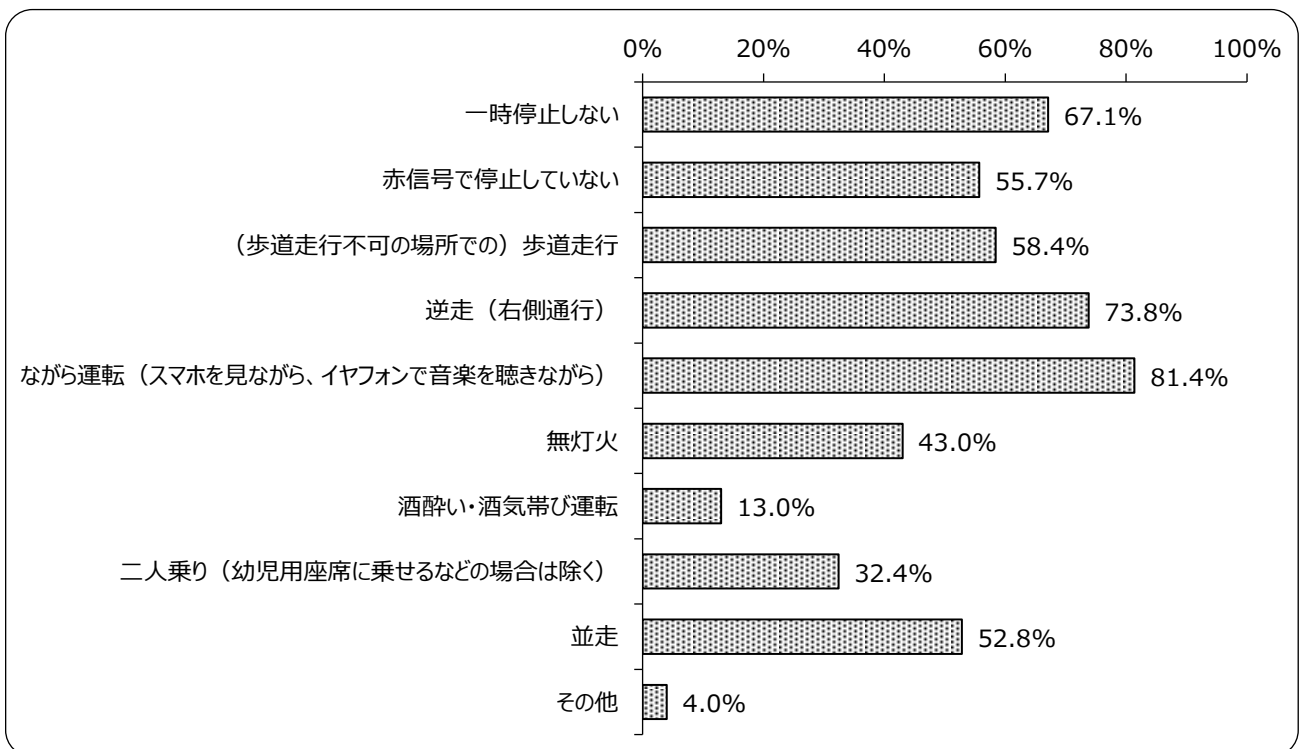
「一時停止しない」「赤信号で停止していない」「（歩道走行不可の場所での）歩道走行」「逆走（右側通行）」「ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽を聴きながら）」「並走」と回答した方は半数以上だった。

	選択項目 (n=447)	回答数	回答数/n
1	一時停止しない	300	67.1%
2	赤信号で停止していない	249	55.7%
3	（歩道走行不可の場所での）歩道走行	261	58.4%
4	逆走（右側通行）	330	73.8%
5	ながら運転（スマホを見ながら、イヤフォンで音楽を聴きながら）	364	81.4%
6	無灯火	192	43.0%
7	酒酔い・酒気帯び運転	58	13.0%
8	二人乗り（幼児用座席に乘せるなどの場合は除く）	145	32.4%
9	並走	236	52.8%
10	その他	18	4.0%

[10 その他]

【主な回答】

- スピードの出しすぎ
- ヘルメットの未着用
- タバコを吸いながら走行



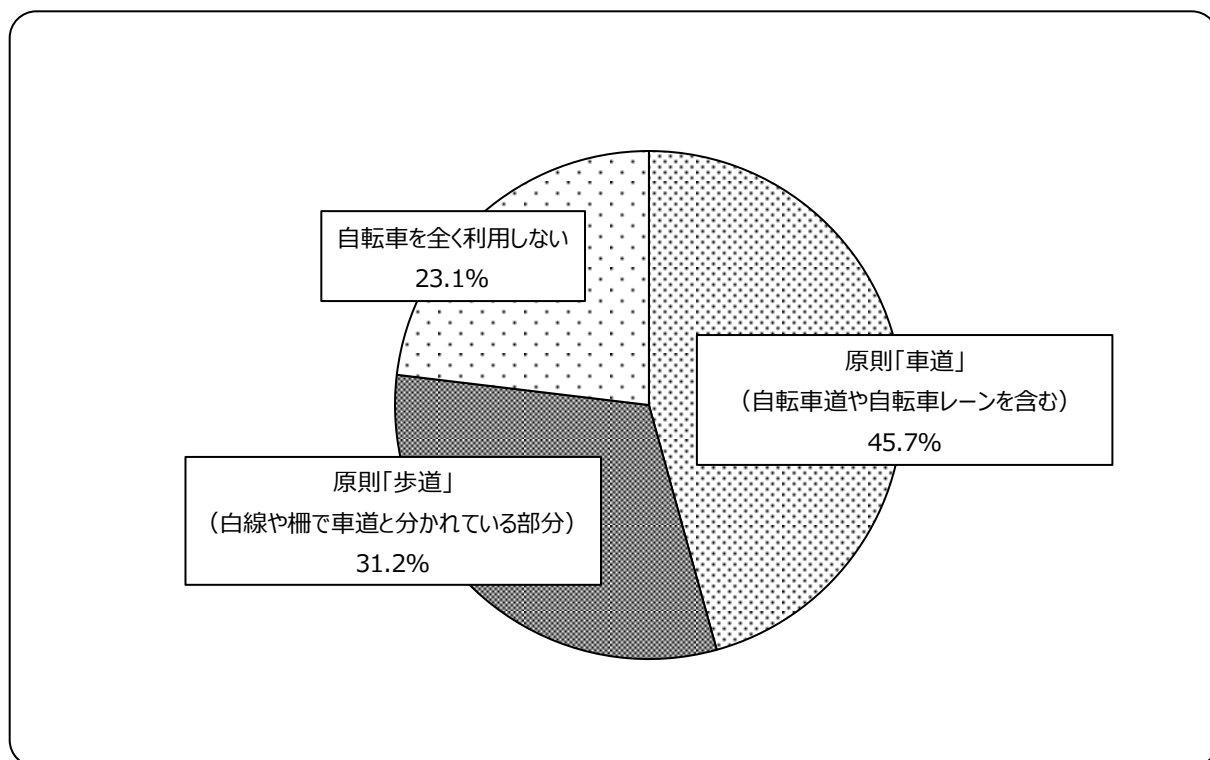
(4) 自転車通行環境

問 10. 自転車で主にどこを通行していますか。

【1 つ選択】

「原則「車道」（自転車道や自転車レーンを含む）」と回答した方は約 5 割であり、令和 5 年度の約 4 割から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	原則「車道」（自転車道や自転車レーンを含む）	214	45.7%
2	原則「歩道」（白線や柵で車道と分かれている部分）	146	31.2%
3	自転車を全く利用しない	108	23.1%
	計（回答総数）	468	100.0%



問 11. 問 10 で「1 原則「車道」」「2 原則「歩道」」と回答された方に伺います。

次の 2 つのルールを知っていますか。

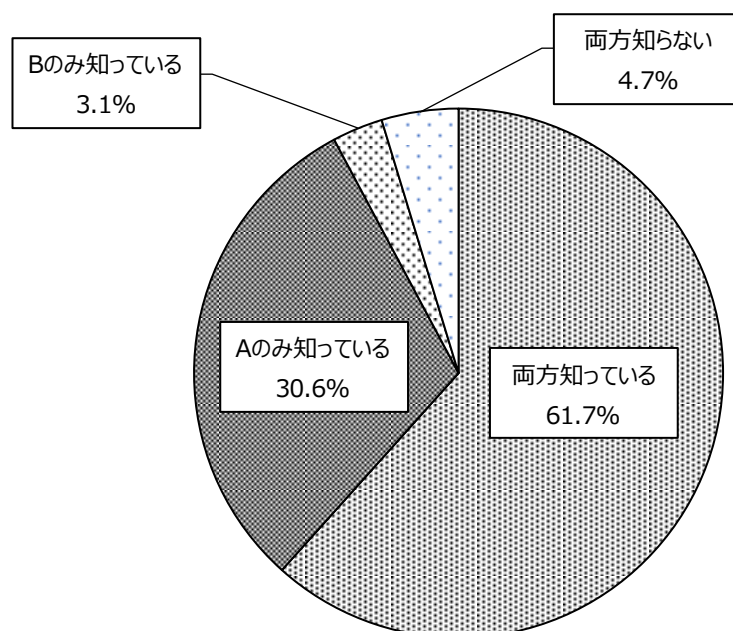
A.自転車は、原則、車道を通行しなければならない。

B.自転車は、例外的に歩道を通行する際は、車道寄りを徐行し、歩行者の通行を妨げることとなる場合は、一時停止しなければならない。

【1 つ選択】

原則車道通行であることを知っている（「両方知っている」「A のみ知っている」「B のみ知っている」）と回答した方は約 9 割を占めた。

	選択項目 (n=360)	回答数	構成比
1	両方知っている	222	61.7%
2	Aのみ知っている	110	30.6%
3	Bのみ知っている	11	3.1%
4	両方知らない	17	4.7%
	計 (回答総数)	360	100.0%

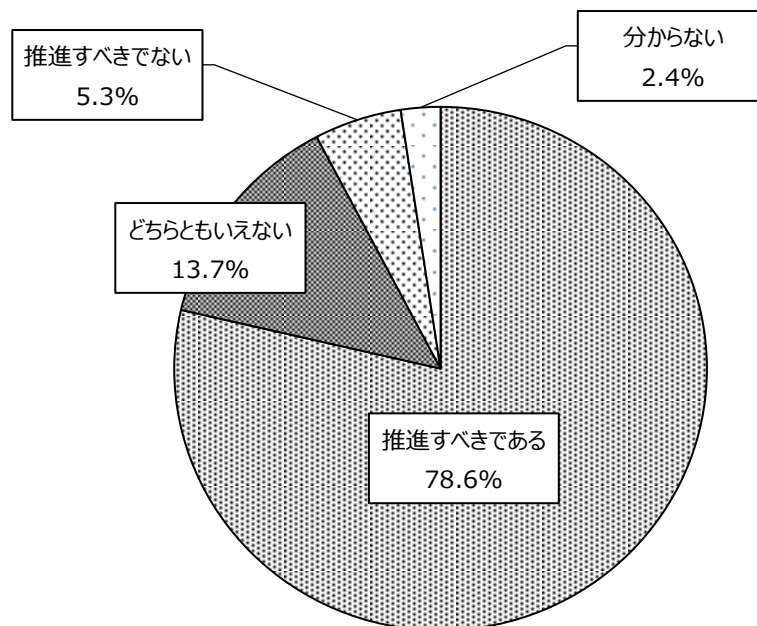


問 12. 今後も自転車道や自転車レーン等の自転車通行空間の整備をすることについてどうお考えですか。

【1 つ選択】

「推進すべきである」と回答した方は 78.6%であり、令和 5 年度の 72.4%から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	推進すべきである	368	78.6%
2	どちらともいえない	64	13.7%
3	推進すべきでない	25	5.3%
4	分からない	11	2.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%

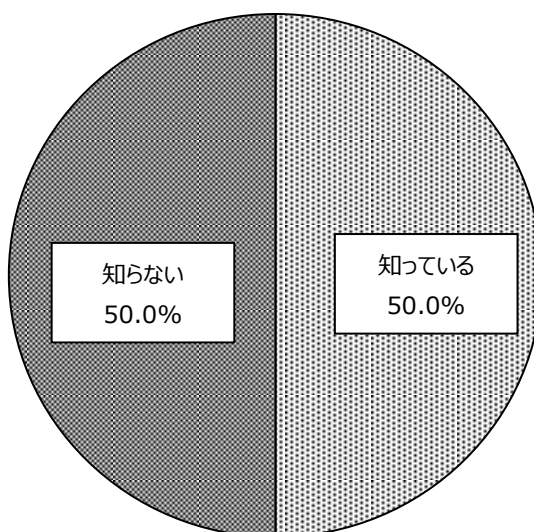


(5) 駐輪環境

問 13. 市内の鉄道駅周辺（おおむね半径 300m 以内の道路その他公共の場所）が自転車等放置禁止区域に指定されていることを知っていますか。 【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 50%であり、令和 5 年度の 48.0%から僅かに増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	234	50.0%
2	知らない	234	50.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%

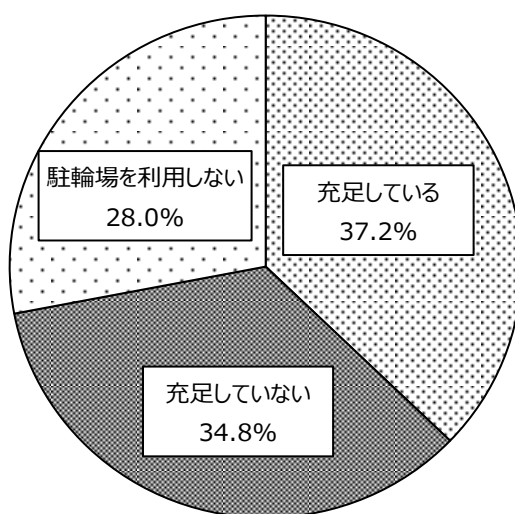


問 14. 普段ご利用されている市内の最寄り駅周辺の駐輪場は充足していると感じますか。

【1 つ選択】

「充足している」と回答した方は 37.2%であり、令和 5 年度の 36.9%とほぼ同様であったが、「充足していない」と回答した方は 34.8%で、令和 5 年度の 31.4%から増加した。駐輪場を利用しない人の割合は令和 5 年度の 31.6%から 28.0%に減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	充足している	174	37.2%
2	充足していない	163	34.8%
3	駐輪場を利用しない	131	28.0%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 15. 市内の駐輪場で希望するサービスはありますか。

【複数選択可：いくつでも】

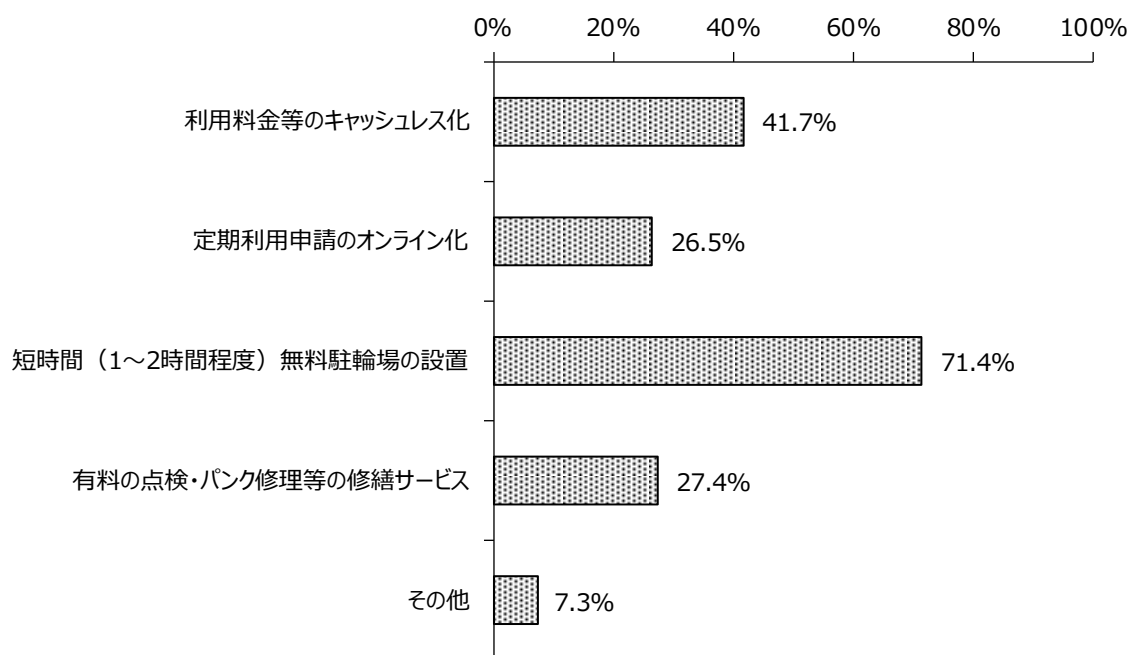
「短時間（1～2 時間程度）無料駐輪場の設置」と回答した方が 71.4%と最も多く、令和 5 年度の 73.2%とほぼ同様であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	利用料金等のキャッシュレス化	195	41.7%
2	定期利用申請のオンライン化	124	26.5%
3	短時間（1～2時間程度）無料駐輪場の設置	334	71.4%
4	有料の点検・パンク修理等の修繕サービス	128	27.4%
5	その他	34	7.3%

[5 その他]

【主な回答】

- 駐輪場の無料化
- 駅に近い駐輪場の増設
- 駐輪スペースの拡大



2. 大阪 880 万人訓練

調査結果の概要

テーマ	大阪 880 万人訓練
担当課	危機管理室 危機管理課
設問数	10 問
趣旨・目的	本市では令和 6 年 9 月 3 日に防災行政無線、緊急速報メール等で南海トラフ巨大地震を想定した訓練情報を発信し、その情報を受けた市民の皆様にご家庭や学校・職場等それぞれの場所で訓練を実施していただきました。 今回のアンケートは、皆様がこの訓練をどの程度知っていたか等を検証し、また今後も継続的な取組とすることにより、更なる防災意識の啓発に繋げていくことを目的に実施します
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 16 では、本訓練を知らなかった方が令和 5 年度に比べて 7.3 ポイント増加しました。令和 6 年度は広報媒体ごとに異なる時期に情報発信を行った結果、問 17 では、約 7 割の方が広報さかいで本訓練を知ったことが分かりました。今後は最も有効な媒体である広報さかいを情報発信の中核とし、その発行時期に合わせて、他の媒体や経路を連携させて使用することにより、情報発信の相乗効果を高め、認知度向上を図ります。 ・問 20 では、本訓練に参加しなかった方が令和 5 年度に比べて全体で 4.3 ポイント増加しました。一方、問 24 では平日よりも休日の方が訓練に参加しやすいと思う方が多く、平日にとらわれず休日実施等を検討します。 ・問 21 では、本訓練の趣旨であり、最も参加しやすい身を守る行動の実施率が令和 5 年度の 62.6%から 33.7%と低下しており、本訓練の参加方法や行動を更に分かりやすく伝達する取組を行います。 ・問 23 では、訓練に参加しなかった方のうち、訓練参加を促進するための各種施策（訓練参加認定証の進呈または訓練好事例集の周知）を知らなかった方は 93.7%でした。引き続き、各種施策を周知し、訓練参加率の向上に取り組めます。

(1) 事前周知

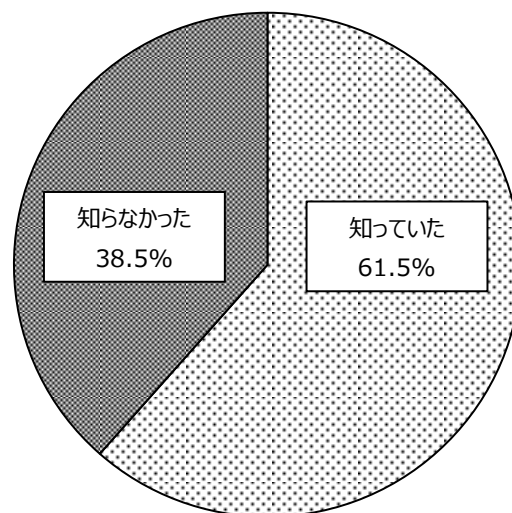
問 16. 訓練開始日時（9月3日15時）より前に、この訓練があることを知っていましたか。

【1つ選択】

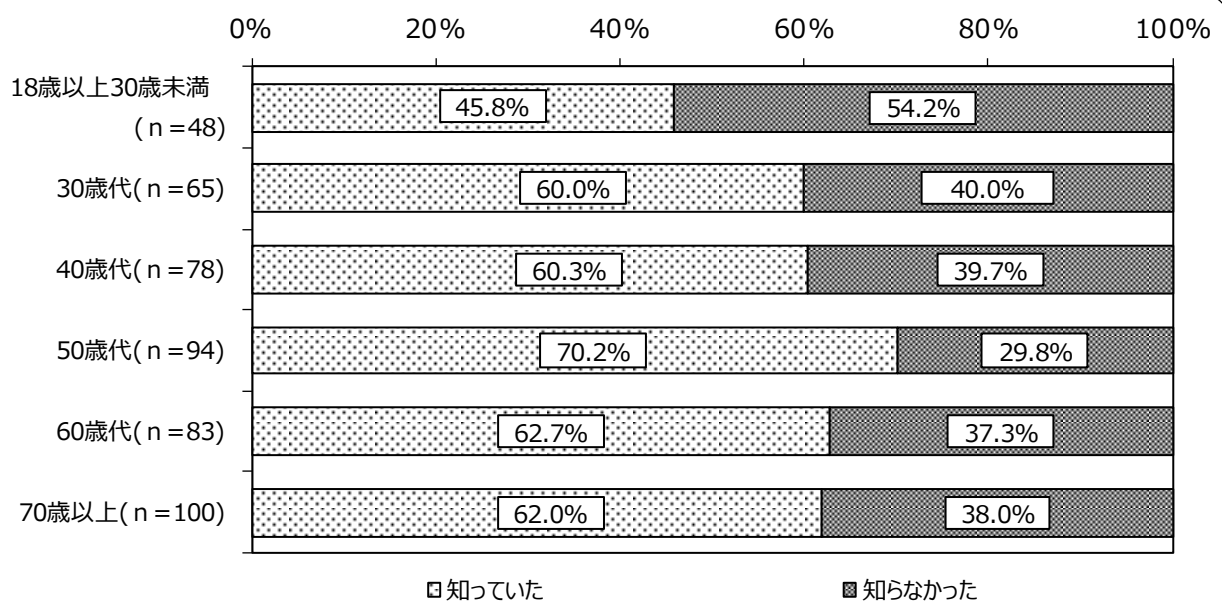
「知らなかった」と回答した方は 38.5%であり、令和5年度の 31.2%から 7.3ポイント増加した。

特に 18歳以上 30歳未満が 54.2%で最も多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っていた	288	61.5%
2	知らなかった	180	38.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



《年齢別》



(2) 情報収集手段

問 17. 問 16 で「1 知っていた」と回答された方に伺います。

今回の訓練についてどのような媒体・経路で知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

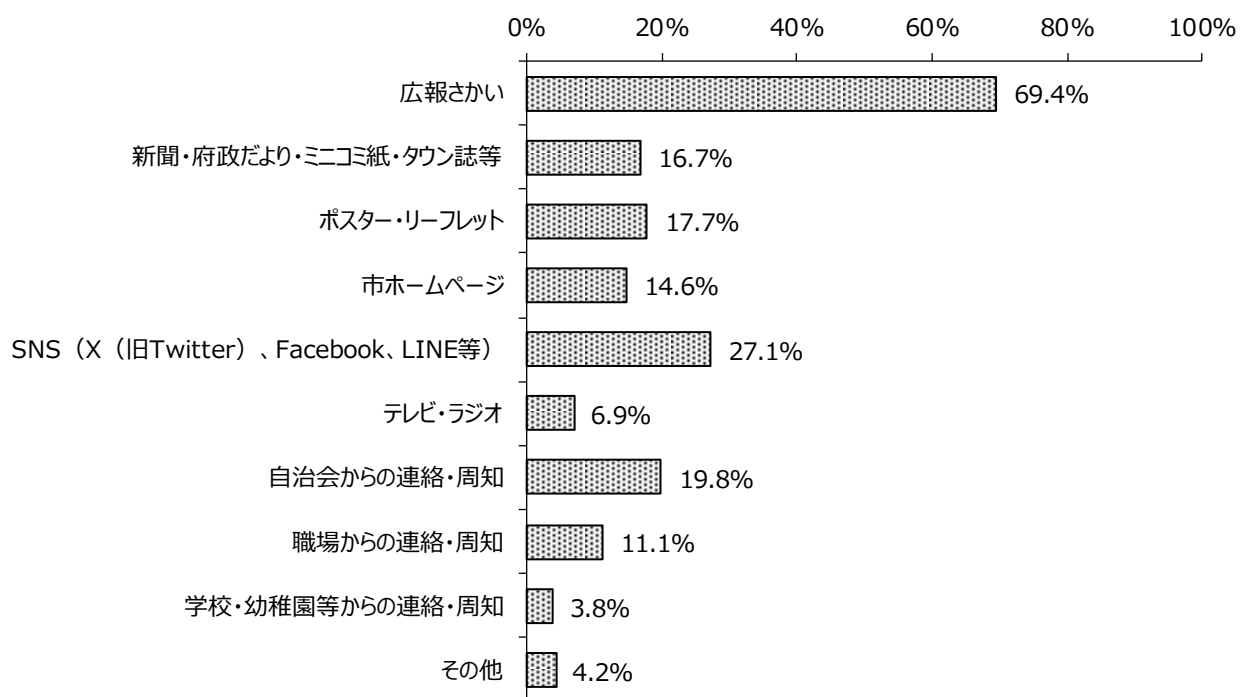
「広報さかい」と回答した方は 69.4%であり、令和 5 年度の 67.0%と同様に約 7 割を占めた。

	選択項目 (n=288)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	200	69.4%
2	新聞・府政だより・ミニコミ紙・タウン誌等	48	16.7%
3	ポスター・リーフレット	51	17.7%
4	市ホームページ	42	14.6%
5	SNS (X (旧Twitter) 、Facebook、LINE等)	78	27.1%
6	テレビ・ラジオ	20	6.9%
7	自治会からの連絡・周知	57	19.8%
8	職場からの連絡・周知	32	11.1%
9	学校・幼稚園等からの連絡・周知	11	3.8%
10	その他	12	4.2%

[10 その他]

【主な回答】

- 人から聞いた。
- 毎年の訓練なので知っていた。
- 携帯メール

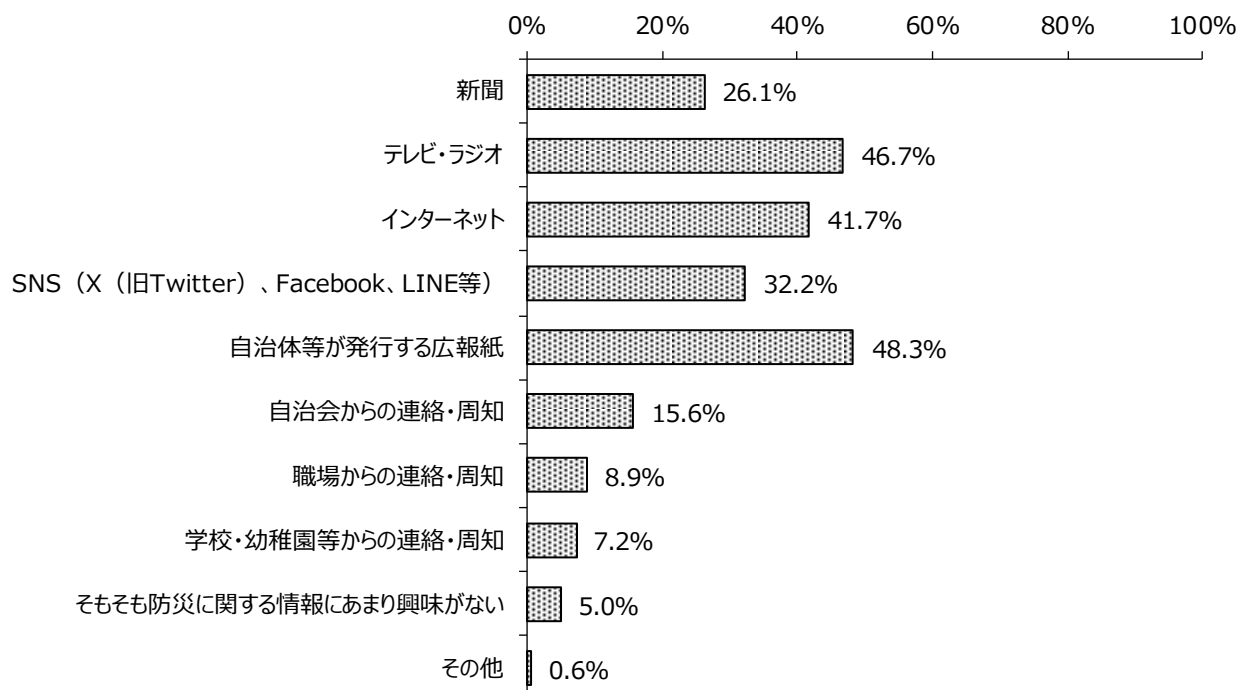


問 18. 問 16 で「2 知らなかった」と回答された方に伺います。

近年、様々な媒体を通じて防災に関する情報が発信されていますが、こうした防災情報をどのような手段で受け取っていますか。
【複数選択可：いくつでも】

「自治体等が発行する広報紙」と回答した方は 48.3%であり、令和 5 年度の 38.1%から増加した。

	選択項目 (n=180)	回答数	回答数/n
1	新聞	47	26.1%
2	テレビ・ラジオ	84	46.7%
3	インターネット	75	41.7%
4	SNS (X (旧Twitter) 、Facebook、LINE等)	58	32.2%
5	自治体等が発行する広報紙	87	48.3%
6	自治会からの連絡・周知	28	15.6%
7	職場からの連絡・周知	16	8.9%
8	学校・幼稚園等からの連絡・周知	13	7.2%
9	そもそも防災に関する情報にあまり興味がない	9	5.0%
10	その他	1	0.6%



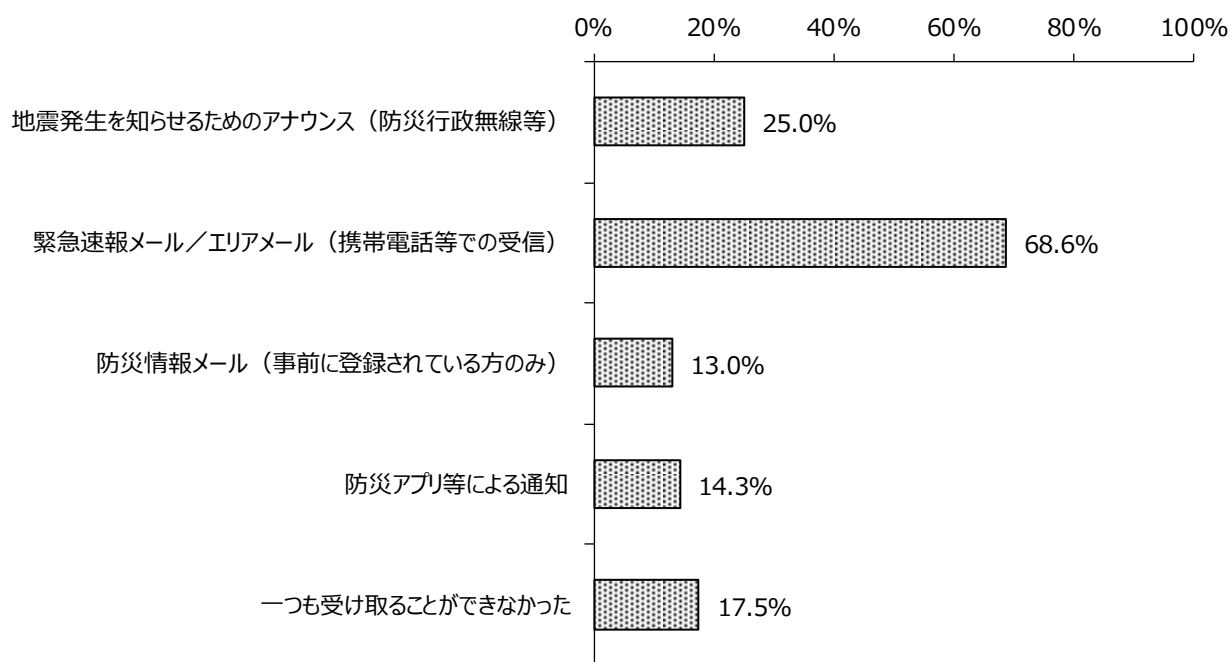
(3) 情報の伝達

問 19. 訓練開始の合図として、4 種類のアナウンスを行いました、どの合図を受け取ることができましたか。

【複数選択可：いくつでも】

「一つも受け取ることができなかった」と回答した方は 17.5%であり、令和 5 年度の 13.8%から増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	地震発生を知らせるためのアナウンス（防災行政無線等）	117	25.0%
2	緊急速報メール／エリアメール（携帯電話等での受信）	321	68.6%
3	防災情報メール（事前に登録されている方のみ）	61	13.0%
4	防災アプリ等による通知	67	14.3%
5	一つも受け取ることができなかった	82	17.5%



(4) 訓練参加

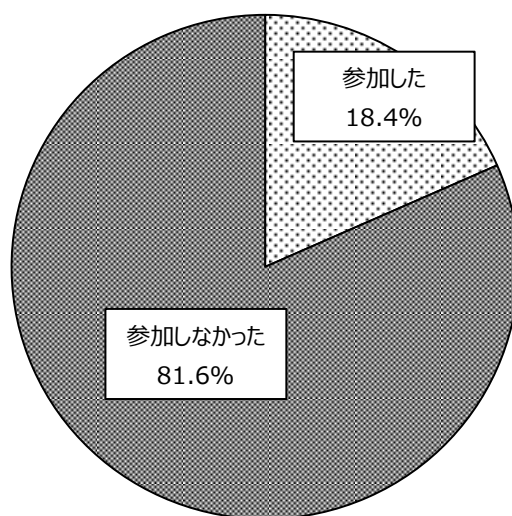
問 20. あなたは、今回の訓練に参加しましたか。

【1 つ選択】

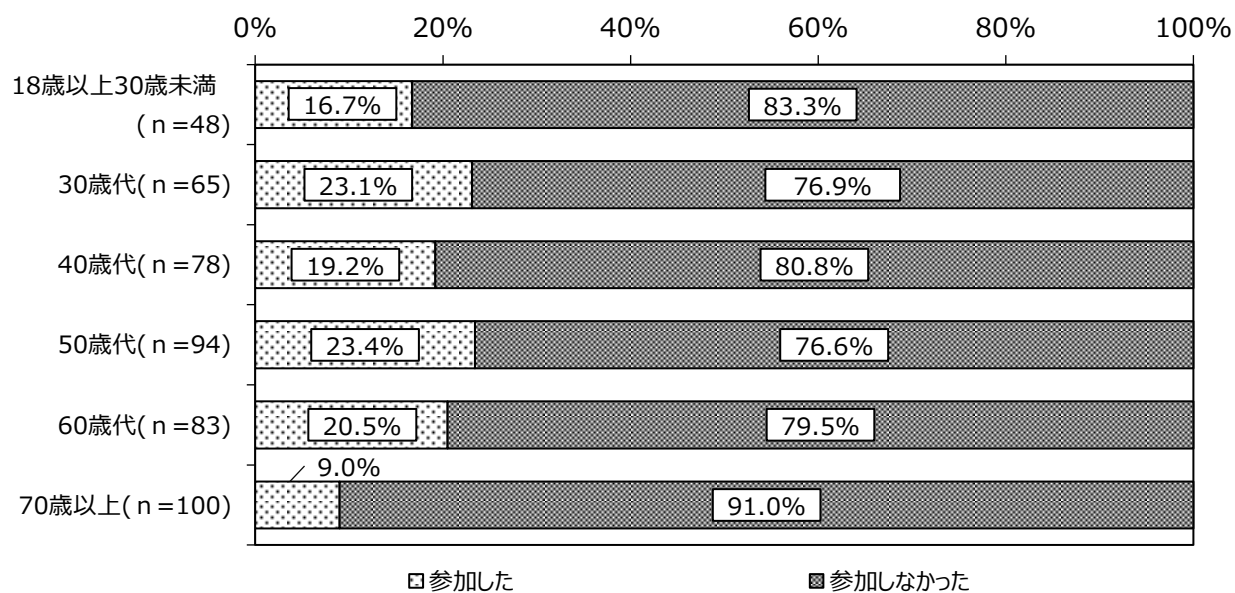
「参加しなかった」と回答した方は 81.6%であり、令和 5 年度の 77.3%から 4.3 ポイント増加した。

参加しなかった割合が最も多かったのは 70 歳以上 91.0%、次いで 18 歳以上 30 歳未満 83.3%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	参加した	86	18.4%
2	参加しなかった	382	81.6%
	計 (回答総数)	468	100.0%



《年齢別》



(5) 訓練内容

問 21. 問 20 で「1 参加した」と回答された方に伺います。
どのような訓練を行いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

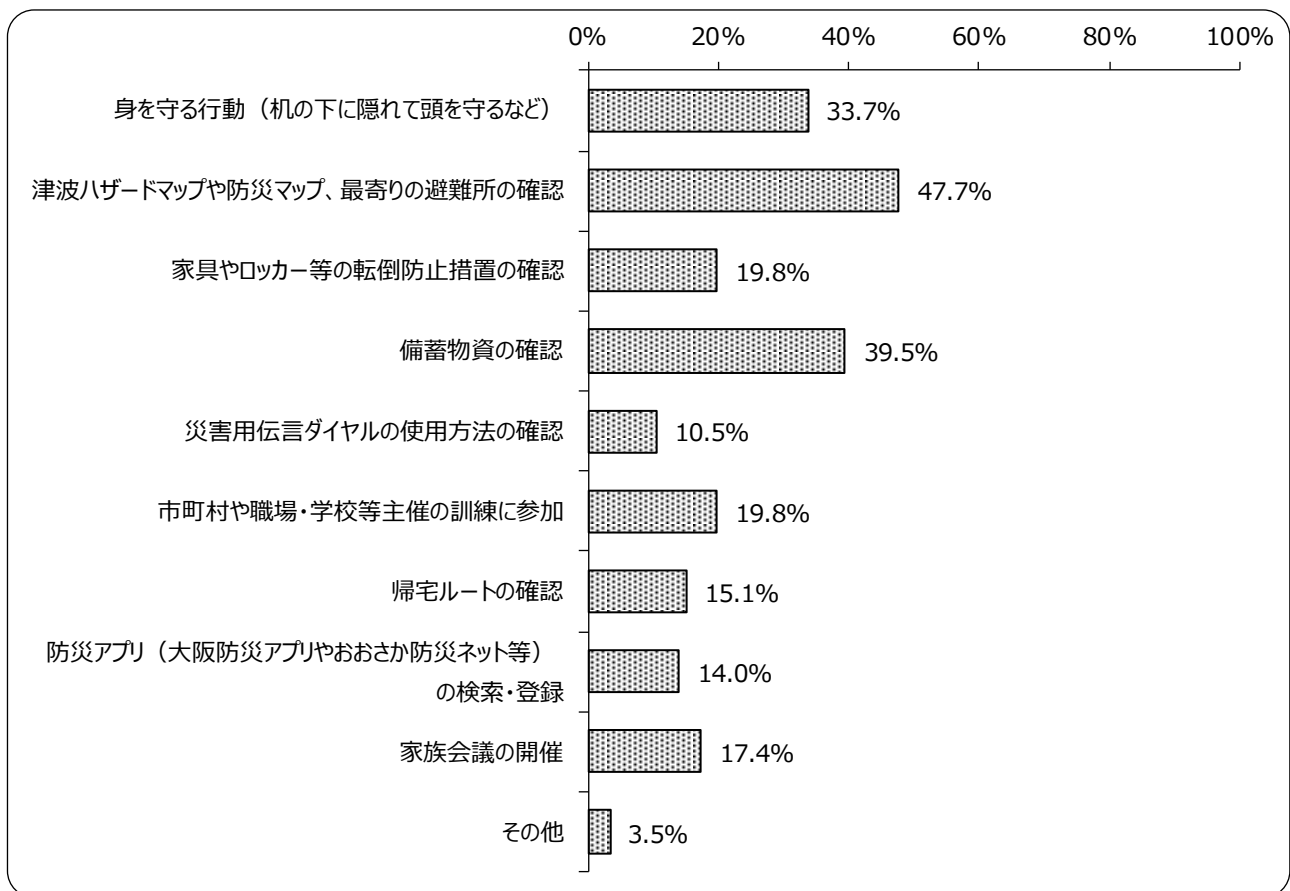
令和 5 年度では「身を守る行動（机の下に隠れて頭を守るなど）」と回答した方が 62.6%と最も多かったが、令和 6 年度では「津波ハザードマップや防災マップ、最寄りの避難所の確認」と回答した方が最も多い結果となった。

	選択項目（n=86）	回答数	回答数/n
1	身を守る行動（机の下に隠れて頭を守るなど）	29	33.7%
2	津波ハザードマップや防災マップ、最寄りの避難所の確認	41	47.7%
3	家具やロッカー等の転倒防止措置の確認	17	19.8%
4	備蓄物資の確認	34	39.5%
5	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	9	10.5%
6	市町村や職場・学校等主催の訓練に参加	17	19.8%
7	帰宅ルートの確認	13	15.1%
8	防災アプリ（大阪防災アプリやおおさか防災ネット等）の検索・登録	12	14.0%
9	家族会議の開催	15	17.4%
10	その他	3	3.5%

[10 その他]

【主な回答】

- 屋内から外へ出る。
- 無事札の掲示



(6) 訓練不参加理由

問 22. 問 20 で「2 参加しなかった」と回答された方に伺います。

訓練に参加しなかった理由について教えてください。

【複数選択可：いくつでも】

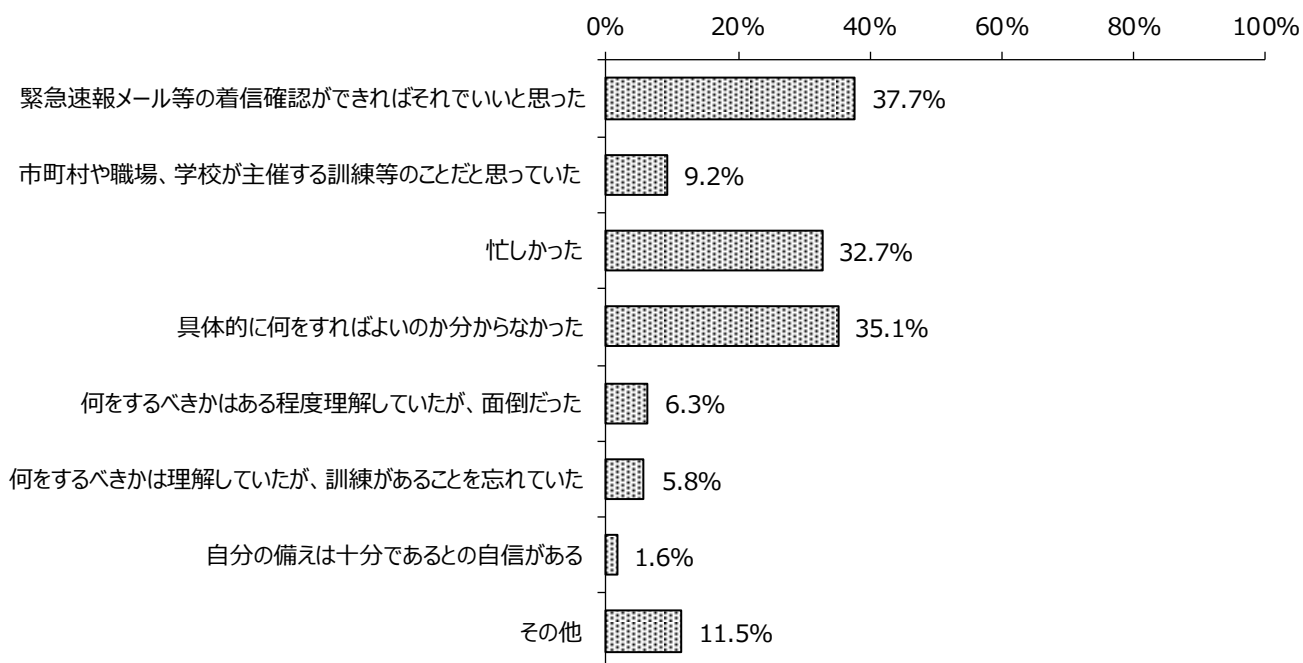
「緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った」「具体的に何をすればいいのか分からなかった」と回答した方はそれぞれ 37.7%、35.1%であり、令和 5 年度は 34.9%、31.3%であった。

	選択項目 (n=382)	回答数	回答数/n
1	緊急速報メール等の着信確認ができればそれでいいと思った	144	37.7%
2	市町村や職場、学校が主催する訓練等のことだと思っていた	35	9.2%
3	忙しかった	125	32.7%
4	具体的に何をすればよいのか分からなかった	134	35.1%
5	何をすべきかはある程度理解していたが、面倒だった	24	6.3%
6	何をすべきかは理解していたが、訓練があることを忘れていた	22	5.8%
7	自分の備えは十分であるとの自信がある	6	1.6%
8	その他	44	11.5%

[8 その他]

【主な回答】

- 訓練があることを知らなかった。
- 業務中で何もできなかった。
- 携帯電話の電源を切っているので分からなかった。
- 高齢のため
- 障害者のため



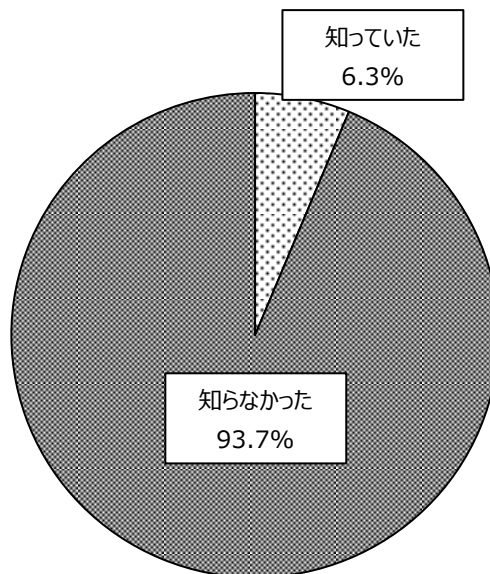
(7) 各種施策の周知

問 23. 問 20 で「2 参加しなかった」と回答された方に伺います。

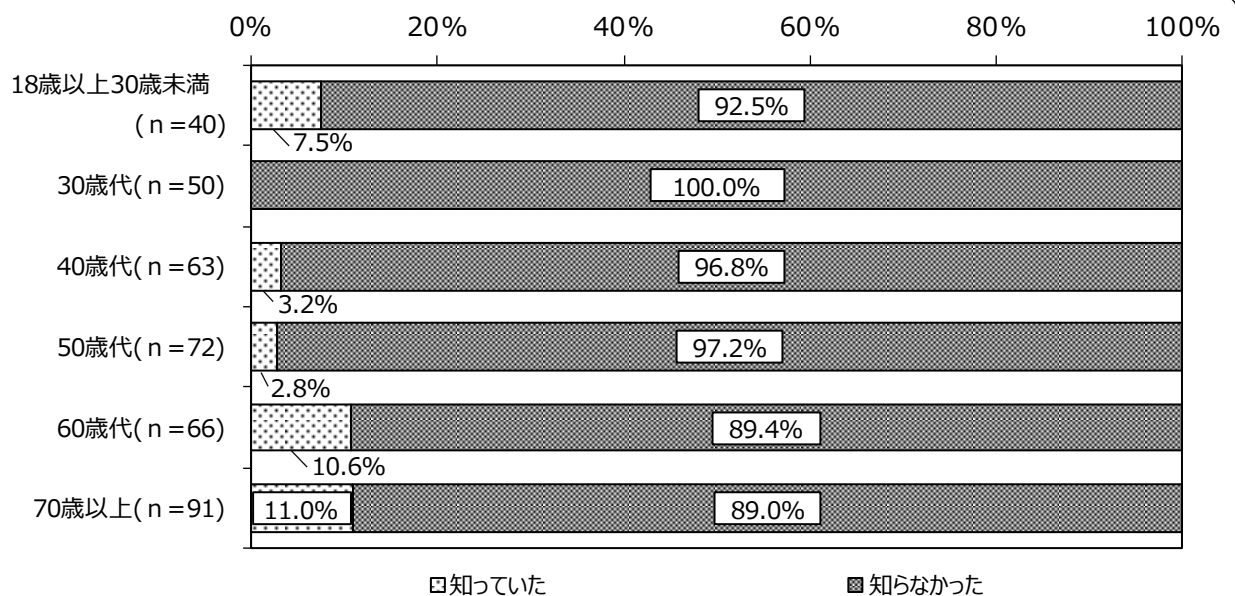
訓練参加を促進するための各種施策（訓練参加認定証の進呈または訓練好事例集の周知）について、知っていましたか。 【1 つ選択】

「知っていた」と回答した方は 6.3%であった。特に 30 歳代は 0%であった。

	選択項目 (n=382)	回答数	構成比
1	知っていた	24	6.3%
2	知らなかった	358	93.7%
	計 (回答総数)	382	100.0%



《年齢別》

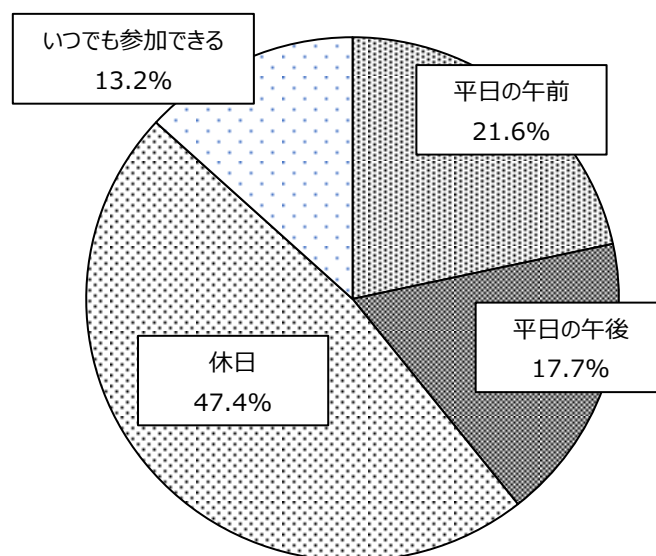


(8) 訓練実施時期

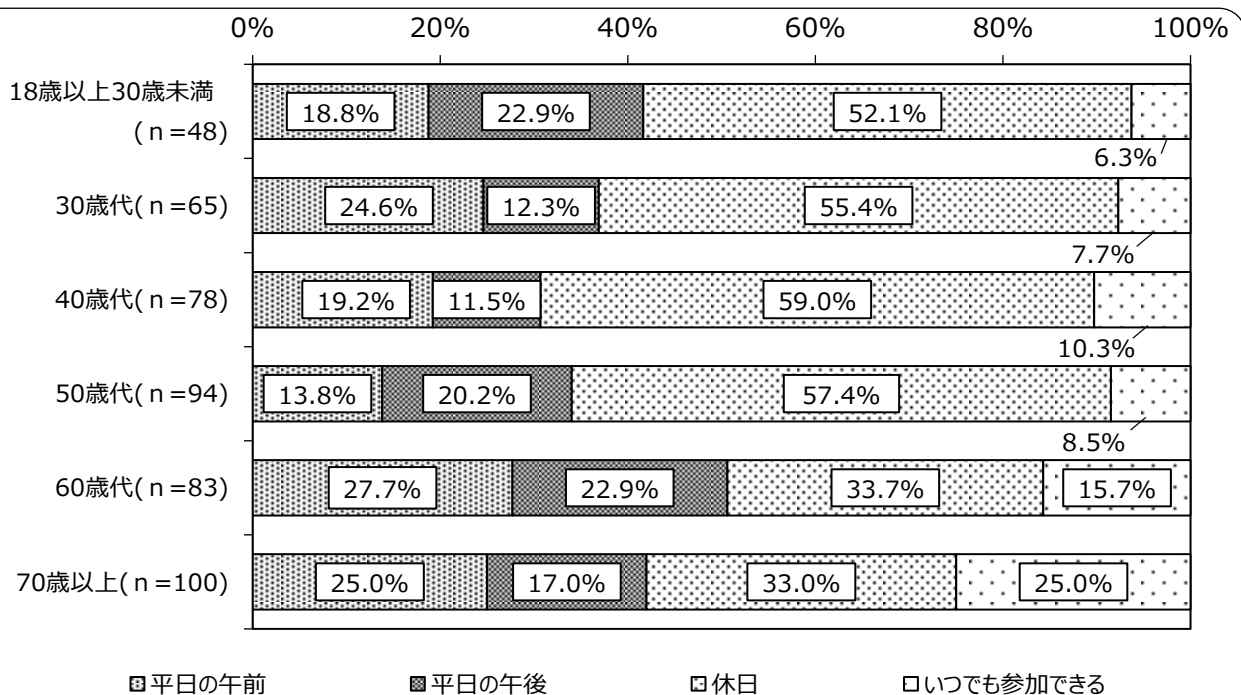
問 24. 訓練を一斉に実施する場合、訓練参加が比較的容易であると思う時間帯は、いつですか。 【1つ選択】

「休日」と回答した方は 47.4%であった。特に 50 歳代以下は各年代で過半数を占めた。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	平日の午前	101	21.6%
2	平日の午後	83	17.7%
3	休日	222	47.4%
4	いつでも参加できる	62	13.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%



「年齢別」



(9) 訓練実施方法

問 25. 訓練に参加しやすいと思う方法は、どれですか。

【1 つ選択】

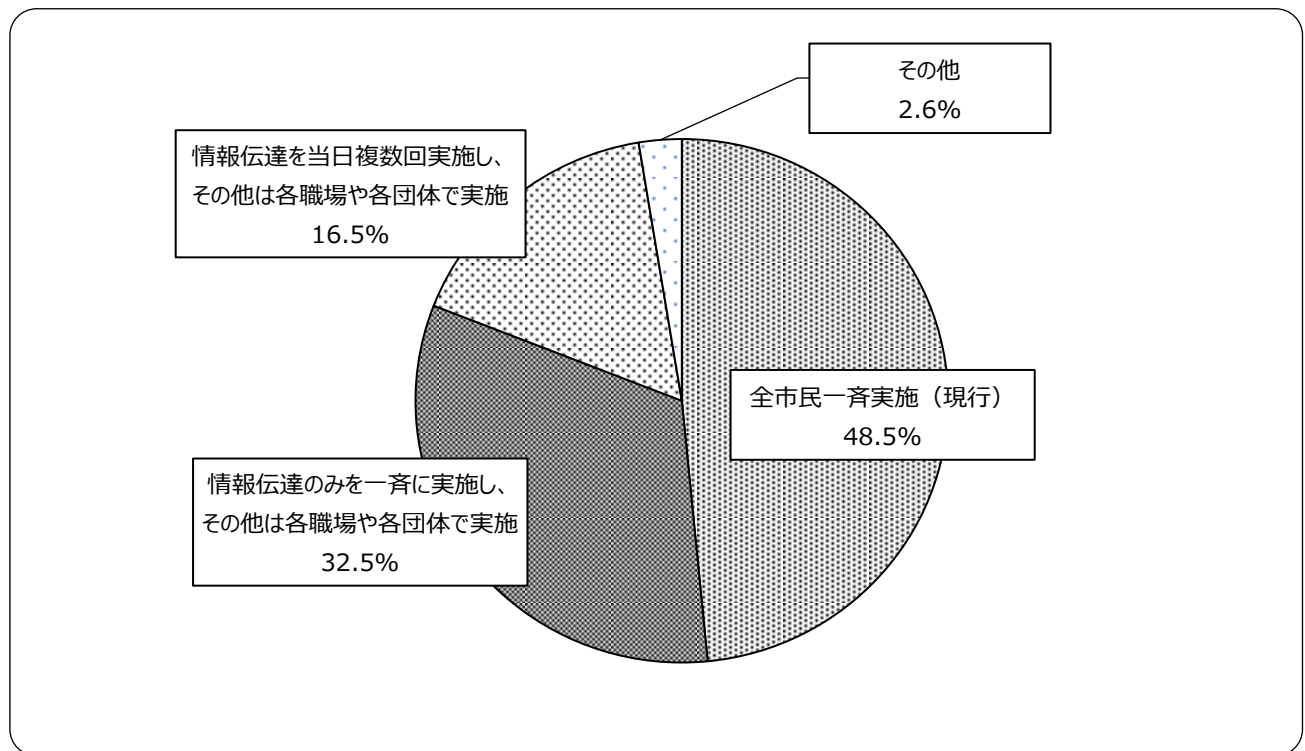
「全市民一斉実施（現行）」と回答した方は約 5 割を占めた。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	全市民一斉実施（現行）	227	48.5%
2	情報伝達のみを一斉に実施し、その他は各職場や各団体に実施	152	32.5%
3	情報伝達を当日複数回実施し、その他は各職場や各団体に実施	77	16.5%
4	その他	12	2.6%
	計（回答総数）	468	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 自治会単位での実施
- 企業への参加の呼びかけ
- 他のイベントとの抱き合わせで実施
- 情報伝達の徹底



3. 防災マップ[○]閲覧方法・配架に関する効果測定

調査結果の概要

テーマ	防災マップ閲覧方法・配架に関する効果測定
担当課	危機管理室 防災課
設問数	8 問
趣旨・目的	本市では、市民の防災意識向上を目的に、今年 4 年にハザードマップと防災啓発資料を掲載した防災マップをリニューアルしました。 防災マップは、市民の自発的な行動変容を促すためデジタルの啓発を基本とし、紙媒体は全住戸への配布から市内民間事業者等にご協力いただき配布する方法へ変更しています。 今回のアンケートは、防災マップの普及や配布方法の効果を測るために実施し、今後の啓発活動に活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 27 では、防災マップ所有割合は 33.3%でした。 - また、問 32 では、防災マップ確認後に災害へ備えた行動を起こした割合が令和 4 年度に比べて 9.7 ポイント増加しました。引き続き防災マップを活用し、災害に備えた具体的かつ自主的な行動を促せるよう啓発活動の拡充を図ります。 ・問 28 では市・区役所での防災マップを入手される方が多く、問 31 では、普段利用する機会の多い場所での配架を希望する回答が多い結果となりました。引き続き危機管理室 X（旧 Twitter）等の電子媒体や広報さかいを活用し、民間事業者と協力した防災マップ配架取組の認知度向上を図ります。 ・問 30 では「平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい」との回答が多く、次いで「平時も災害発生時も紙媒体が利用しやすい」との回答が多いことから、紙媒体での利用を希望する方が多いことが分かりました。市民の方の自発的な行動変容を促すため、デジタル媒体と需要の高かった紙媒体を併用して啓発します。

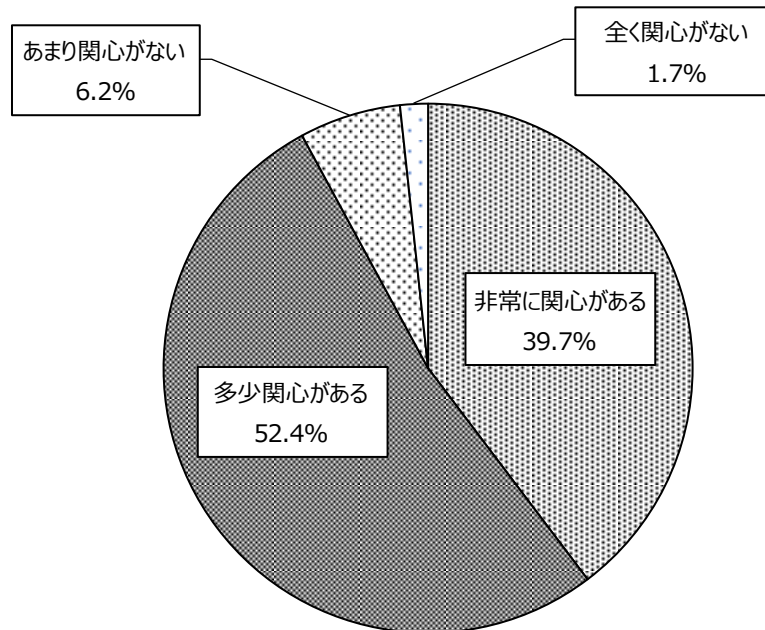
(1) 防災への関心

問 26. 防災に関してどの程度関心がありますか。

【1 つ選択】

「非常に関心がある」「多少関心がある」と回答した方の合計が 92.1%となっており、令和 4 年度の 93.0%から減少した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	非常に関心がある	186	39.7%
2	多少関心がある	245	52.4%
3	あまり関心がない	29	6.2%
4	全く関心がない	8	1.7%
	計 (回答総数)	468	100.0%



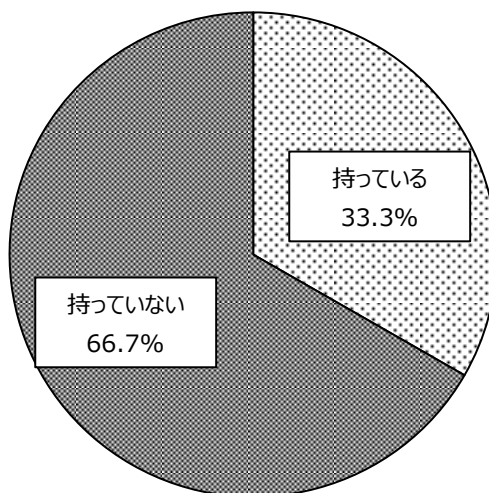
(2) 防災マップ

問 27. 現在、防災マップ（紙媒体または電子媒体でのダウンロード等を含む）を持っていますか。 【1 つ選択】



「持っている」と回答した方が 33.3%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	持っている	156	33.3%
2	持っていない	312	66.7%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 28. 問 27 で「1 持っている」と回答された方に伺います。

防災マップをどこで入手しましたか。

【複数選択可：いくつでも】

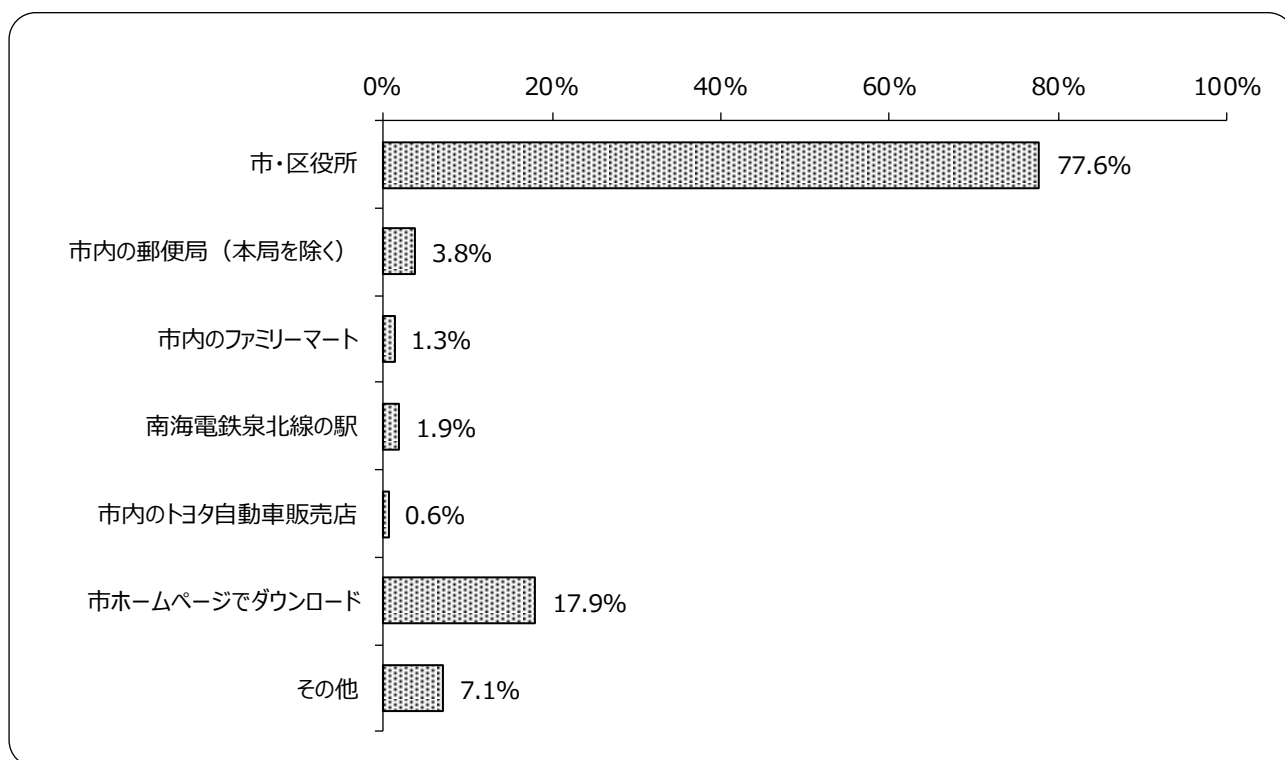
「市・区役所」「市ホームページでダウンロード」と回答した方は、それぞれ 77.6%、17.9%であった。

	選択項目 (n=156)	回答数	回答数/n
1	市・区役所	121	77.6%
2	市内の郵便局（本局を除く）	6	3.8%
3	市内のファミリーマート	2	1.3%
4	南海電鉄泉北線の駅	3	1.9%
5	市内のトヨタ自動車販売店	1	0.6%
6	市ホームページでダウンロード	28	17.9%
7	その他	11	7.1%

[7 その他]

【主な回答】

- 自治会
- イベント
- 大阪防災アプリ
- 堺市公式 LINE
- 不動産屋



問 29. 問 27 で「1 持っている」と回答された方に伺います。

なぜ、防災マップを入手しようと思いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

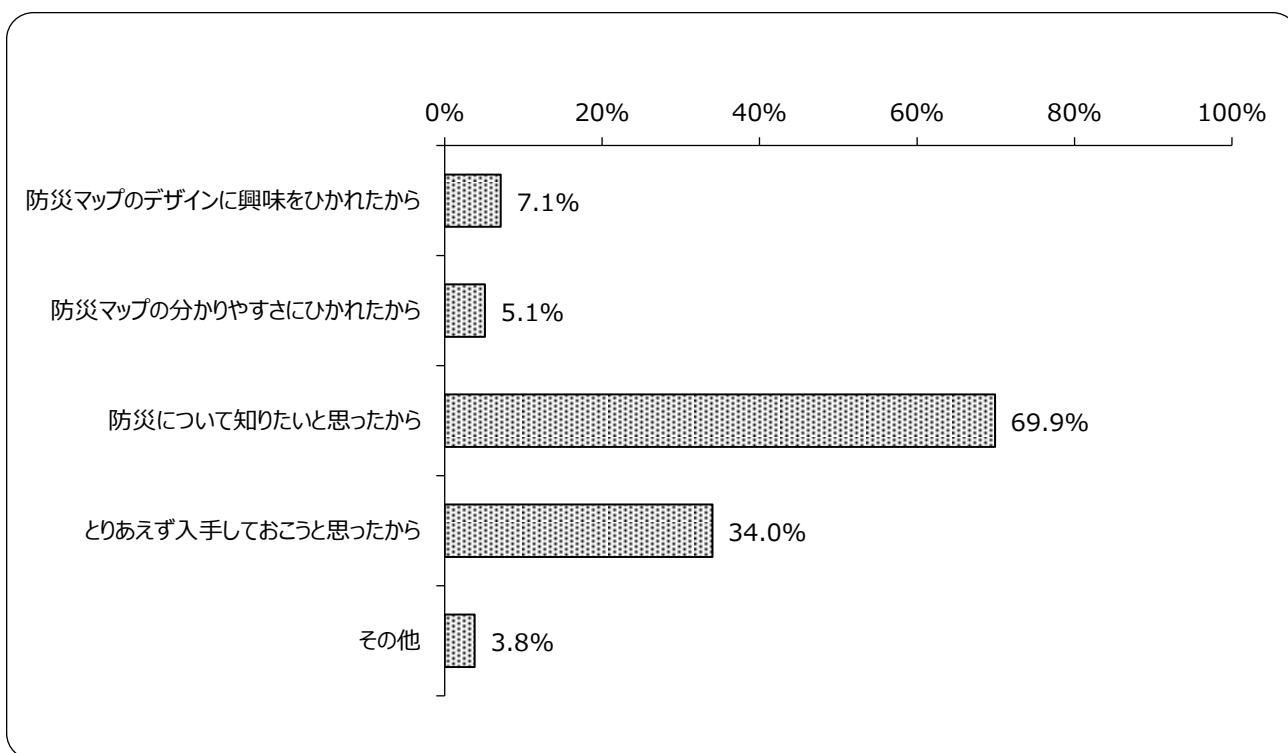
「防災について知りたいと思ったから」と回答した方が 69.9%であった。

	選択項目 (n=156)	回答数	回答数/n
1	防災マップのデザインに興味をひかれたから	11	7.1%
2	防災マップの分かりやすさにひかれたから	8	5.1%
3	防災について知りたいと思ったから	109	69.9%
4	とりあえず入手しておこうと思ったから	53	34.0%
5	その他	6	3.8%

[5 その他]

【主な回答】

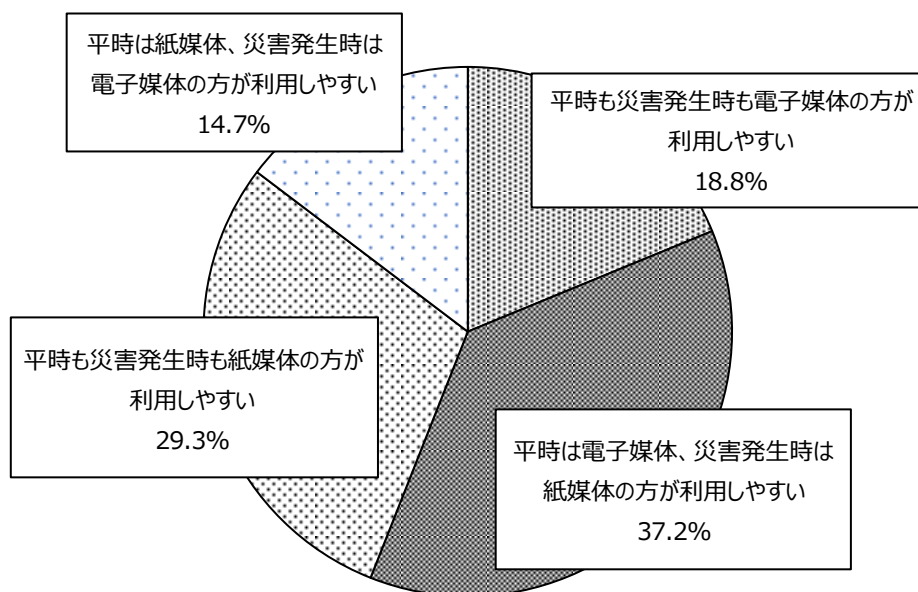
- イベント等で配布されたから
- こどもに障害があるから



問 30. 平時（災害が発生していない時）や災害発生時に防災マップを閲覧する際、電子媒体と紙媒体ではどちらが利用しやすいと思いますか。 **【1 つ選択】**

「平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい」と回答の方が最も多く、次いで「平時も災害発生時も紙媒体の方が利用しやすい」であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	平時も災害発生時も電子媒体の方が利用しやすい	88	18.8%
2	平時は電子媒体、災害発生時は紙媒体の方が利用しやすい	174	37.2%
3	平時も災害発生時も紙媒体の方が利用しやすい	137	29.3%
4	平時は紙媒体、災害発生時は電子媒体の方が利用しやすい	69	14.7%
	計 (回答総数)	468	100.0%



(3) 防災マップの配架先

問 31. 防災マップの配架先について問 28 の 1 から 6 以外で入手しやすい（したい）と考える場所はどこですか。

【1 つ選択】

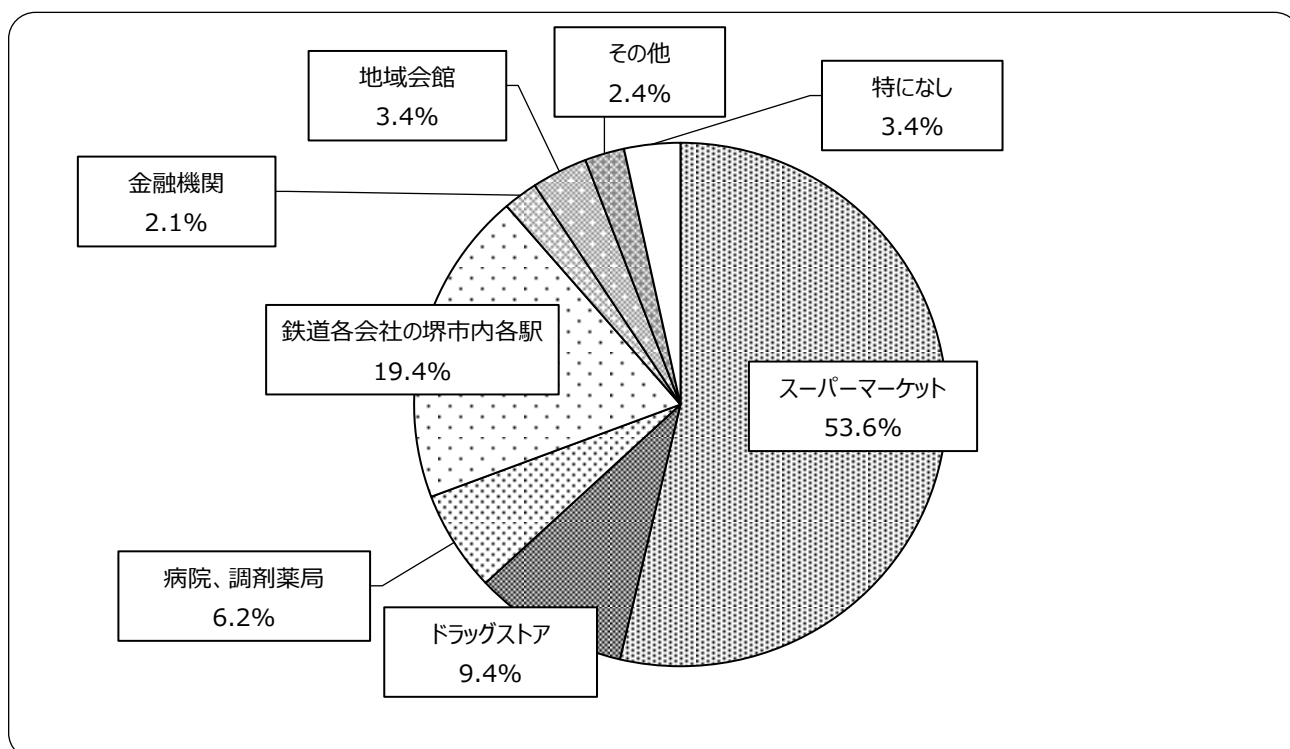
「スーパーマーケット」と回答した方が 53.6%、「鉄道各会社の堺市内各駅」と回答した方が 19.4%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	スーパーマーケット	251	53.6%
2	ドラッグストア	44	9.4%
3	病院、調剤薬局	29	6.2%
4	鉄道各会社の堺市内各駅	91	19.4%
5	金融機関	10	2.1%
6	地域会館	16	3.4%
7	その他	11	2.4%
8	特になし	16	3.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%

[7 その他]

【主な回答】

- 各社コンビニエンスストア
- 図書館
- 広報紙への挟み込み等による個別宅配
- 回覧板
- 職場



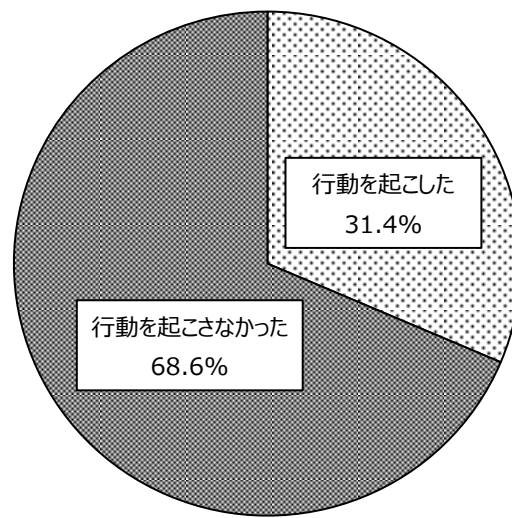
(4) 防災マップの啓発効果

問 32. 防災マップを見て、災害に備えて何か行動を起こしましたか。

【1 つ選択】

「行動を起こした」と回答した方が 31.4%となっており、令和 4 年度の 21.7%から 9.7 ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	行動を起こした	147	31.4%
2	行動を起こさなかった	321	68.6%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 33. 問 32 で「1 行動を起こした」と回答された方に伺います。

災害に備えて、具体的にどのような行動を起こしましたか。

【複数選択可：いくつでも】

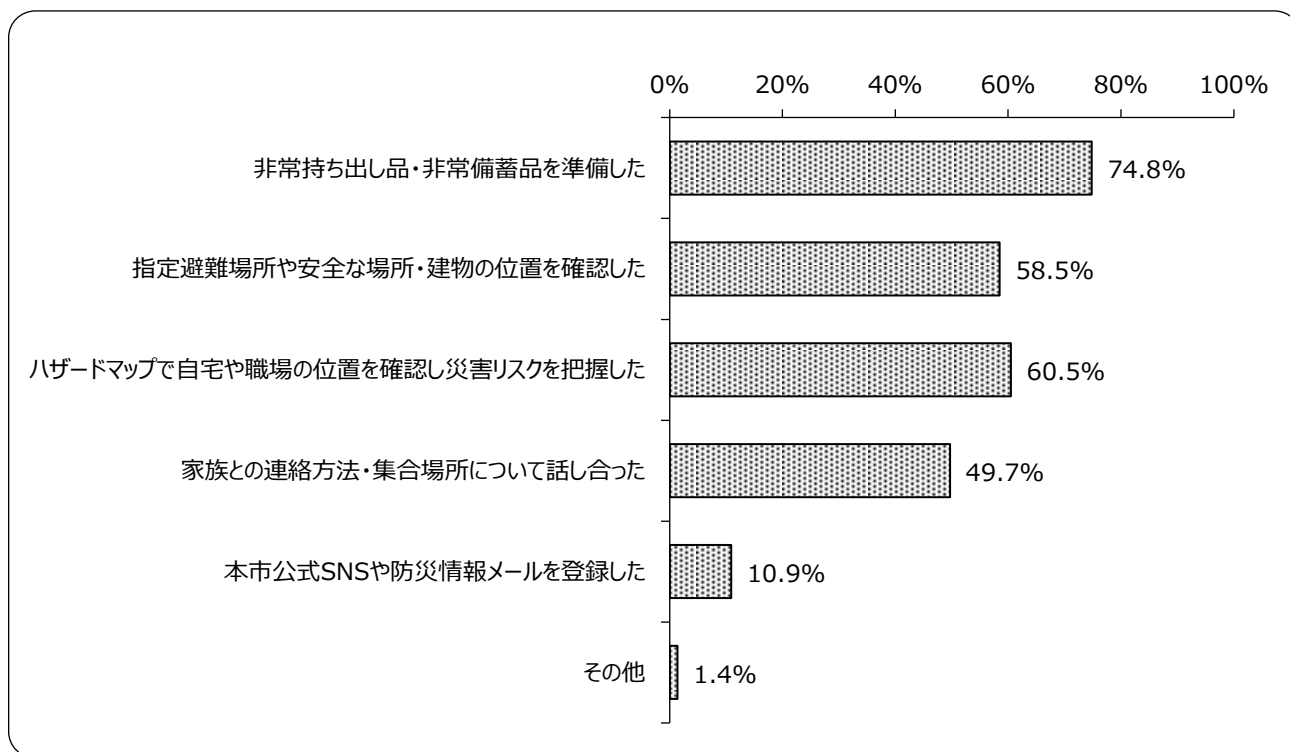
「ハザードマップで自宅や職場の位置を確認し災害リスクを把握した」と回答した方は 60.5%であり、令和 4 年度の 48.5%から増加した一方で、「本市公式 SNS や防災情報メールを登録した」と回答した方は 10.9%であり、令和 4 年度の 12.9%と同様低かった。

	選択項目 (n=147)	回答数	回答数/n
1	非常持ち出し品・非常備蓄品を準備した	110	74.8%
2	指定避難場所や安全な場所・建物の位置を確認した	86	58.5%
3	ハザードマップで自宅や職場の位置を確認し災害リスクを把握した	89	60.5%
4	家族との連絡方法・集合場所について話し合った	73	49.7%
5	本市公式 SNS や防災情報メールを登録した	16	10.9%
6	その他	2	1.4%

[6 その他]

【全回答】

- 備蓄品の補充
- 防災に関連するアプリをダウンロードした。



4. 上下水道局の取組

調査結果の概要

テーマ	上下水道局の取組
担当課	上下水道局 経営企画室 危機管理・広報広聴担当
設問数	13 問
趣旨・目的	上下水道局では、令和 5 年 2 月に取り組むべき具体的施策や事業及びそれらのゴールを取りまとめた「堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030」を策定し、効果的・効率的で利用者に信頼される事業運営をめざしています。 今回のアンケートは、水道水の利用状況、災害に関する情報や備え、事業・サービス等に対する意向や評価を把握し、今後の利用者サービスの向上等に活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 35 では、水道水の安全性に関して、「安心している」「どちらかと言えば安心している」と回答した方の合計が約 8 割となりました。問 36 では、水道水への不満に関して、「特にない」が約 5 割となりましたが、残りの方は何らかの不満があり、特に「におい」や「敷地内の水道管や集合住宅のタンクの状態」に関してはそれぞれ約 2 割を占めました。問 44 の結果を参考に、「広報さかい」等で水道水の安全性の取組を積極的に広報します。 ・問 37 では、8 割以上の方が災害に備えて飲料水を備蓄している結果となりました。しかし、1 週間分の備蓄を行っている方は 25%に留まっています。引き続き紙と電子双方の媒体を活用して、災害への備えの重要性を啓発し、市民の具体的な行動につながる広報を実施します。

(1) 水道水の飲み方

問 34. 水道水をどのようにして飲んでいますか。

【1つ選択】

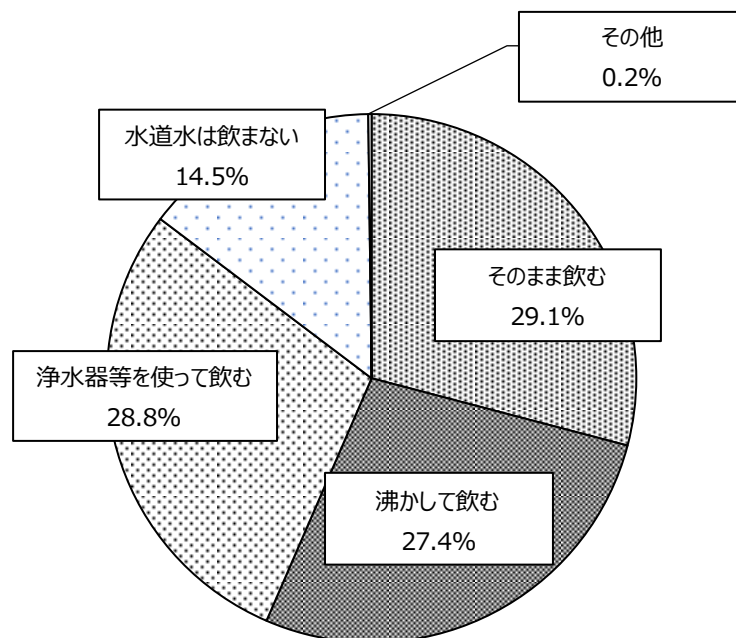
「そのまま飲む」「沸かして飲む」「浄水器等を使って飲む」と回答した方がそれぞれ約 3 割であった。年齢別では 30 歳代で「浄水器等を使って飲む」が多く、70 歳以上で「そのまま飲む」が他年代に比べ多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	そのまま飲む	136	29.1%
2	沸かして飲む	128	27.4%
3	浄水器等を使って飲む	135	28.8%
4	水道水は飲まない	68	14.5%
5	その他	1	0.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%

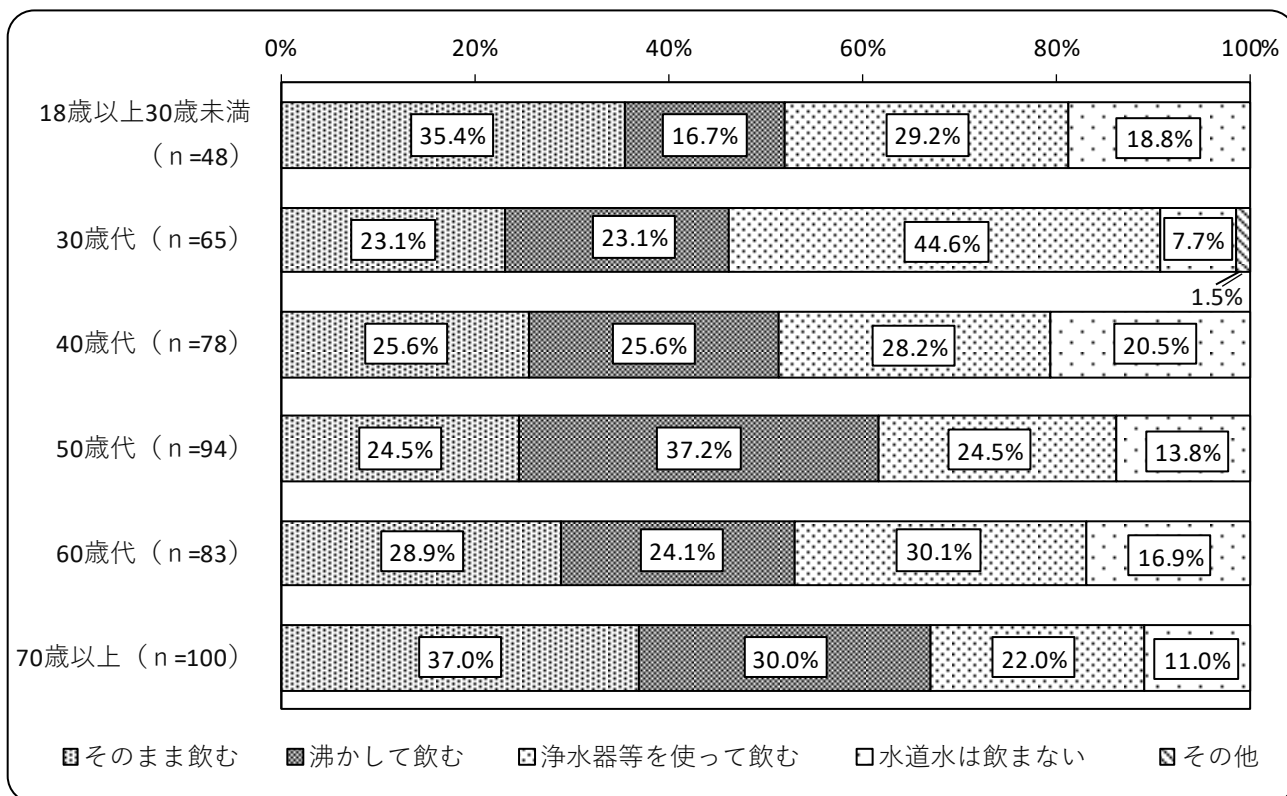
[5 その他]

【全回答】

- ウォーターサーバー



《年齢別》



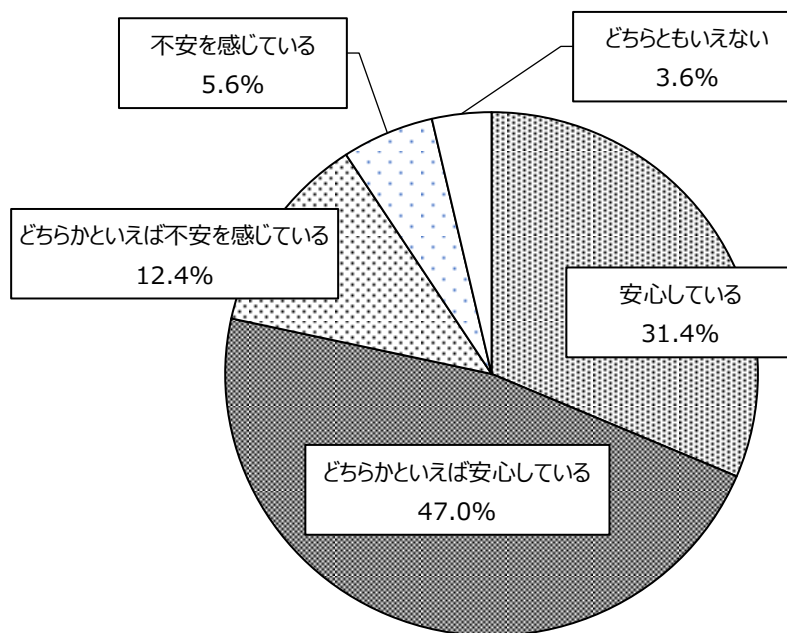
(2) 水道水の安全性

問 35. 本市の水道水の安全性について、日頃からどのように感じていますか。

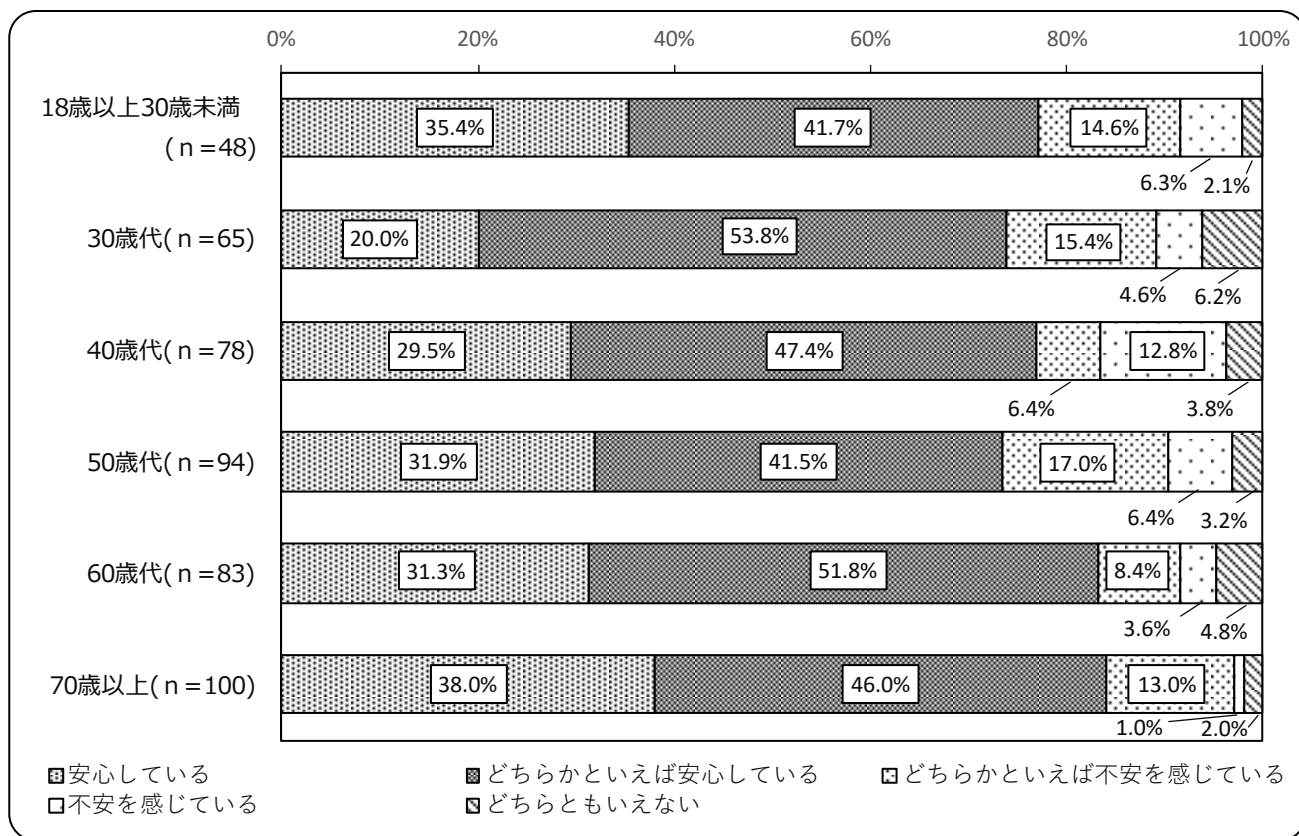
【1 つ選択】

「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計は約 8 割を占めた。年齢別では「安心している」と回答した割合は 70 歳以上で最も多く、30 歳代で最も少なかった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	安心している	147	31.4%
2	どちらかといえば安心している	220	47.0%
3	どちらかといえば不安を感じている	58	12.4%
4	不安を感じている	26	5.6%
5	どちらともいえない	17	3.6%
	計 (回答総数)	468	100.0%



《年齢別》



(3) 水道水への不満

問 36. 本市の水道水で、日頃から気になったり、不満に感じていることはありますか。 【複数選択可：いくつでも】

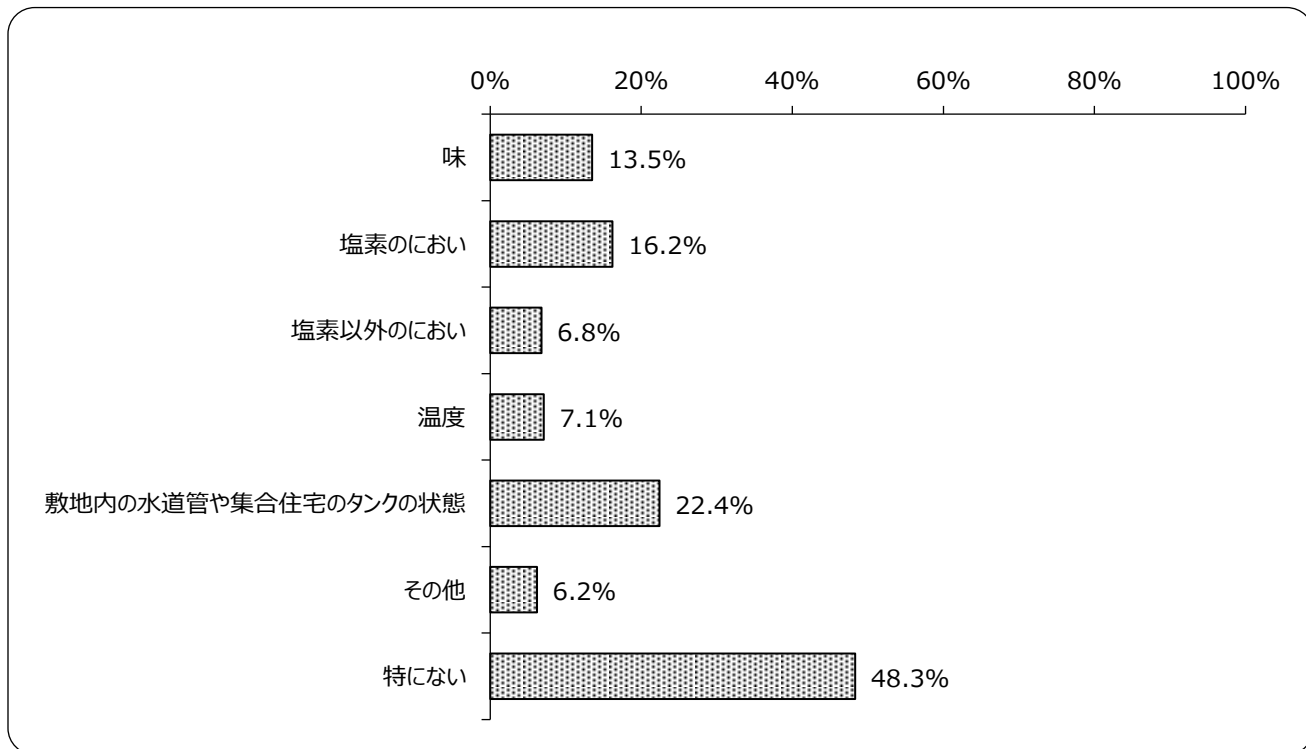
「特にない」と回答した方が約 5 割と最も多かった。また、「塩素のにおい」「塩素以外のにおい」といった「におい」の不満があった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	味	63	13.5%
2	塩素のにおい	76	16.2%
3	塩素以外のにおい	32	6.8%
4	温度	33	7.1%
5	敷地内の水道管や集合住宅のタンクの状態	105	22.4%
6	その他	29	6.2%
7	特にない	226	48.3%

[6 その他]

【主な回答】

- 水道水に PFAS（有機フッ素化合物）等の有害物質が含まれていないか不安
- 水道水の安全性へのアピールが足りない。
- 大阪市や他府県の水道水と味が違う。
- 浄水器をつけているが、生臭いにおいがすることがある。
- 水道管の老朽化
- 集合住宅の貯水槽式を廃止して直圧送水にしてほしい。
- 料金が低い。



(4) 家庭での備蓄状況

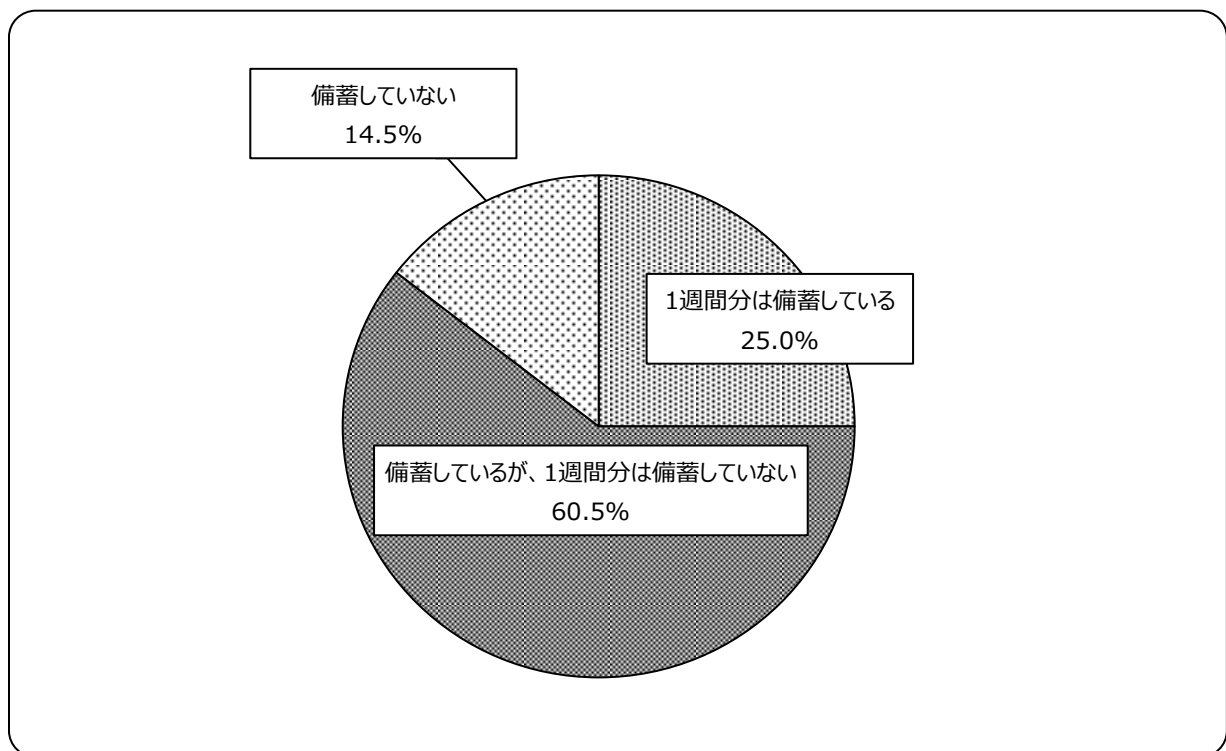
問 37. 地震等の災害発生に備え、ご家庭で 1 週間程度の飲料水（お茶、ジュース等を含む）を備蓄していますか。

※必要な備蓄量の目安：3 リットル×7 日分×世帯人数

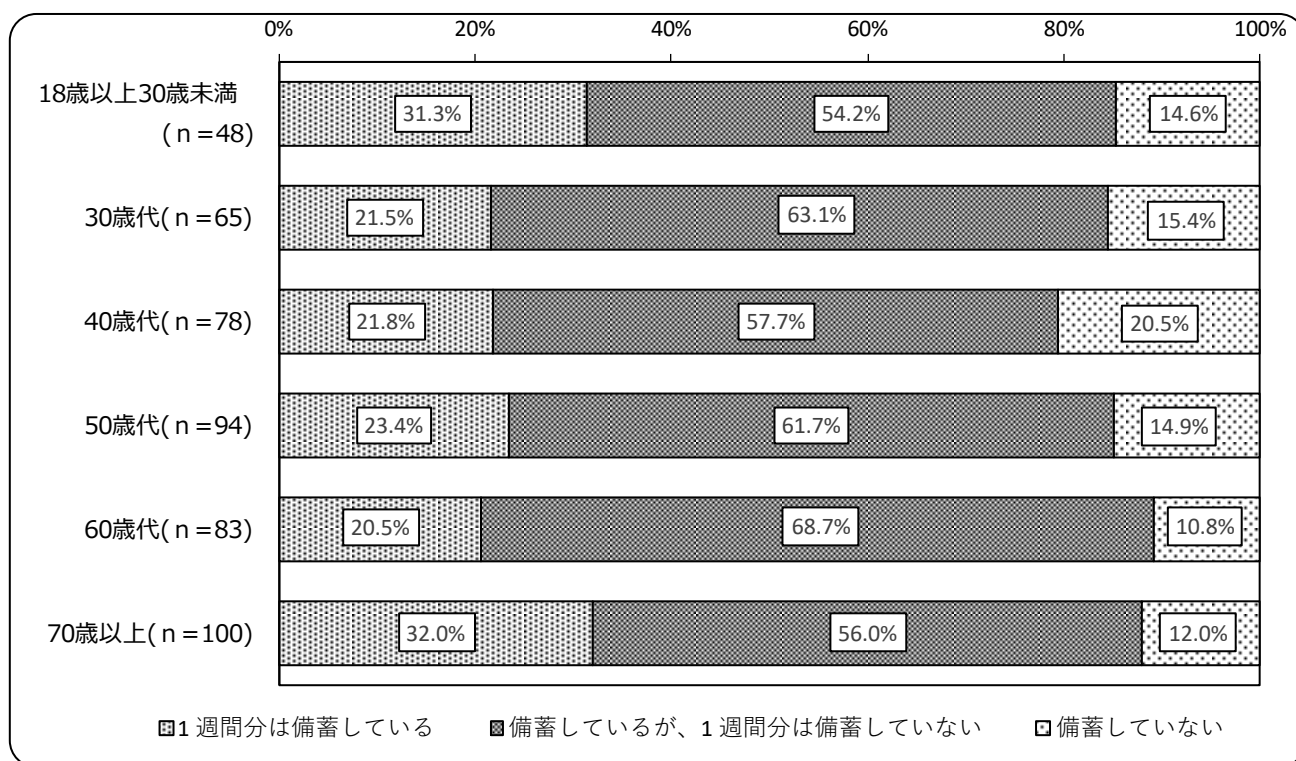
【1 つ選択】

「1 週間分は備蓄している」「備蓄しているが、1 週間分は備蓄していない」の合計は 85.5%で、令和 5 年度の 77.7%から増加した。18 歳以上 30 歳未満と 70 歳以上では「1 週間分は備蓄している」の割合が高かった。

	選択項目（n=468）	回答数	構成比
1	1週間分は備蓄している	117	25.0%
2	備蓄しているが、1週間分は備蓄していない	283	60.5%
3	備蓄していない	68	14.5%
	計（回答総数）	468	100.0%



《年齢別》

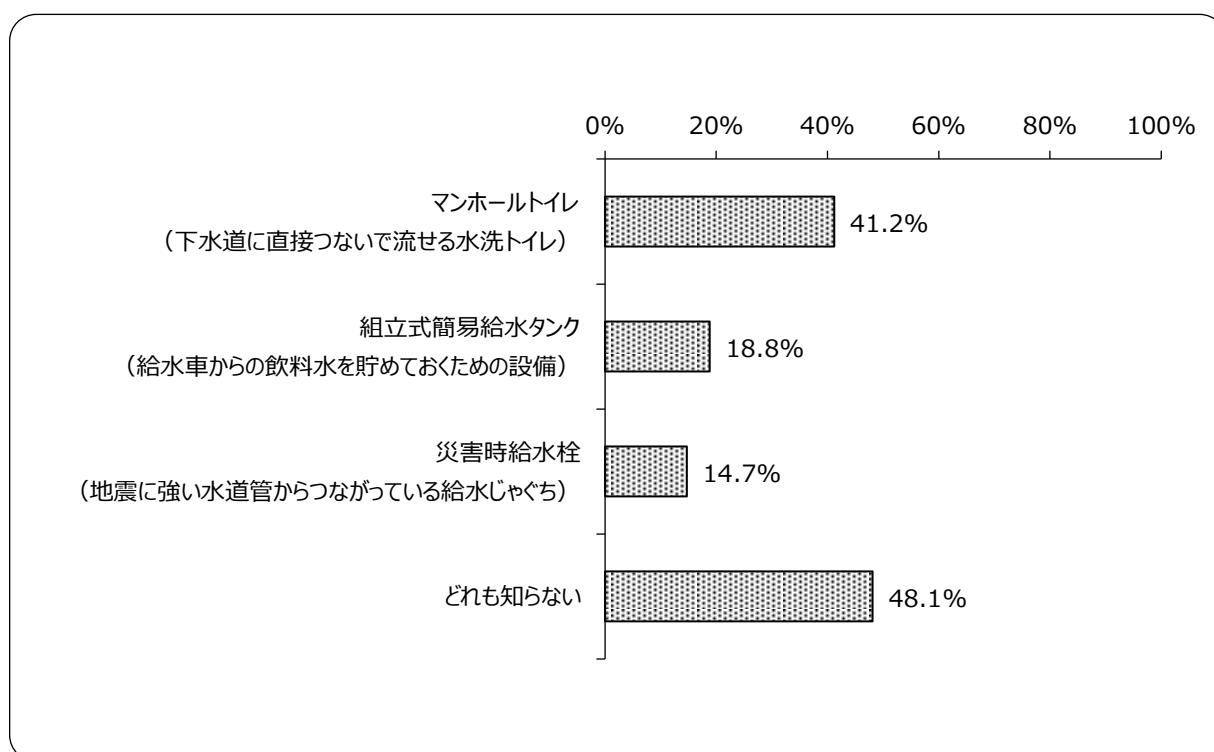


(5) 災害・地震対策

問 38. 1 から 3 の項目は、上下水道局が地震等の災害対策として、指定避難所となる市内全ての小学校に設置している設備です。これらについて知っているものを選んでください。【複数選択可：いくつでも】

「マンホールトイレ（下水道に直接つないで流せる水洗トイレ）」を知っている方は約 4 割いるが、「組立式簡易給水タンク（給水車からの飲料水を貯めておくための設備）」や「災害時給水栓（地震に強い水道管からつながっている給水じゃぐち）」を知っている方はそれぞれ 2 割以下であった。また、どれも知らない方が半数近くを占めた。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	マンホールトイレ（下水道に直接つないで流せる水洗トイレ）	193	41.2%
2	組立式簡易給水タンク（給水車からの飲料水を貯めておくための設備）	88	18.8%
3	災害時給水栓（地震に強い水道管からつながっている給水じゃぐち）	69	14.7%
4	どれも知らない	225	48.1%

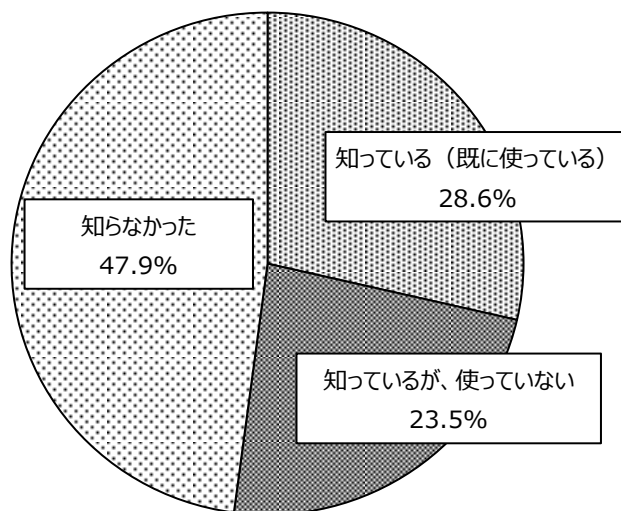


(6) 上下水道局スマホアプリ「すいりん」

問 39. 上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」は、過去 2 年分の水量や水道料金等の確認、ペーパーレス決済、クレジット決済の申込みができる便利なアプリです。「すいりん」を知っていますか。 【1 つ選択】

「知らなかった」と回答した方は 47.9%であり、令和 5 年度の 53.3%から減少した。「知っている（既に使っている）」と回答した方は 28.6%であり、令和 5 年度の 24.8%から増加した。

	選択項目（n=468）	回答数	構成比
1	知っている（既に使っている）	134	28.6%
2	知っているが、使っていない	110	23.5%
3	知らなかった	224	47.9%
	計（回答総数）	468	100.0%



問 40. 問 39 で「1 知っている（既に使っている）」と回答された方に伺います。

上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」を使っている理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

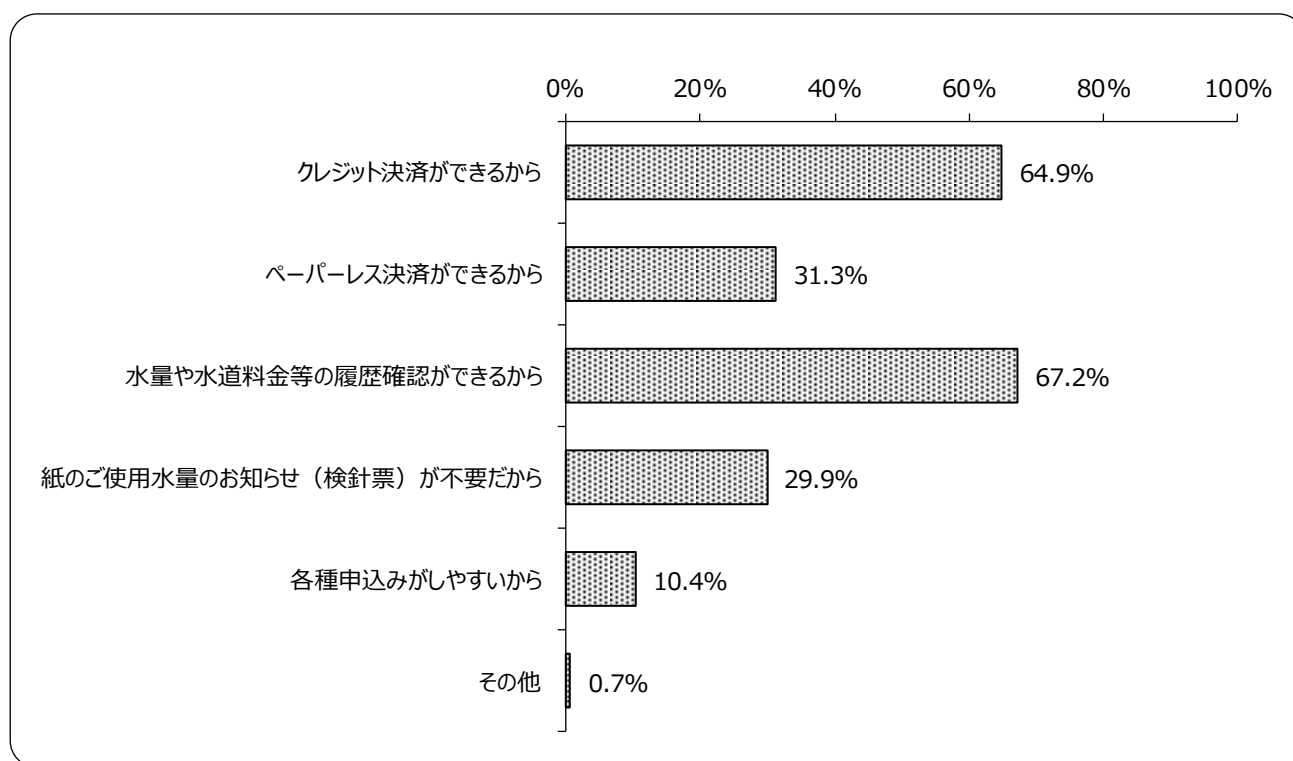
「水量や水道料金等の履歴確認ができるから」と回答した方が最も多く、67.2%であった。次いで、「クレジット決済ができるから」と回答した方が 64.9%であった。

	選択項目（n=134）	回答数	回答数/n
1	クレジット決済ができるから	87	64.9%
2	ペーパーレス決済ができるから	42	31.3%
3	水量や水道料金等の履歴確認ができるから	90	67.2%
4	紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が不要だから	40	29.9%
5	各種申込みがしやすいから	14	10.4%
6	その他	1	0.7%

[6 その他]

【全回答】

- マンション入居時に必須だったから。



問 41. 問 39 で「1 知っている（既に使っている）」と回答された方に伺います。

上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」で今後追加してほしい機能や、あれば使いたい機能は何ですか。

【複数選択可：いつでも】

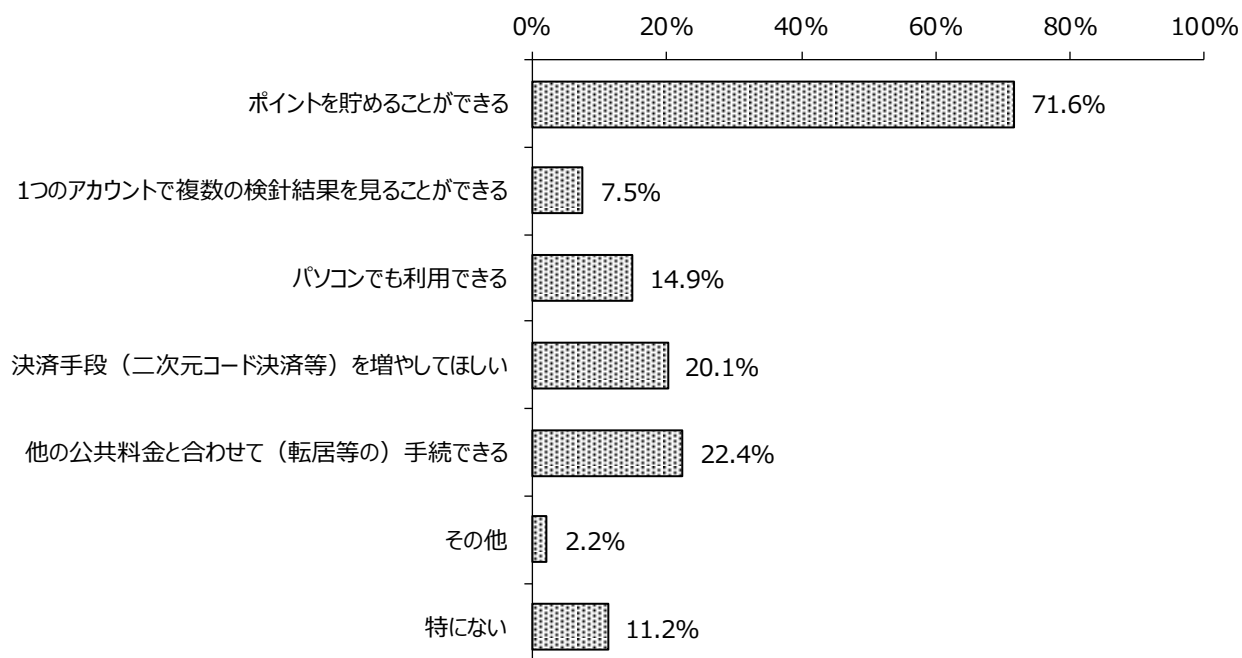
「ポイントを貯めることができる」と回答した方が 71.6%で最も多く、他の選択項目を大きく上回った。次いで「他の公共料金と合わせて（転居等の）手続きできる」「決済手段（二次元コード決済等）を増やしてほしい」と回答した方がそれぞれ約 2 割となった。

	選択項目（n=134）	回答数	回答数/n
1	ポイントを貯めることができる	96	71.6%
2	1つのアカウントで複数の検針結果を見ることができる	10	7.5%
3	パソコンでも利用できる	20	14.9%
4	決済手段（二次元コード決済等）を増やしてほしい	27	20.1%
5	他の公共料金と合わせて（転居等の）手続きできる	30	22.4%
6	その他	3	2.2%
7	特にない	15	11.2%

[6 その他]

【主な回答】

- 使いづらい
- 使用データをダウンロードしたい。
- クレジットカード決済をするだけが目的でアプリを入れるのは非生産的だからアプリを入れなくてもクレカ決済できる環境にするべき。



問 42. 問 39 で「2 知っているが、使っていない」と回答された方に伺います。

上下水道局スマートフォンアプリ「すいりん」を使っていない理由は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

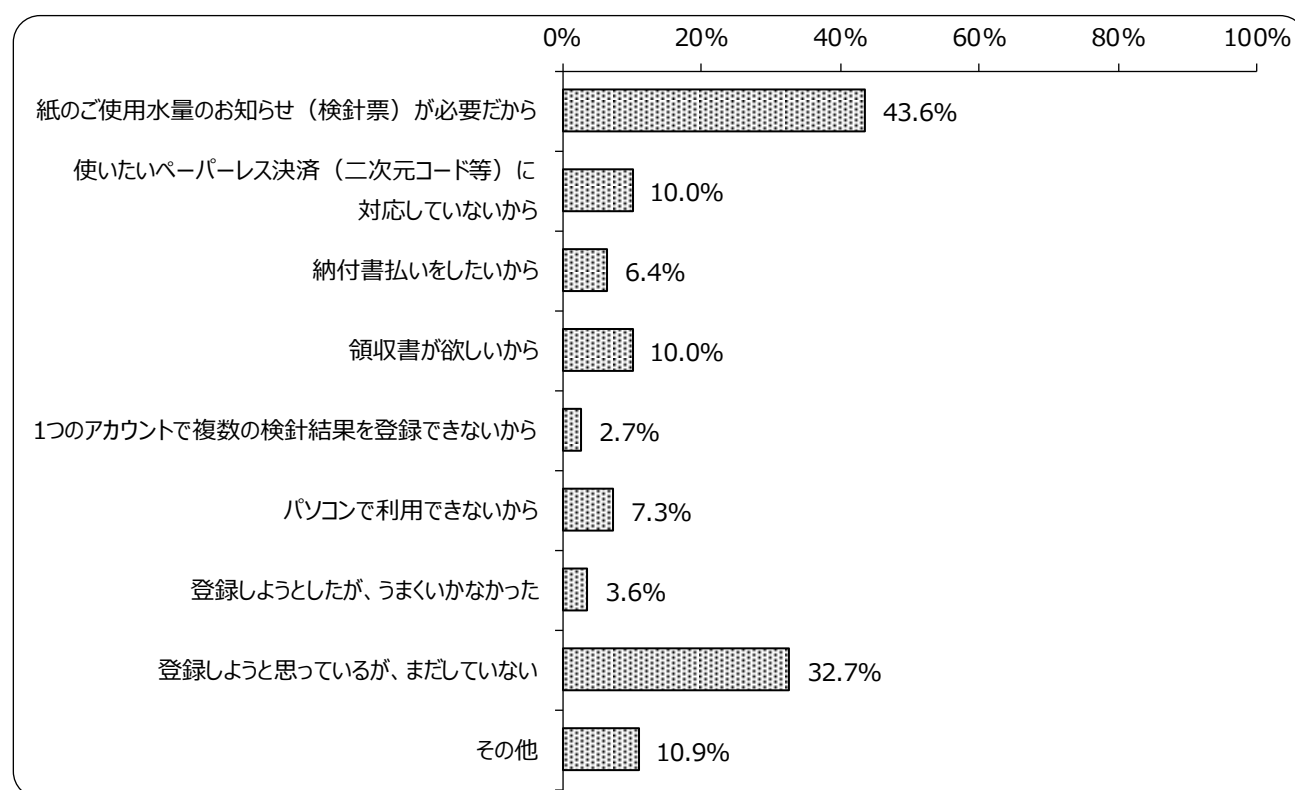
「紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が必要だから」と回答した方が 43.6%と最も多かった。

	選択項目 (n=110)	回答数	回答数/n
1	紙のご使用水量のお知らせ（検針票）が必要だから	48	43.6%
2	使いたいペーパーレス決済（二次元コード等）に対応していないから	11	10.0%
3	納付書払いをしたいから	7	6.4%
4	領収書が欲しいから	11	10.0%
5	1つのアカウントで複数の検針結果を登録できないから	3	2.7%
6	パソコンで利用できないから	8	7.3%
7	登録しようとしたが、うまくいかなかった	4	3.6%
8	登録しようと思っているが、まだしていない	36	32.7%
9	その他	12	10.9%

[9 その他]

【主な回答】

- 紙の方がすぐに見られるから
- アプリを増やしたくない。
- アプリは使いにくい。
- 登録が面倒
- 集合住宅で管理会社が一括管理のため
- 必要性がない。

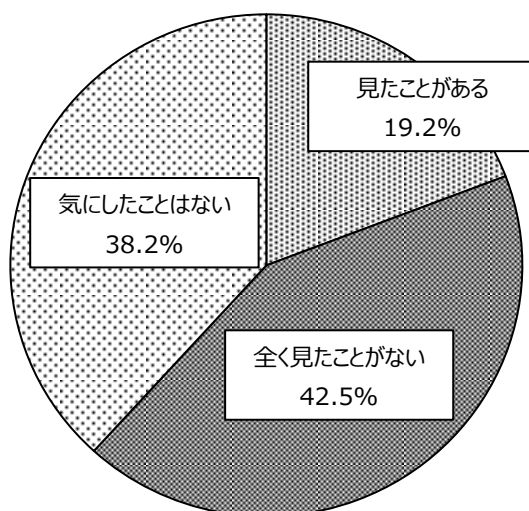


(7) 上下水道局からの情報発信

問 43. 上下水道局では、上下水道事業の取組のほか、事故や災害時の緊急情報（断水・濁水の発生、給水拠点の場所）等について情報発信しています。上下水道局から発信している情報をご覧になったことはありますか。
【1 つ選択】

「全く見たことがない」「気にしたことがない」の合計が約 8 割を占めた。

	選択項目（n=468）	回答数	構成比
1	見たことがある	90	19.2%
2	全く見たことがない	199	42.5%
3	気にしたことはない	179	38.2%
	計（回答総数）	468	100.0%



(8) 上下水道局からの情報をご覧になった広報媒体や機会

問 44. 問 43 で「1 見たことがある」と回答された方に伺います。

上下水道局からの情報を、どの広報媒体や機会から得られましたか。

【複数選択可：いくつでも】

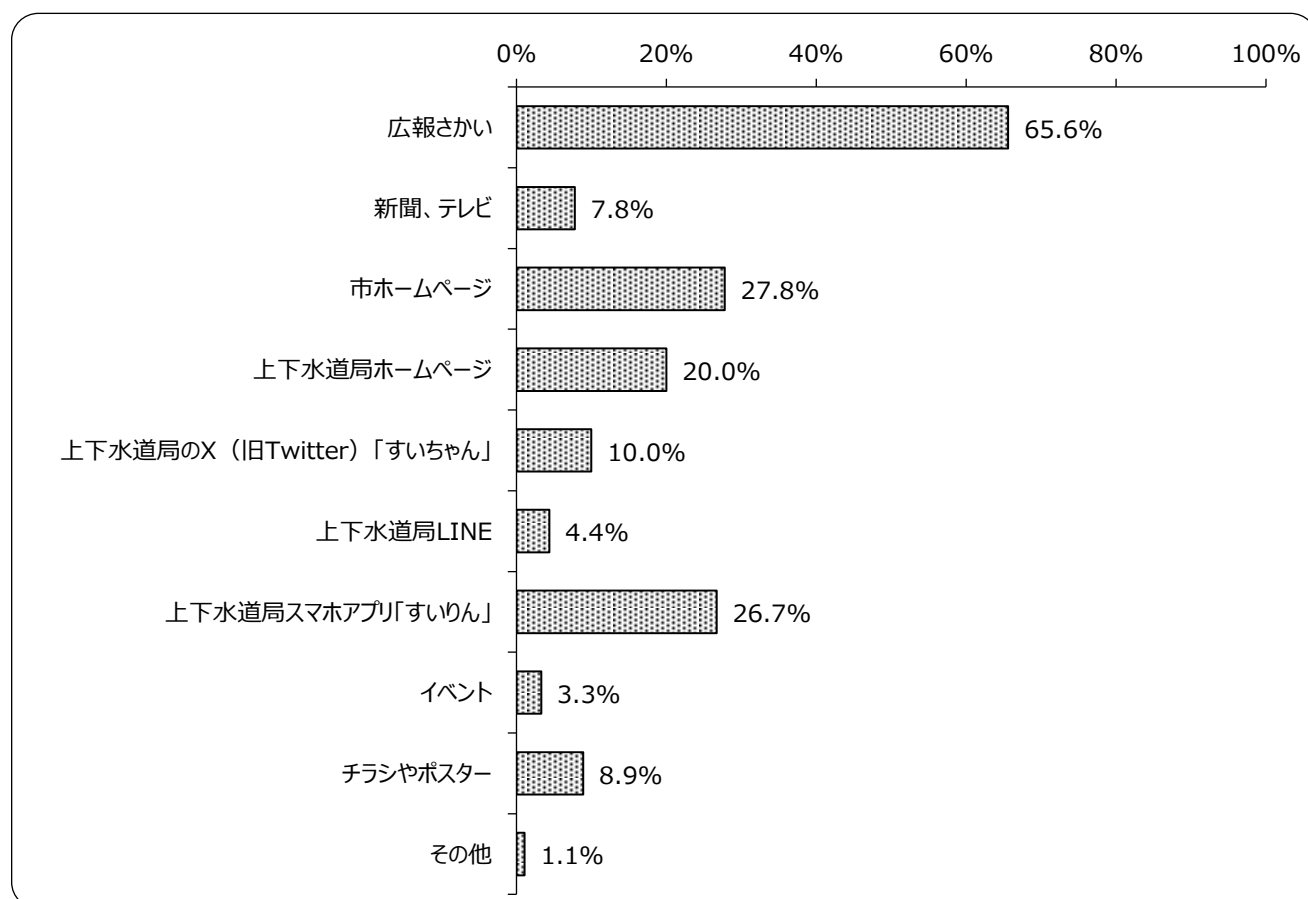
「広報さかい」と回答した方が最も多く 65.6%であった。次いで「市ホームページ」が 27.8%、「上下水道局スマホアプリ「すいりん」」が 26.7%であった。

	選択項目（n=90）	回答数	回答数/ n
1	広報さかい	59	65.6%
2	新聞、テレビ	7	7.8%
3	市ホームページ	25	27.8%
4	上下水道局ホームページ	18	20.0%
5	上下水道局のX（旧Twitter）「すいちゃん」	9	10.0%
6	上下水道局LINE	4	4.4%
7	上下水道局スマホアプリ「すいりん」	24	26.7%
8	イベント	3	3.3%
9	チラシやポスター	8	8.9%
10	その他	1	1.1%

[10 その他]

【全回答】

● インターネット



(9) 上下水道局の情報発信の満足度

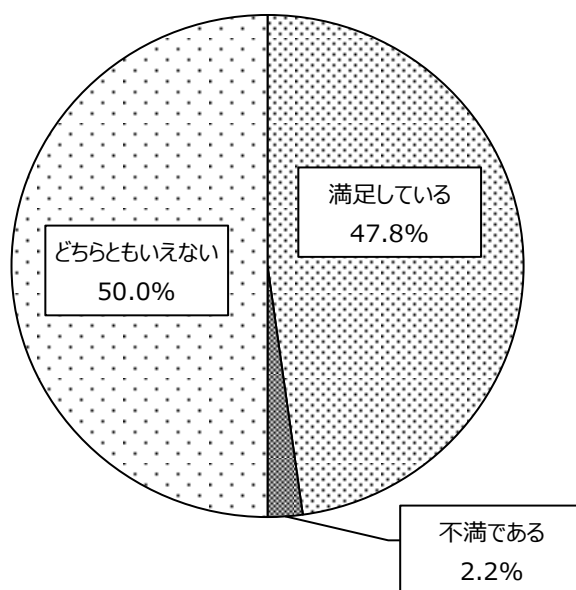
問 45. 問 43 で「1 見たことがある」と回答された方に伺います。

上下水道局の情報発信等広報活動の満足度を教えてください。

【1 つ選択】

「満足している」「どちらともいえない」と回答した方がそれぞれ約 5 割で同程度となった。

	選択項目 (n=90)	回答数	構成比
1	満足している	43	47.8%
2	不満である	2	2.2%
3	どちらともいえない	45	50.0%
	計 (回答総数)	90	100.0%



(10) 上下水道局から知りたい情報

問 46. 上下水道局から発信する情報で、知りたい内容は何ですか。

【複数選択可：いくつでも】

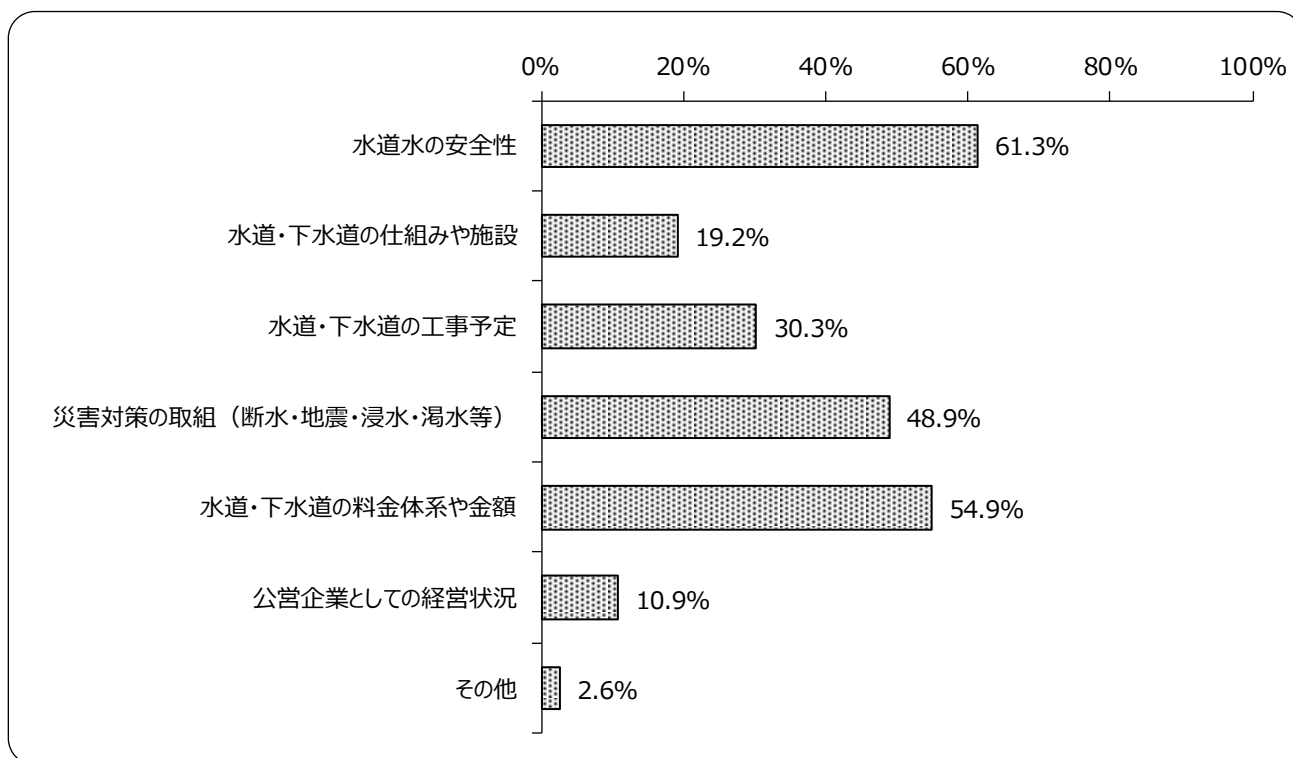
「水道水の安全性」と回答した方が最も多く、61.3%であった。次いで「水道・下水道の料金体系や金額」が 54.9%、「災害対策の取組（断水・地震・浸水・渇水等）」が 48.9%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/ n
1	水道水の安全性	287	61.3%
2	水道・下水道の仕組みや施設	90	19.2%
3	水道・下水道の工事予定	142	30.3%
4	災害対策の取組（断水・地震・浸水・渇水等）	229	48.9%
5	水道・下水道の料金体系や金額	257	54.9%
6	公営企業としての経営状況	51	10.9%
7	その他	12	2.6%

[7 その他]

【主な回答】

- イベント情報
- 次回のマンホールカードの作成に関する情報
- 民営化を検討する場合は、検討段階から市民へ進捗状況を周知してほしい。



5. ごみ減量化・リサイクル

調査結果の概要

テーマ	ごみ減量化・リサイクル
担当課	環境局 環境事業部 環境事業管理課
設問数	8 問
趣旨・目的	本市では、ごみに関わる環境問題の解決及び安定的なごみ処理体制の構築を目的として、令和 4 年 7 月から令和 6 年 3 月まで「堺・ごみ減量 4R 大作戦」を実施し、集中的にごみ減量に関する情報発信を行いました。 今回のアンケートは、当該事業終了後のごみ減量への取組状況や今後の情報発信手法の検討材料を把握するため、実施するものです。調査結果は、今後の事業運営に活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 47・48 の結果から、約 5 割の方が「堺・ごみ減量 4R 大作戦」終了後も変わらず、ごみ減量に取り組んでいることから、まだごみ減量に取り組んでいない方へ取り組んでいただけるよう引き続き広報さかいやイベント等において、ごみ減量の情報発信を継続します。 ・問 49・50 の結果から、「何をすれば良いか分からなかったから」を回答した方で「粗大ごみのリユース」の回答が最も多かったため、広報さかいや SNS 等において、より分かりやすい情報発信に努めます。 ・問 52 の結果から、市の広報媒体を利用されている方の中にも「堺・ごみ減量 4R 大作戦」に関する情報を知らなかった方がいることから、今後、広報さかい等において、訴求力のある情報発信を行います。

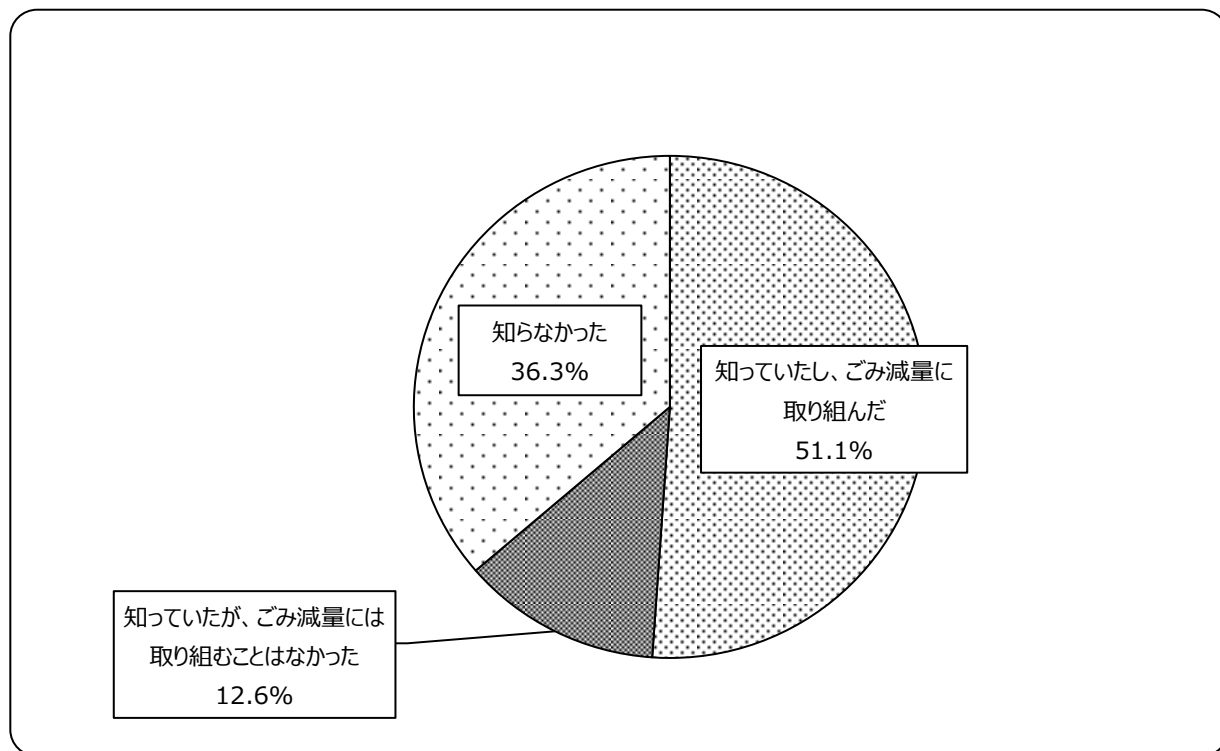
(1) 堺・ごみ減量 4R 大作戦

問 47. 本市では、ごみに関わる環境問題の解決と安定的なごみ処理体制の構築のため、令和 4 年 7 月から令和 6 年 3 月までをごみ減量に集中的に取り組む期間と位置付け、『堺・ごみ減量 4R (※) 大作戦』を実施していました。この取組を知っていましたか。

※4R とは、ごみの減量につながる行動を示すリフューズ (Refuse : 不要なものを断る)、リデュース (Reduce : ごみを減量する)、リユース (Reuse : 繰り返し使う)、リサイクル (Recycle : 再資源化する) の総称です。 【1 つ選択】

「知っていたし、ごみ減量に取り組んだ」と回答した方が 51.1%であり、令和 5 年度の 41.4%から 9.7 ポイント増加した。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っていたし、ごみ減量に取り組んだ	239	51.1%
2	知っていたが、ごみ減量には取り組むことはなかった	59	12.6%
3	知らなかった	170	36.3%
	計 (回答総数)	468	100.0%



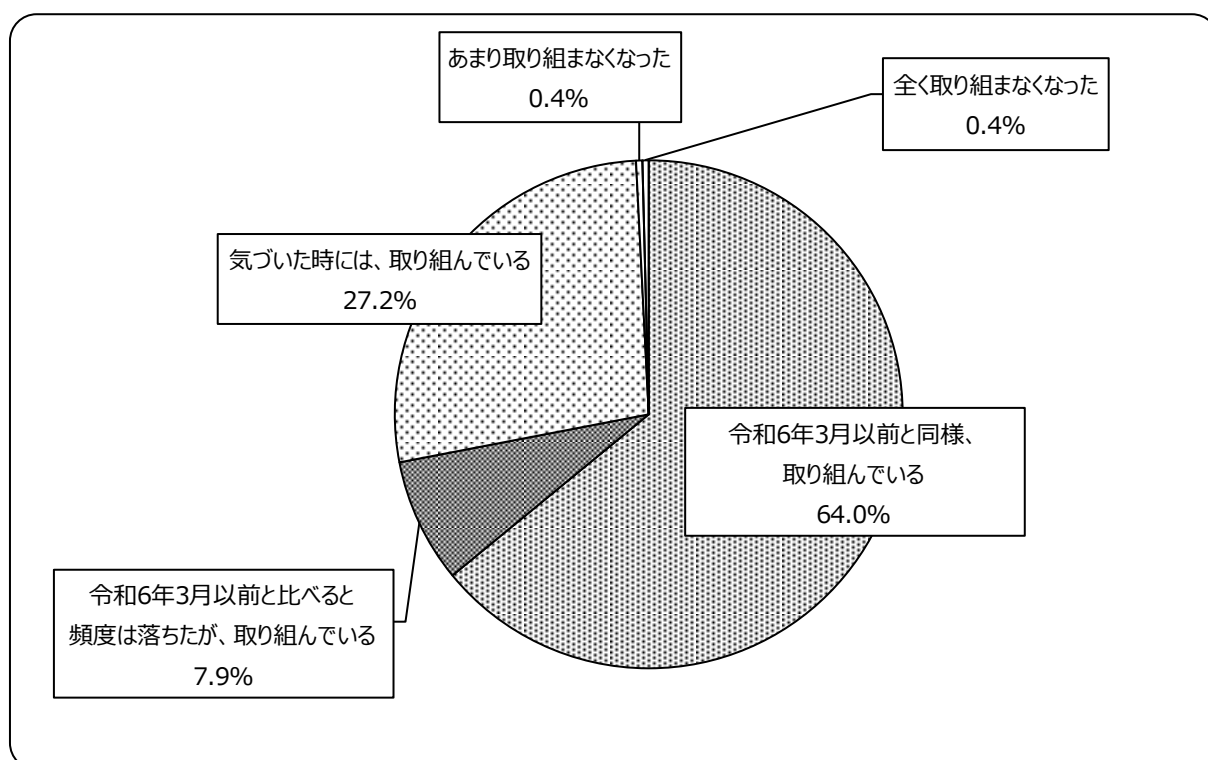
問 48. 問 47 で「1 知っていたし、ごみ減量に取り組んだ」と回答された方に伺います。

現在のごみ減量に関する取組状況について教えてください。

【1 つ選択】

「令和 6 年 3 月以前と同様、取り組んでいる」「令和 6 年 3 月以前と比べると頻度は落ちたが、取り組んでいる」「気づいた時には、取り組んでいる」と回答した方の合計が 99.1%であった。

	選択項目 (n=239)	回答数	構成比
1	令和6年3月以前と同様、取り組んでいる	153	64.0%
2	令和6年3月以前と比べると頻度は落ちたが、取り組んでいる	19	7.9%
3	気づいた時には、取り組んでいる	65	27.2%
4	あまり取り組まなくなった	1	0.4%
5	全く取り組まなくなった	1	0.4%
	計 (回答総数)	239	100.0%



**問 49. 問 47 で「2 知っていたが、ごみ減量には取り組むことはなかった」と回答された方に伺います。
その理由をお答えください。 【複数選択可：いくつでも】**

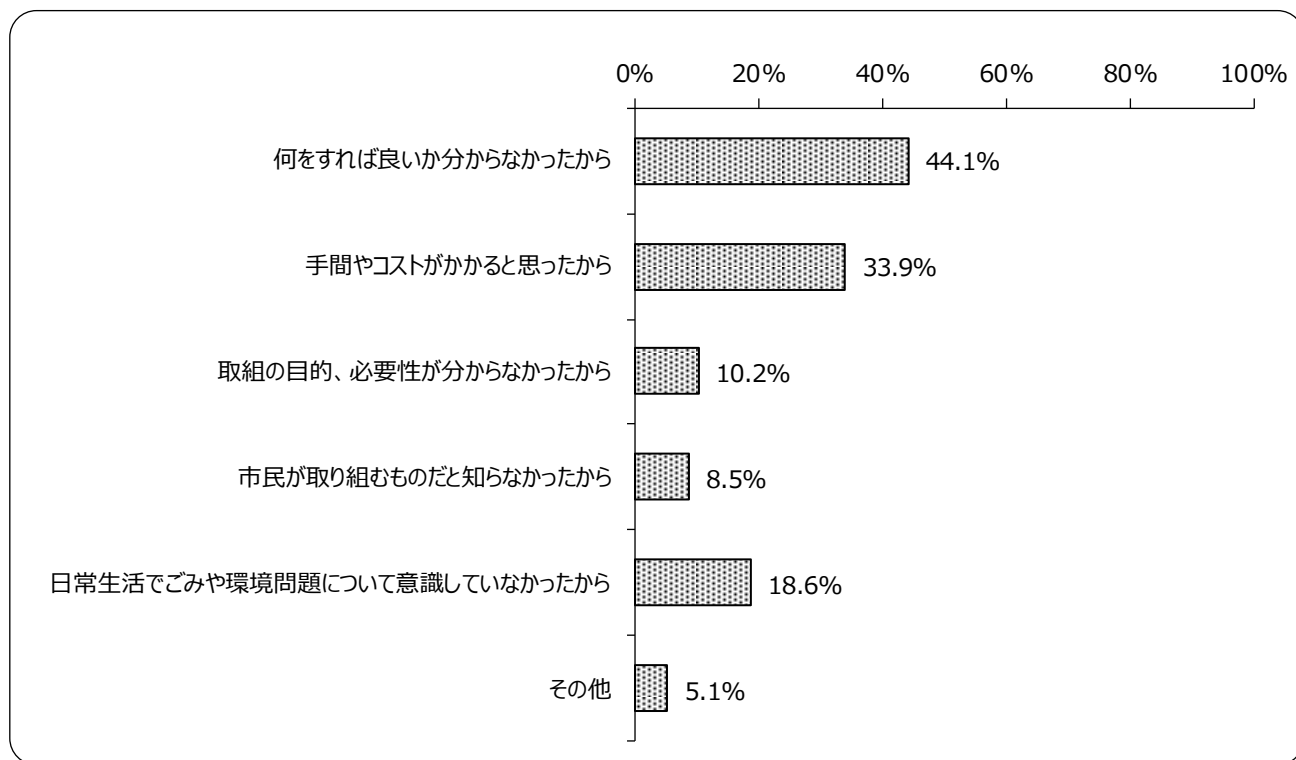
「何をすれば良いか分からないから」と回答した方が 44.1%と最も多かったが、令和 5 年度の 58.2%から 14.1 ポイント、令和 4 年度の 67.9%から 23.8 ポイント減少した。

	選択項目（n=59）	回答数	回答数/n
1	何をすれば良いか分からなかったから	26	44.1%
2	手間やコストがかかると思ったから	20	33.9%
3	取組の目的、必要性が分からなかったから	6	10.2%
4	市民が取り組むものだと思わなかったから	5	8.5%
5	日常生活でごみや環境問題について意識していなかったから	11	18.6%
6	その他	3	5.1%

[6 その他]

【主な回答】

- 普段から取り組んでいるから



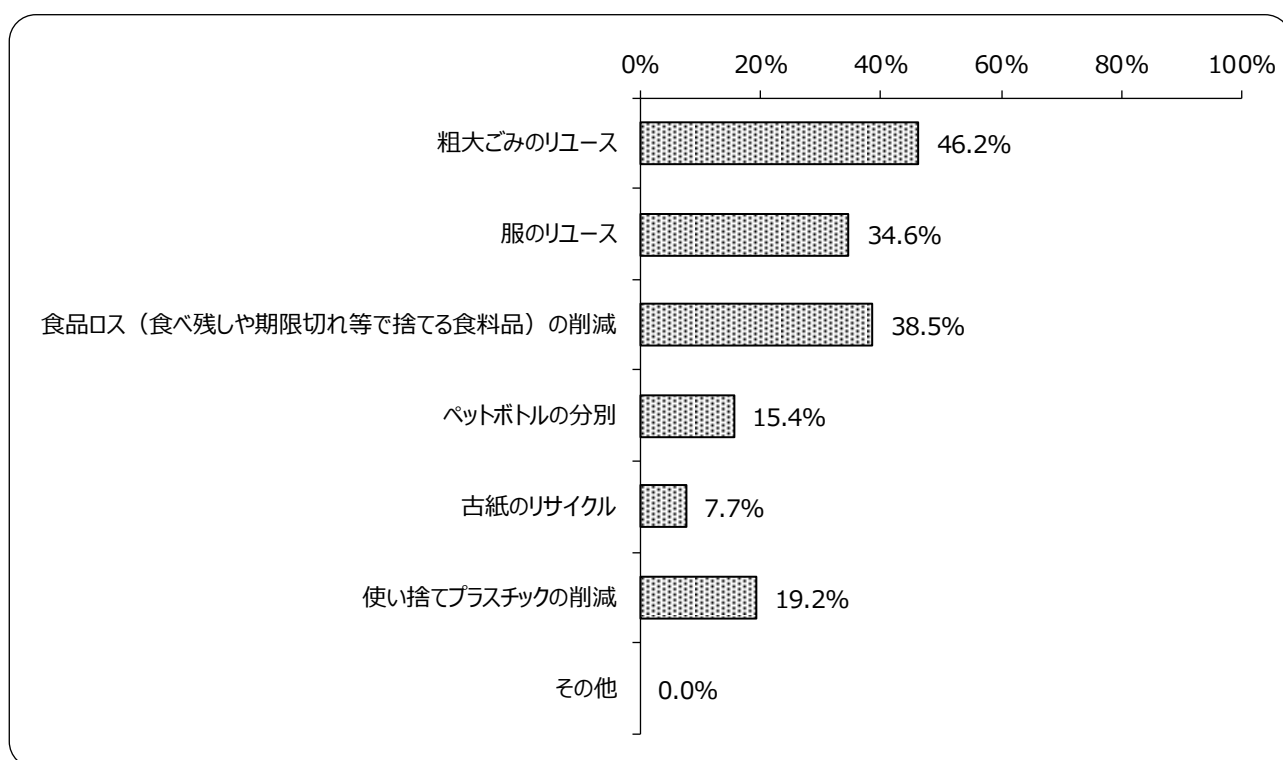
問 50. 問 49 で「1 何をすれば良いか分からなかったから」と回答された方に伺います。

何をすれば良いか分からなかったと思った取組をお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

「粗大ごみのリユース」と回答した方が 46.2%と最も多く、次いで「食品ロス（食べ残しや期限切れ等で捨てる食料品）の削減」が 38.5%、「服のリユース」が 34.6%であった。

	選択項目（n=26）	回答数	回答数/n
1	粗大ごみのリユース	12	46.2%
2	服のリユース	9	34.6%
3	食品ロス（食べ残しや期限切れ等で捨てる食料品）の削減	10	38.5%
4	ペットボトルの分別	4	15.4%
5	古紙のリサイクル	2	7.7%
6	使い捨てプラスチックの削減	5	19.2%
7	その他	0	0.0%



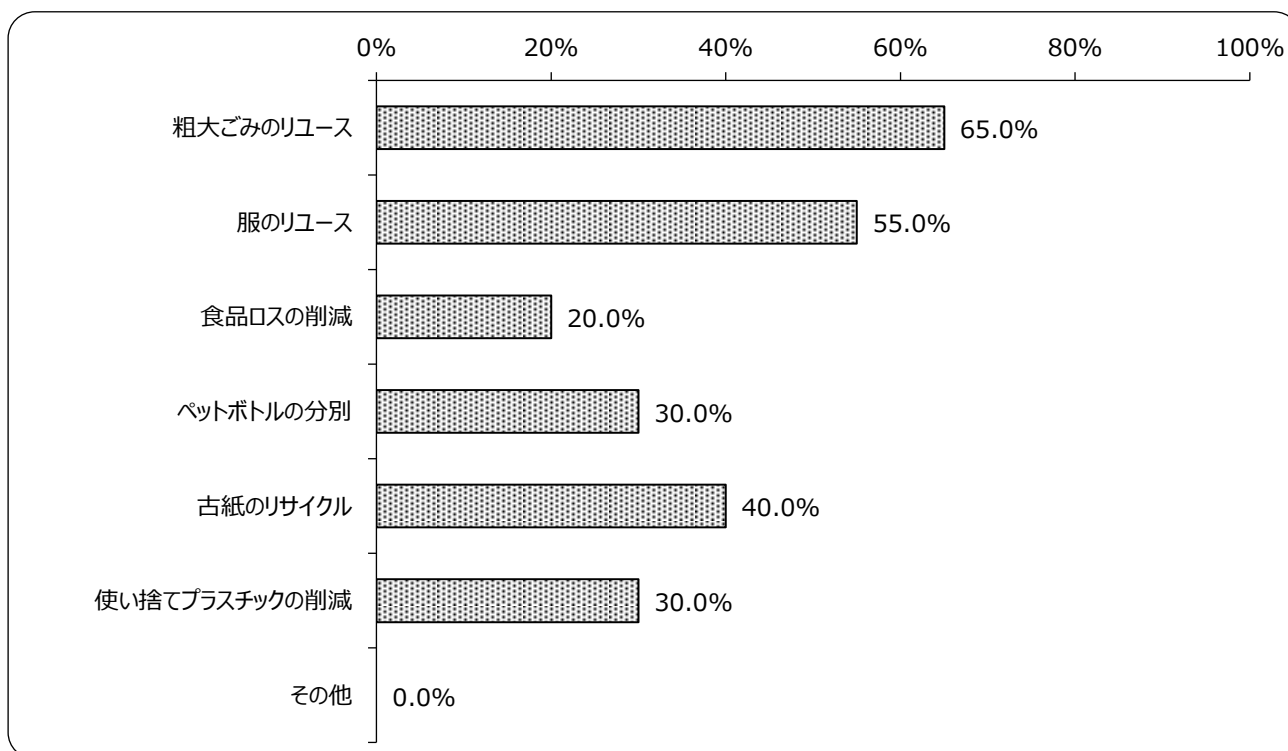
問 51. 問 49 で「2 手間やコストがかかると思ったから」と回答された方に伺います。

手間やコストがかかると思った取組をお答えください。

【複数選択可：いくつでも】

「粗大ごみのリユース」と回答した方が 65.0%と最も多く、次いで「服のリユース」が 55.0%、「古紙のリサイクル」が 40.0%であった。

	選択項目 (n=20)	回答数	回答数/n
1	粗大ごみのリユース	13	65.0%
2	服のリユース	11	55.0%
3	食品ロスの削減	4	20.0%
4	ペットボトルの分別	6	30.0%
5	古紙のリサイクル	8	40.0%
6	使い捨てプラスチックの削減	6	30.0%
7	その他	0	0.0%



(2) 情報収集

問 52. 問 47 で「3 知らなかった」と回答された方に伺います。

日常生活の中で、ごみに関する情報（捨て方やリサイクルの方法、イベント情報等）のうち、本市が発信している情報を主にどの方法で探しますか。 【1 つ選択】

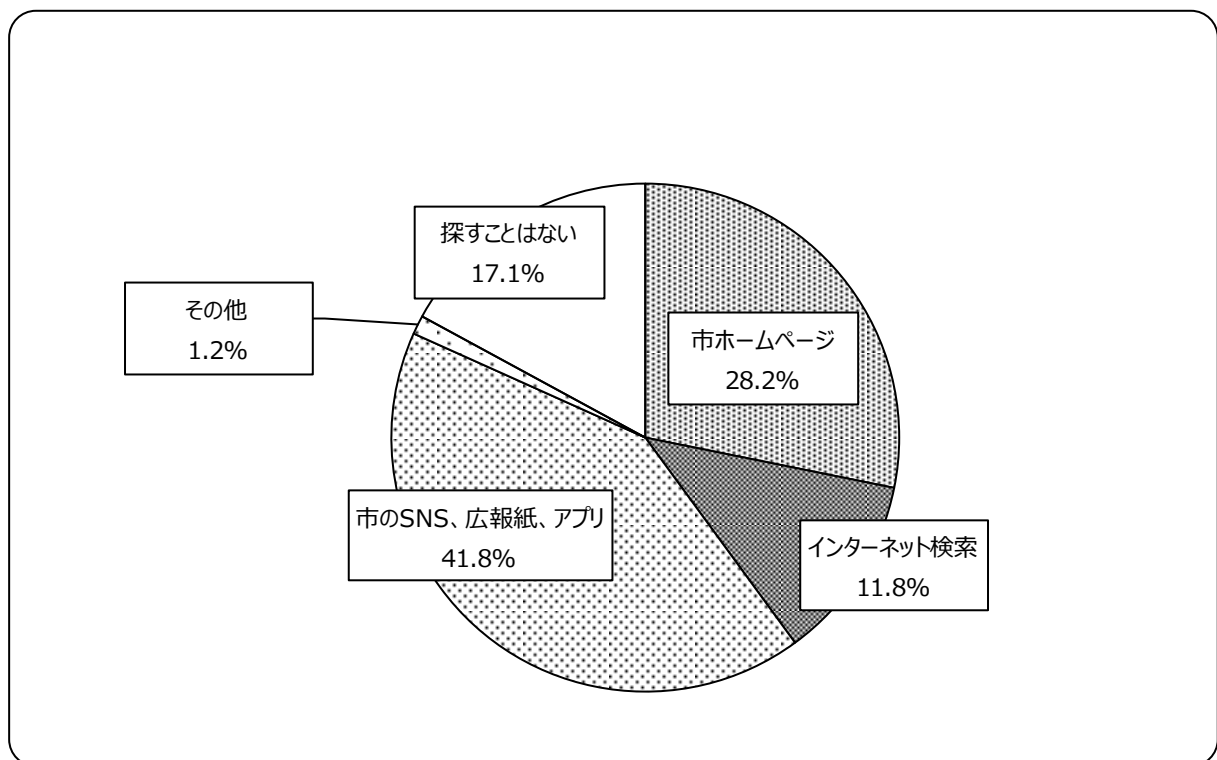
「市の SNS、広報紙、アプリ」と回答した方は 41.8%と最も多く、次いで「市ホームページ」と回答した方が 28.2%であった。

	選択項目 (n=170)	回答数	構成比
1	市ホームページ	48	28.2%
2	インターネット検索	20	11.8%
3	市のSNS、広報紙、アプリ	71	41.8%
4	その他	2	1.2%
5	探すことはない	29	17.1%
	計 (回答総数)	170	100.0%

[4 その他]

【全回答】

- マンションの掲示板
- 市役所に電話



問 53. 問 52 で「3 市の SNS、広報紙、アプリから探す」と回答された方に伺います。

日常生活の中で、どのツールで情報を探しますか。

【複数選択可：いくつでも】

「広報さかい」と回答した方は 88.7%と最も多く、次いで「市公式 LINE」が 22.5%、「さんあ〜る」が 15.5%であった。

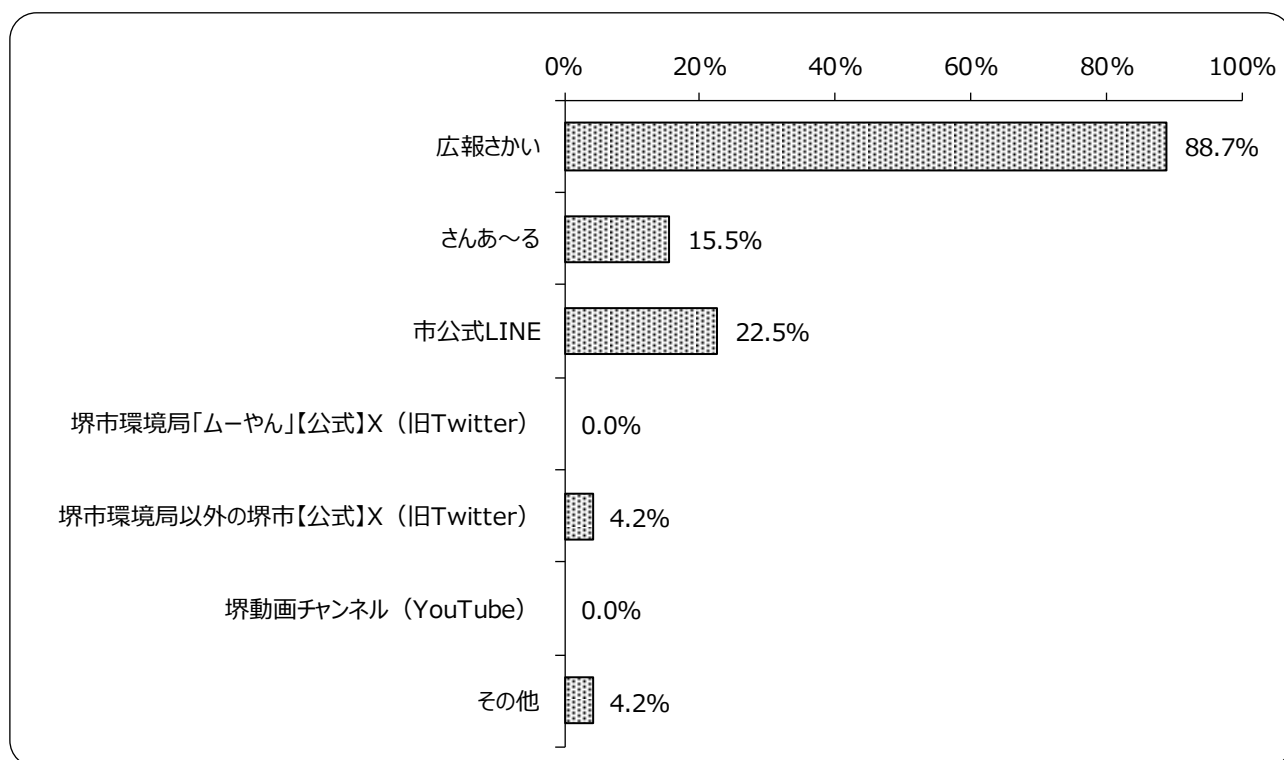
	選択項目 (n=71)	回答数	回答数/n
1	広報さかい	63	88.7%
2	さんあ〜る (※)	11	15.5%
3	市公式LINE	16	22.5%
4	堺市環境局「ムーやん」【公式】X (旧Twitter)	0	0.0%
5	堺市環境局以外の堺市【公式】X (旧Twitter)	3	4.2%
6	堺動画チャンネル (YouTube)	0	0.0%
7	その他	3	4.2%

※住まいの地域の収集日や分別方法を確認できるごみ分別アプリのこと。

[4 その他]

【主な回答】

- 市役所に電話
- 堺子育て応援アプリ



問 54. 問 52 で「5 探すことはない」と回答された方に伺います。

日常生活の中で、どのようなツールを通して情報を探すことが多いですか。

【複数選択可：いくつでも】

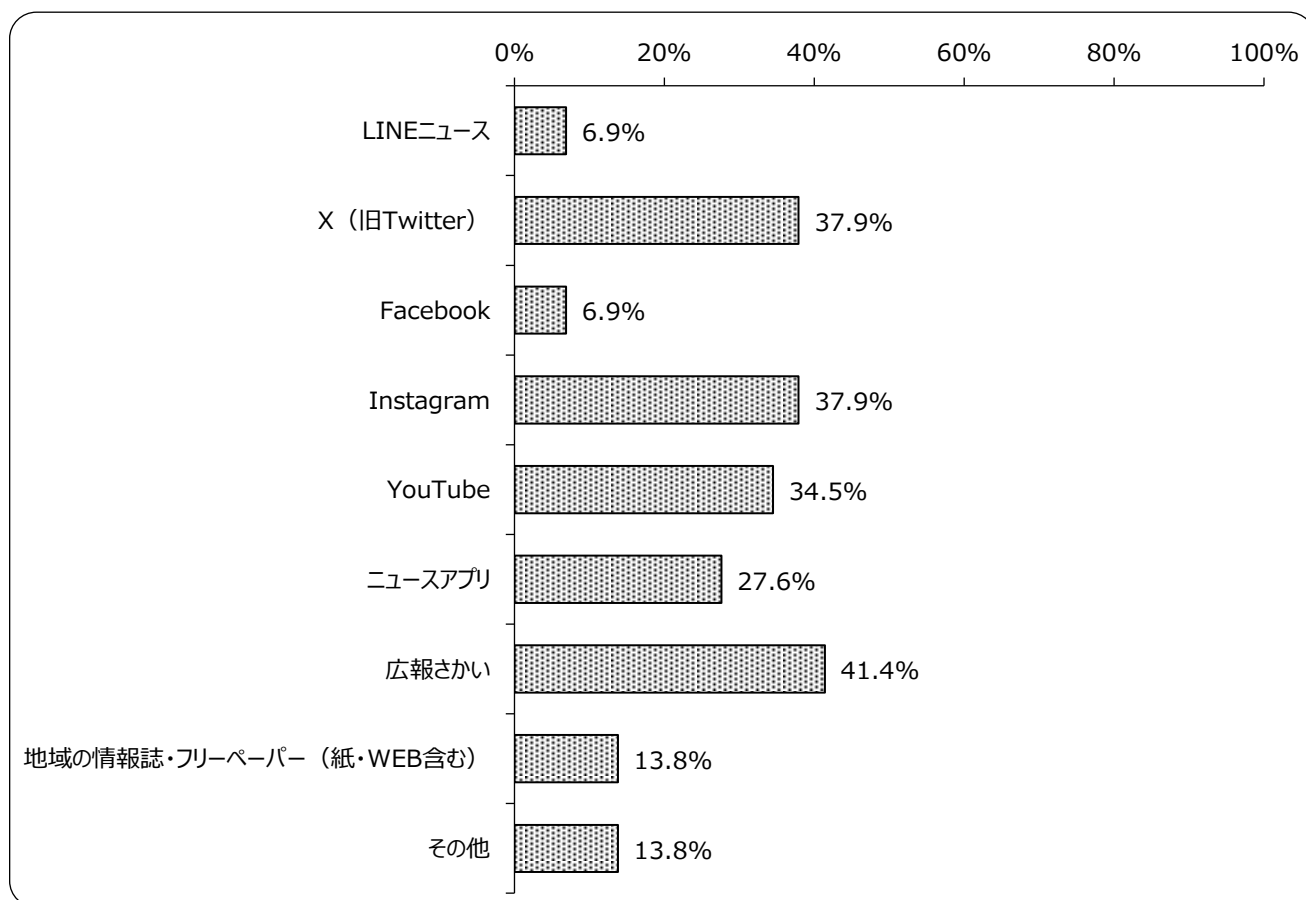
「広報さかい」と回答した方は 41.4%と最も多く、次いで「X（旧 Twitter）」と「Instagram」と回答した方が 37.9%であった。

	選択項目（n=29）	回答数	回答数/n
1	LINEニュース	2	6.9%
2	X（旧Twitter）	11	37.9%
3	Facebook	2	6.9%
4	Instagram	11	37.9%
5	YouTube	10	34.5%
6	ニュースアプリ	8	27.6%
7	広報さかい	12	41.4%
8	地域の情報誌・フリーペーパー（紙・WEB含む）	4	13.8%
9	その他	4	13.8%

[9 その他]

【主な回答】

- インターネットで検索
- TikTok
- ポータル web サイト



6. 生涯学習

調査結果の概要

テーマ	生涯学習
担当課	市民人権局 市民生活部 生涯学習課
設問数	15 問
趣旨・目的	本市では令和 4 年 3 月に生涯学習基本方針を策定し、生涯学習を推進する取組を進めています。今回のアンケートは、市民の皆様の生涯学習に関する意識や実態、基本方針の進捗度を把握するために実施するものです。調査結果は、今後の事業運営のほか、基本方針改定に活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 61 の結果から、生涯学習を行ったことがない方のうち、30.0%の方がその理由として「必要な情報（内容・費用・場所等）が不足している」と回答していることから、広報さかいをはじめ市ホームページ・インターネット・SNS を活用するなど、様々な媒体による情報発信の強化に取り組みます。 ・問 63 では、54.3%の方が「インターネット・携帯電話・スマートフォン（動画視聴含む）」で生涯学習を行いたいと回答しており、インターネット環境を利用した学習方法へのニーズが高いことが分かりました。 また、問 69 では、力を入れるべき市の生涯学習施策として「大学、NPO、民間事業者等と連携した事業」と回答した方が 36.8%で最も多く、次いで「オンライン学習の充実」が 34.0%となりました。行政以外の様々な団体とも連携した学習機会を提供し、オンラインでの学習機会の拡充にも取り組みます。

(1) 生涯学習に対するイメージ

問 55. 「生涯学習」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか。イメージに近いものをお答えください。

【複数選択可：3 つまで】

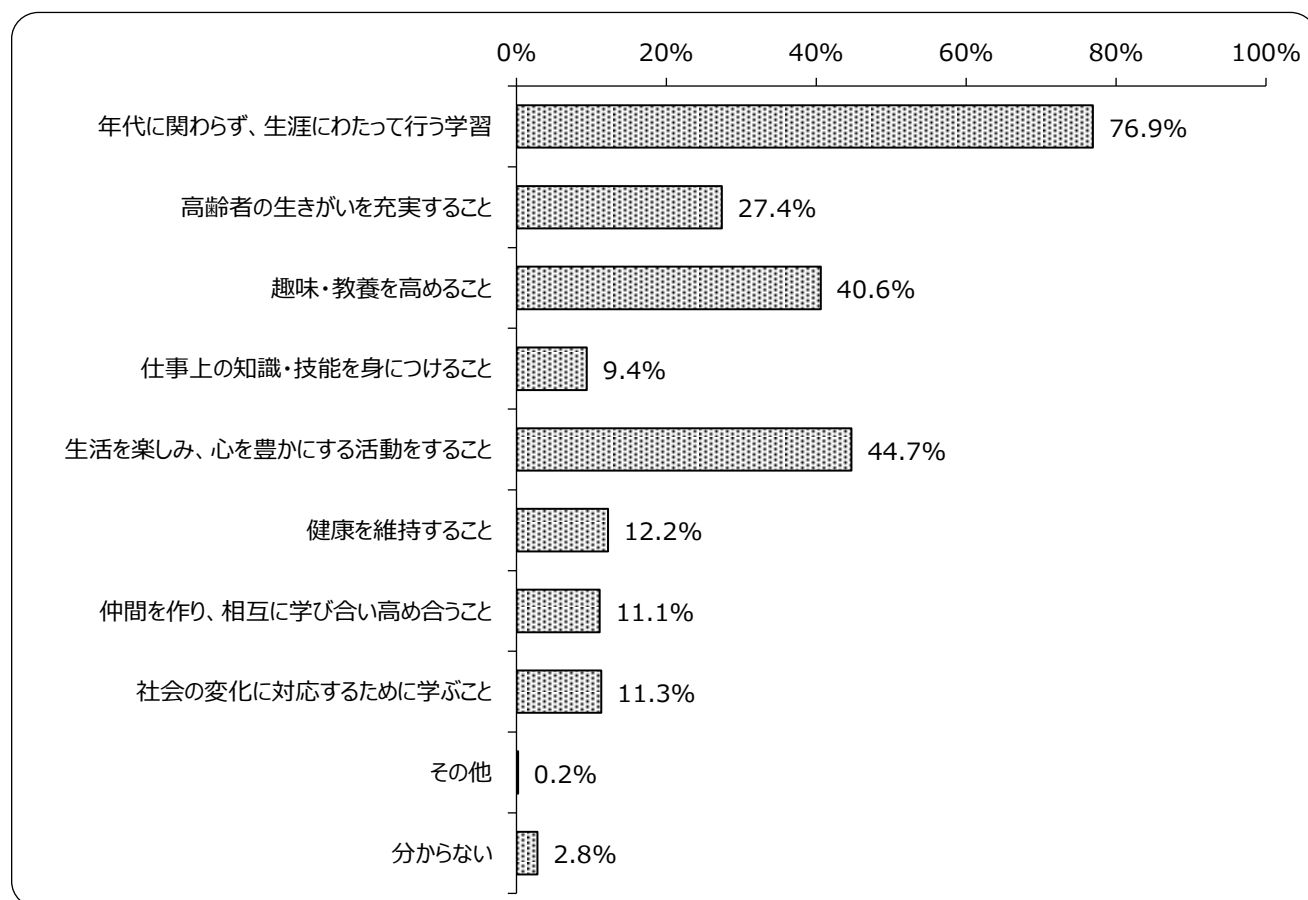
「年代に関わらず、生涯にわたって行う学習」と回答した方が 76.9%と最も多く、次いで「生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事」が 44.7%、「趣味・教養を高めること」が 40.6%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	年代に関わらず、生涯にわたって行う学習	360	76.9%
2	高齢者の生きがいを充実すること	128	27.4%
3	趣味・教養を高めること	190	40.6%
4	仕事上の知識・技能を身につけること	44	9.4%
5	生活を楽しみ、心を豊かにする活動をする事	209	44.7%
6	健康を維持すること	57	12.2%
7	仲間を作り、相互に学び合い高め合うこと	52	11.1%
8	社会の変化に対応するために学ぶこと	53	11.3%
9	その他	1	0.2%
10	分からない	13	2.8%

[9 その他]

【全回答】

- 分かりにくいネーミング



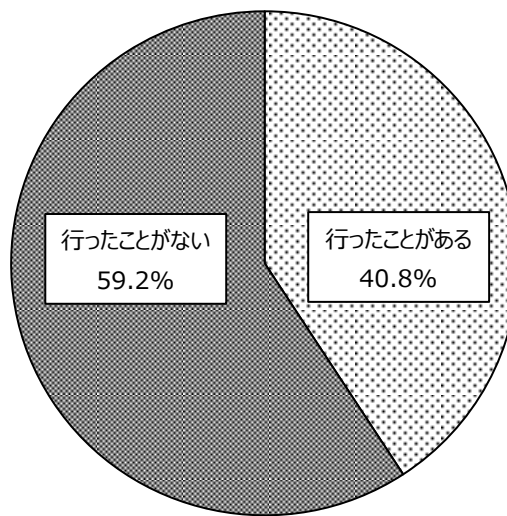
(2) 生涯学習の取組状況

問 56. この 1 年間に生涯学習を行いましたか。

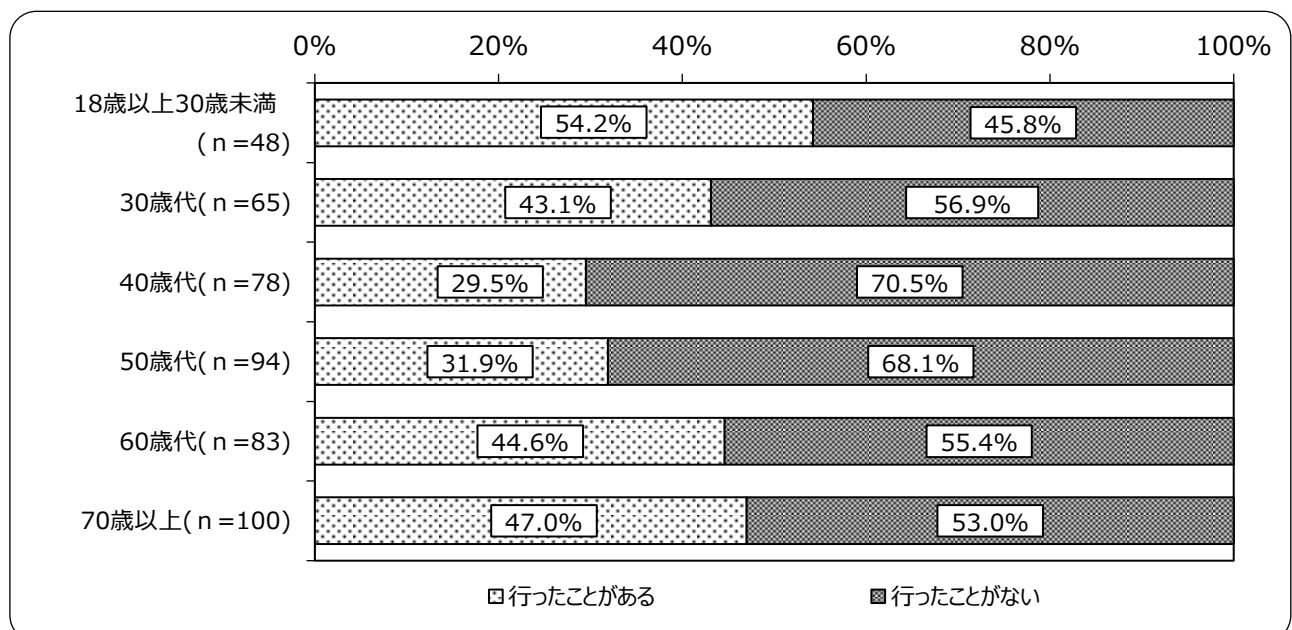
※「生涯学習」とは、生涯にわたって行う学習のことで、人生を豊かで充実したものにします。学校・家庭・社会での学習や、趣味やボランティアの中で行われる学び等も、生涯学習です。 【1 つ選択】

「行ったことがある」と回答した方は 40.8%で半数を下回った。年齢別では、40 歳代、50 歳代で「行ったことがない」と回答した方が多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	行ったことがある	191	40.8%
2	行ったことがない	277	59.2%
	計 (回答総数)	468	100.0%



《年齢別》



問 57. 問 56 で「1 行ったことがある」と回答された方に伺います。

どのような生涯学習を行いましたか。

【複数選択可：いくつでも】

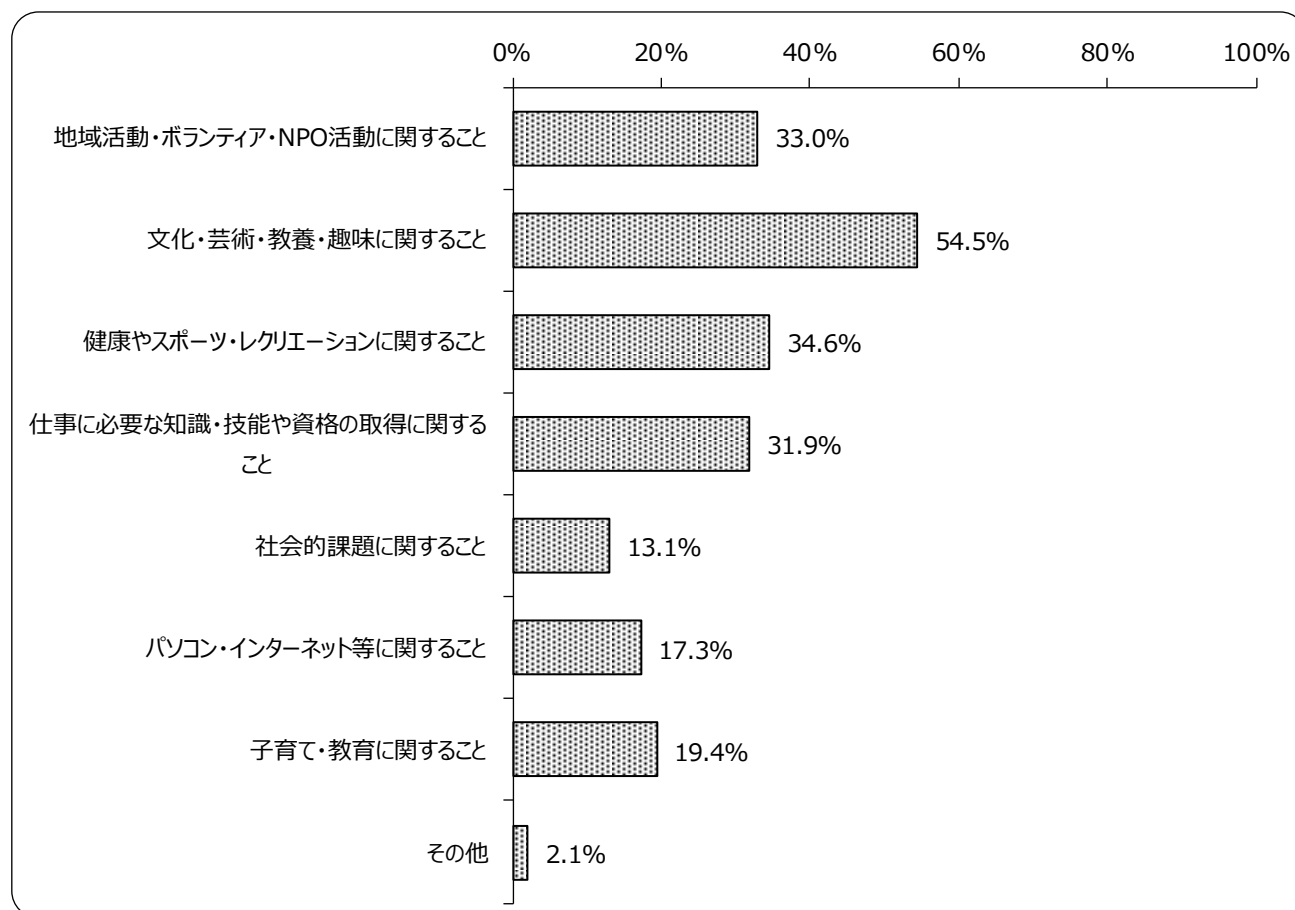
「文化・芸術・教養・趣味に関すること」と回答した方は 54.5%と最も多かった。

	選択項目（n=191）	回答数	回答数/ n
1	地域活動・ボランティア・NPO活動に関すること	63	33.0%
2	文化・芸術・教養・趣味に関すること	104	54.5%
3	健康やスポーツ・レクリエーションに関すること	66	34.6%
4	仕事に必要な知識・技能や資格の取得に関すること	61	31.9%
5	社会的課題に関すること	25	13.1%
6	パソコン・インターネット等に関すること	33	17.3%
7	子育て・教育に関すること	37	19.4%
8	その他	4	2.1%

[8 その他]

【主な回答】

- 英語
- 税金について
- 資産運用に関すること



問 58. 問 56 で「1 行ったことがある」と回答された方に伺います。

どのような方法で生涯学習を行いましたか。

【複数選択可：3 つまで】

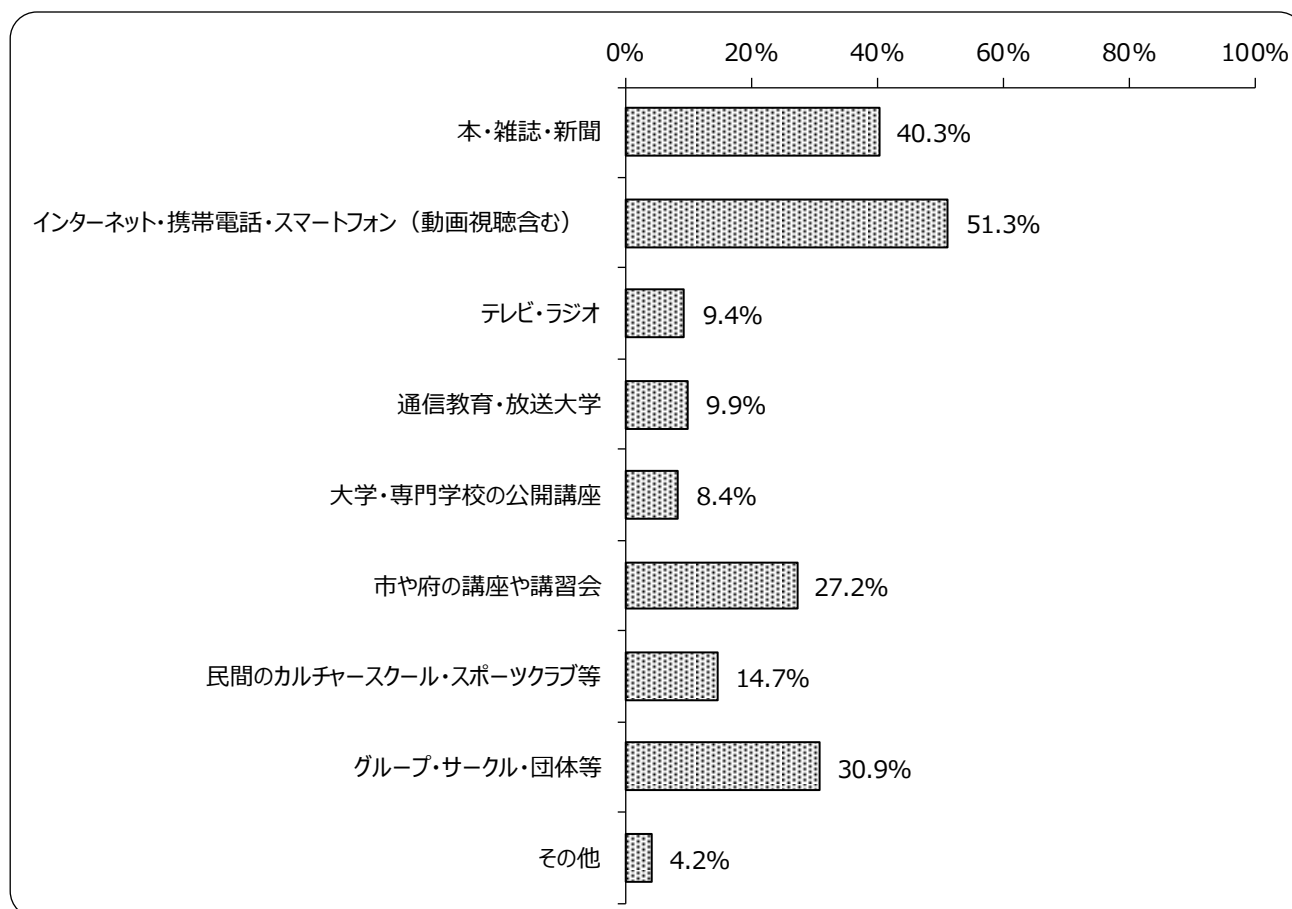
「インターネット・携帯電話・スマートフォン（動画視聴含む）」と回答した方が 51.3%と最も多く、次いで「本・雑誌・新聞」が 40.3%、「グループ・サークル・団体等」が 30.9%であった。

	選択項目（n=191）	回答数	回答数/n
1	本・雑誌・新聞	77	40.3%
2	インターネット・携帯電話・スマートフォン（動画視聴含む）	98	51.3%
3	テレビ・ラジオ	18	9.4%
4	通信教育・放送大学	19	9.9%
5	大学・専門学校の公開講座	16	8.4%
6	市や府の講座や講習会	52	27.2%
7	民間のカルチャースクール・スポーツクラブ等	28	14.7%
8	グループ・サークル・団体等	59	30.9%
9	その他	8	4.2%

[9 その他]

【主な回答】

- デイサービス
- 研修
- 学会参加、委員会活動



問 59. 問 56 で「1 行ったことがある」と回答された方に伺います。

生涯学習を行った目的は何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

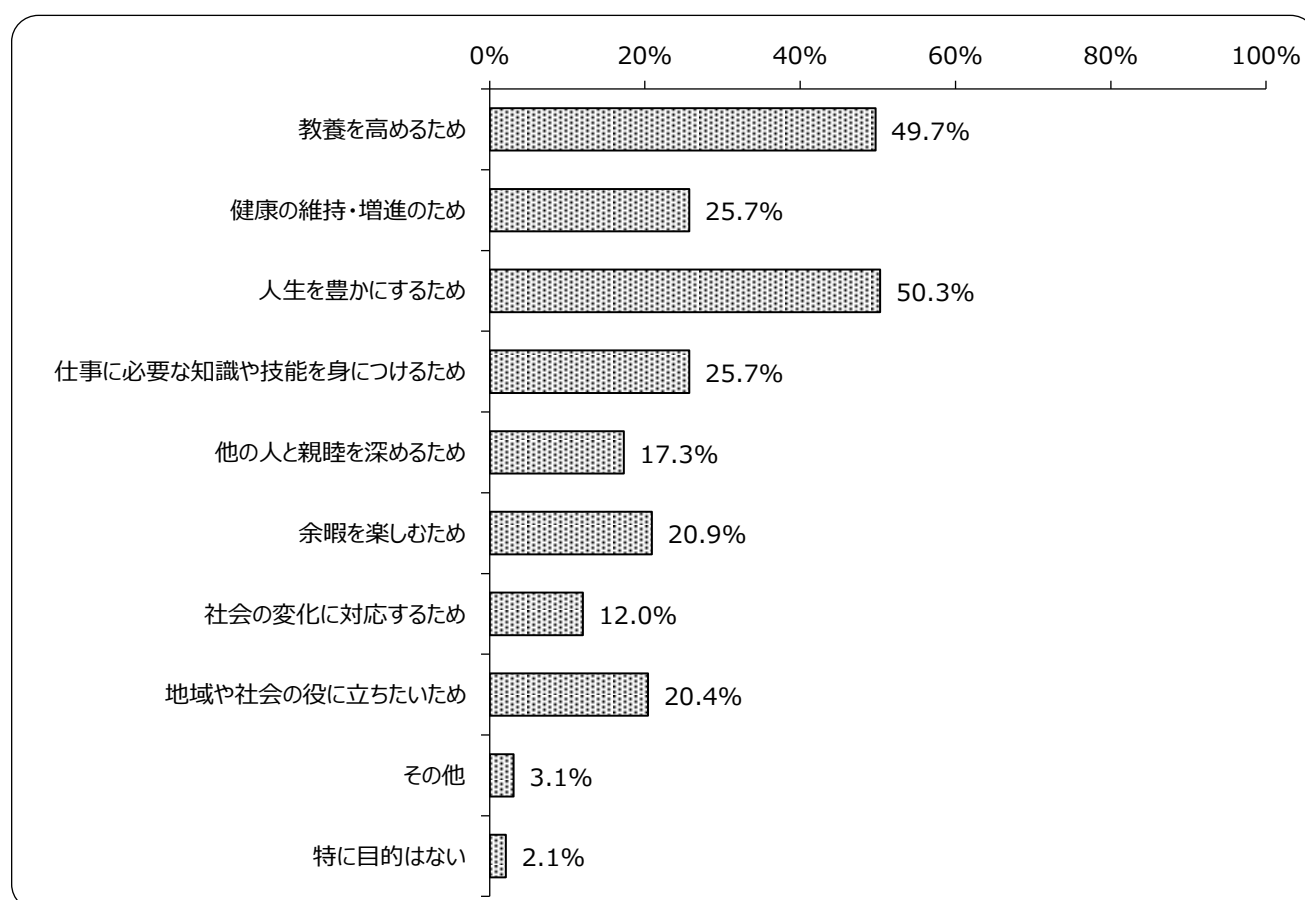
「人生を豊かにするため」と回答した方が 50.3%と最も多く、次いで「教養を高めるため」と回答した方が 49.7%であった。

	選択項目（n=191）	回答数	回答数/n
1	教養を高めるため	95	49.7%
2	健康の維持・増進のため	49	25.7%
3	人生を豊かにするため	96	50.3%
4	仕事に必要な知識や技能を身につけるため	49	25.7%
5	他の人と親睦を深めるため	33	17.3%
6	余暇を楽しむため	40	20.9%
7	社会の変化に対応するため	23	12.0%
8	地域や社会の役に立ちたいため	39	20.4%
9	その他	6	3.1%
10	特に目的はない	4	2.1%

[9 その他]

【主な回答】

- 子育てのため
- 終活準備のため
- 自身のスキルアップと将来の不安に備えるため
- 認知能力の低下防止のため
- 政治に参加するため



問 60. 問 56 で「1 行ったことがある」と回答された方に伺います。

生涯学習の成果をどのような場面で生かしていますか。

【複数選択可：いくつでも】

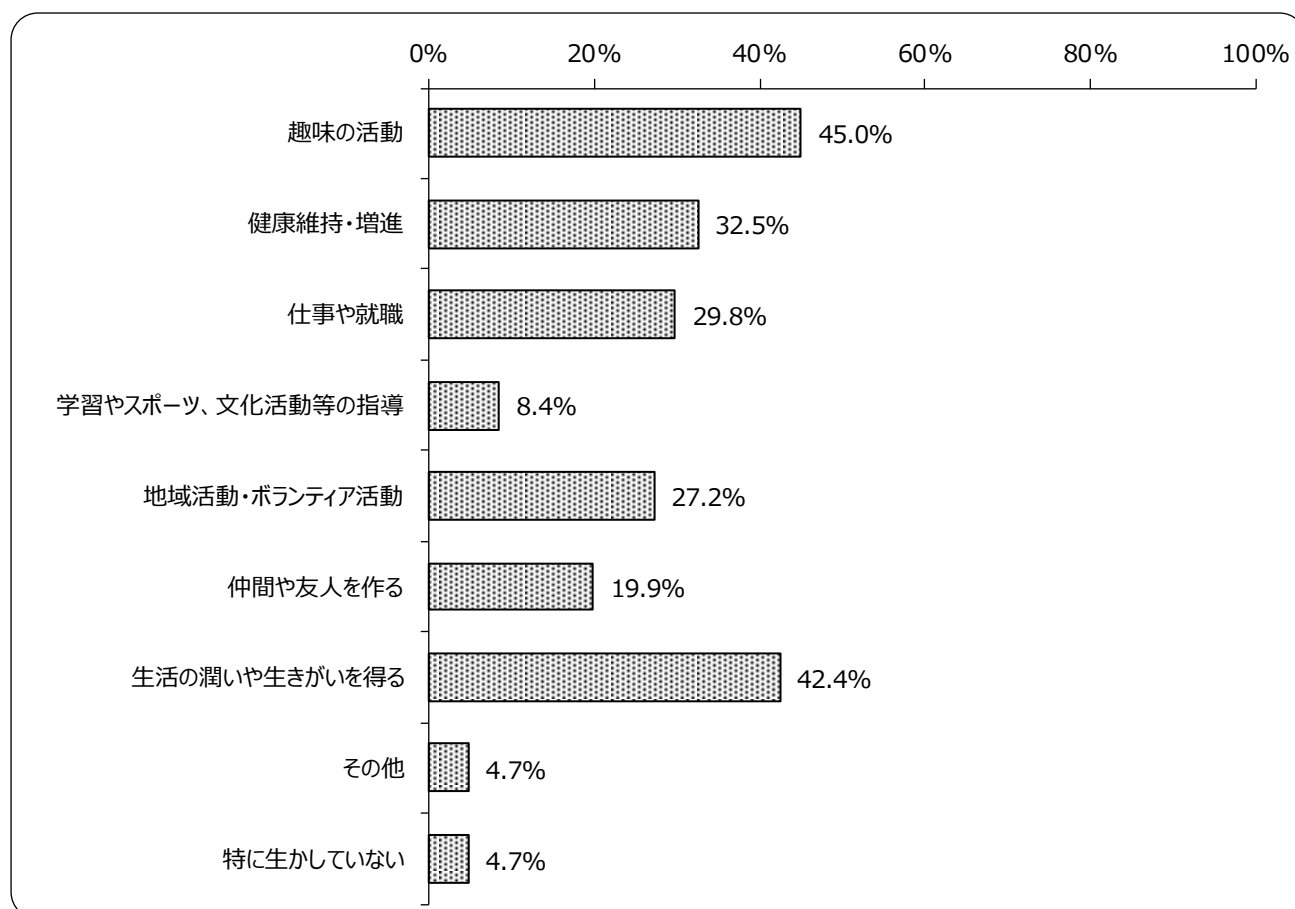
「趣味の活動」「生活の潤いや生きがいを得る」と回答した方が多く、いずれも 4 割を超えた。

	選択項目（n=191）	回答数	回答数/n
1	趣味の活動	86	45.0%
2	健康維持・増進	62	32.5%
3	仕事や就職	57	29.8%
4	学習やスポーツ、文化活動等の指導	16	8.4%
5	地域活動・ボランティア活動	52	27.2%
6	仲間や友人を作る	38	19.9%
7	生活の潤いや生きがいを得る	81	42.4%
8	その他	9	4.7%
9	特に生かしていない	9	4.7%

[8 その他]

【主な回答】

- 日々の子育て
- 家族のため
- 旅行等
- 投票行動に結びつける。
- 情報の発信・共有



問 61. 問 56 で「2 行ったことがない」と回答された方に伺います。

その理由は何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

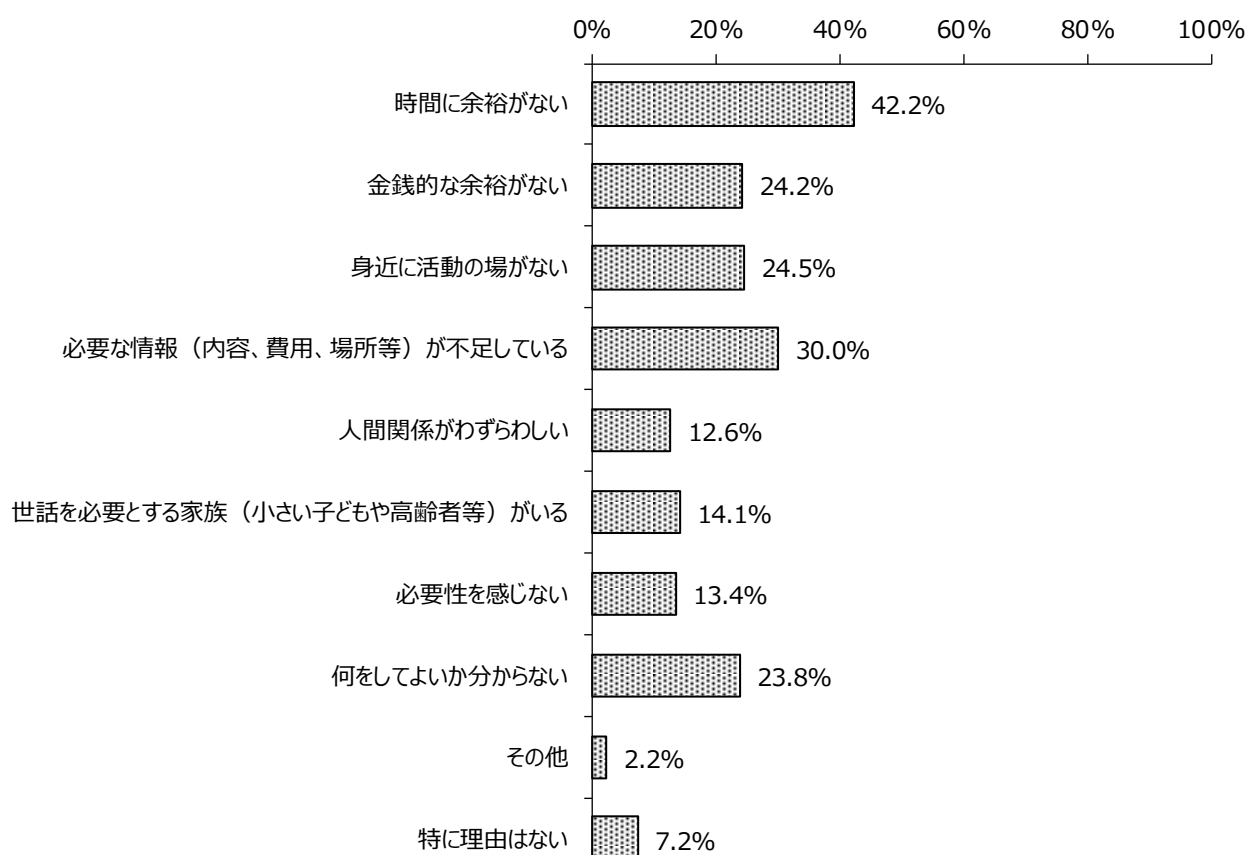
「時間に余裕がない」と回答した方は 42.2%と最も多く、次いで「必要な情報（内容、費用、場所等）が不足している」と回答した方が 30.0%であった。

	選択項目（n=277）	回答数	回答数/n
1	時間に余裕がない	117	42.2%
2	金銭的な余裕がない	67	24.2%
3	身近に活動の場がない	68	24.5%
4	必要な情報（内容、費用、場所等）が不足している	83	30.0%
5	人間関係がわずらわしい	35	12.6%
6	世話を必要とする家族（小さい子どもや高齢者等）がいる	39	14.1%
7	必要性を感じない	37	13.4%
8	何をしてもよく分からない	66	23.8%
9	その他	6	2.2%
10	特に理由はない	20	7.2%

[9 その他]

【主な回答】

- 体調がすぐれなかった。
- 歩行が困難なので行動しにくい。
- 育児で忙しい。
- 退職したので、のんびりしたい。



(3) 今後の生涯学習

問 62. 今後、どのような生涯学習を行ってみたいですか。

【複数選択可：いくつでも】

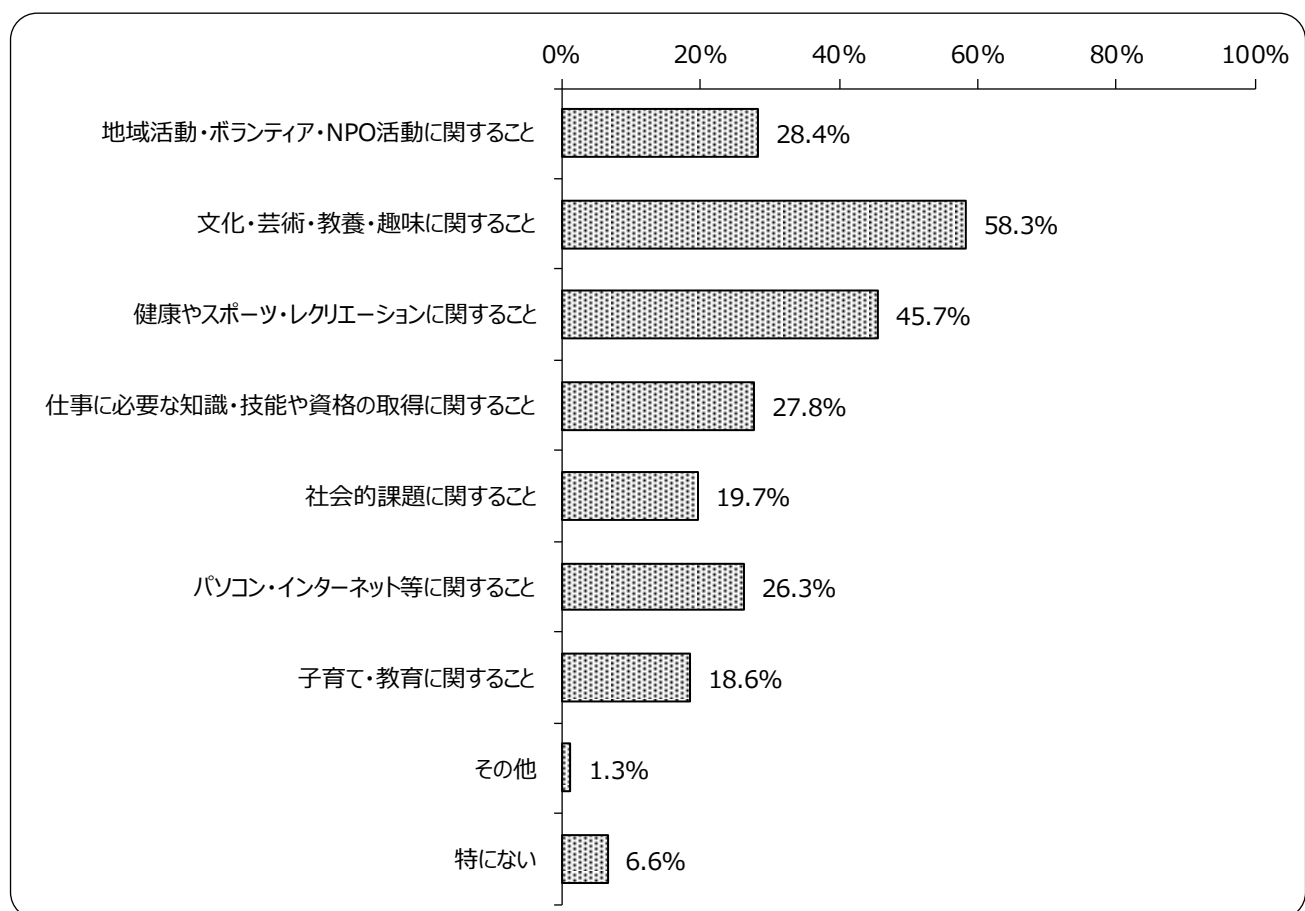
「文化・芸術・教養・趣味に関すること」と回答した方は 58.3%と最も多く、次いで「健康やスポーツ・レクリエーションに関すること」と回答した方が 45.7%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	地域活動・ボランティア・NPO活動に関すること	133	28.4%
2	文化・芸術・教養・趣味に関すること	273	58.3%
3	健康やスポーツ・レクリエーションに関すること	214	45.7%
4	仕事に必要な知識・技能や資格の取得に関すること	130	27.8%
5	社会的課題に関すること	92	19.7%
6	パソコン・インターネット等に関すること	123	26.3%
7	子育て・教育に関すること	87	18.6%
8	その他	6	1.3%
9	特にない	31	6.6%

[8 その他]

【主な回答】

- 手話
- 介護関連
- 防災活動に関すること
- 資産形成や老後の安心に関すること
- 生きるためにすべきこと



問 63. 今後、どのような方法で生涯学習を行いたいですか。

【複数選択可：3 つまで】

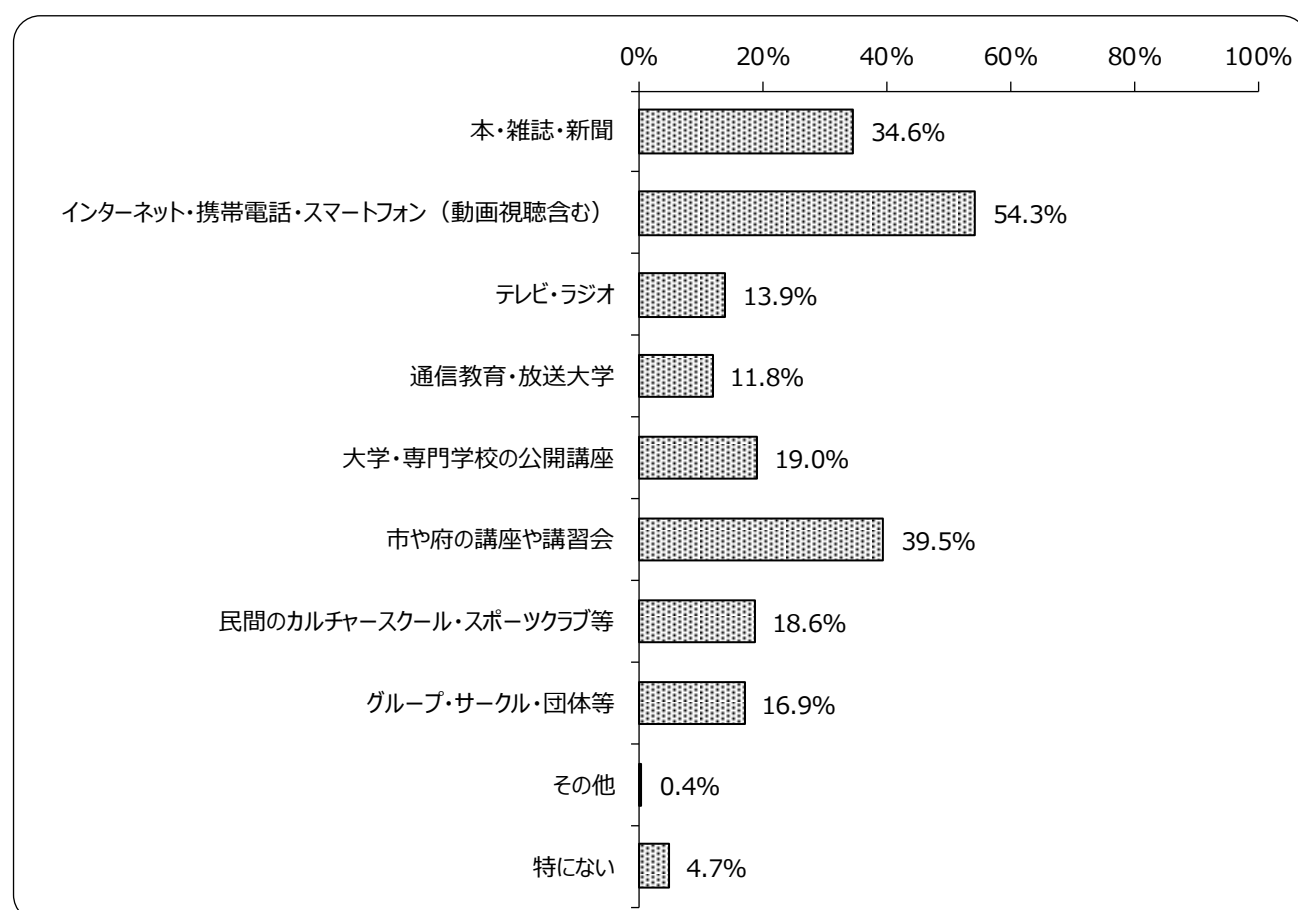
「インターネット・携帯電話・スマートフォン（動画視聴含む）」と回答した方は 54.3%と最も多く、次いで「市や府の講座や講習会」が 39.5%、「本・雑誌・新聞」が 34.6%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	本・雑誌・新聞	162	34.6%
2	インターネット・携帯電話・スマートフォン（動画視聴含む）	254	54.3%
3	テレビ・ラジオ	65	13.9%
4	通信教育・放送大学	55	11.8%
5	大学・専門学校の公開講座	89	19.0%
6	市や府の講座や講習会	185	39.5%
7	民間のカルチャースクール・スポーツクラブ等	87	18.6%
8	グループ・サークル・団体等	79	16.9%
9	その他	2	0.4%
10	特になし	22	4.7%

[9 その他]

【全回答】

- 資格取得の通信教育
- 学校等でのスクールサポーター等の取組



問 64. 生涯学習をしやすい時間帯はいつですか。

【複数選択可：いくつでも】

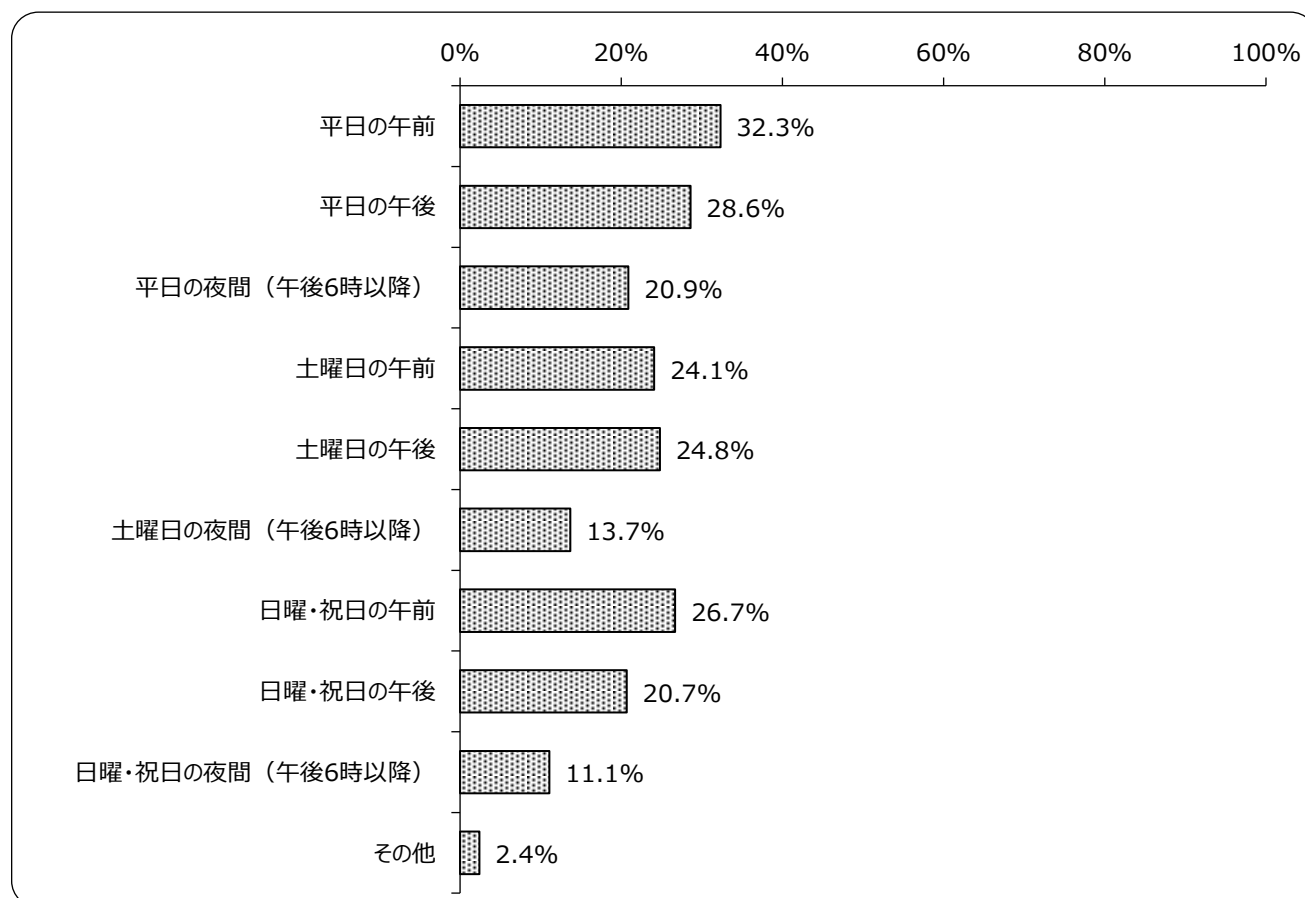
「平日の午前」と回答した方が 32.3%と最も多く、次いで「平日の午後」が 28.6%、「日曜・祝日の午前」が 26.7%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	平日の午前	151	32.3%
2	平日の午後	134	28.6%
3	平日の夜間（午後6時以降）	98	20.9%
4	土曜日の午前	113	24.1%
5	土曜日の午後	116	24.8%
6	土曜日の夜間（午後6時以降）	64	13.7%
7	日曜・祝日の午前	125	26.7%
8	日曜・祝日の午後	97	20.7%
9	日曜・祝日の夜間（午後6時以降）	52	11.1%
10	その他	11	2.4%

[10 その他]

【主な回答】

- 毎日
- どの日程でも深夜
- 不定期の隙間時間
- 時間がとれない



問 65. 生涯学習がしやすい区域はどこですか。

【1 つ選択】

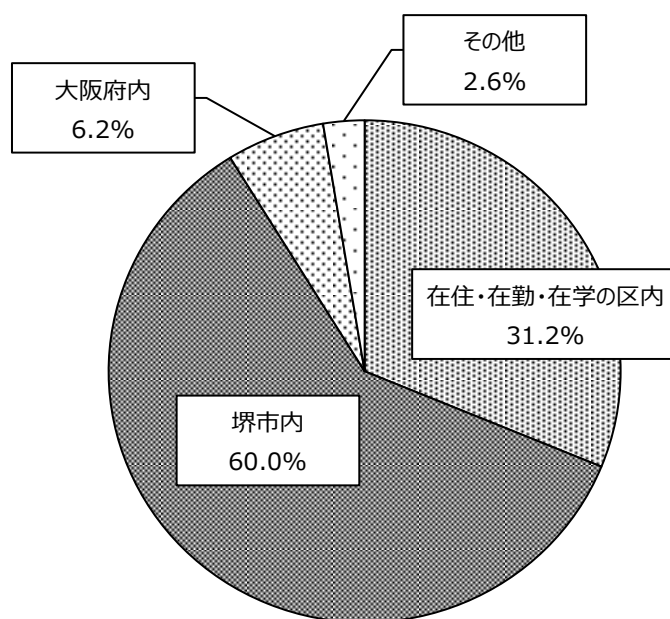
「在住・在勤・在学の区内」「堺市内」と回答した方の合計は 91.2%であった。

	選択項目（n = 468）	回答数	構成比
1	在住・在勤・在学の区内	146	31.2%
2	堺市内	281	60.0%
3	大阪府内	29	6.2%
4	その他	12	2.6%
	計（回答総数）	468	100.0%

[4 その他]

【主な回答】

- 自宅、カフェ
- 居住地域
- 関西全域
- ネット利用
- 生涯学習がしやすい場所はない。



問 66. 生涯学習に関する情報をどこから得たいですか。

【複数選択可：いくつでも】

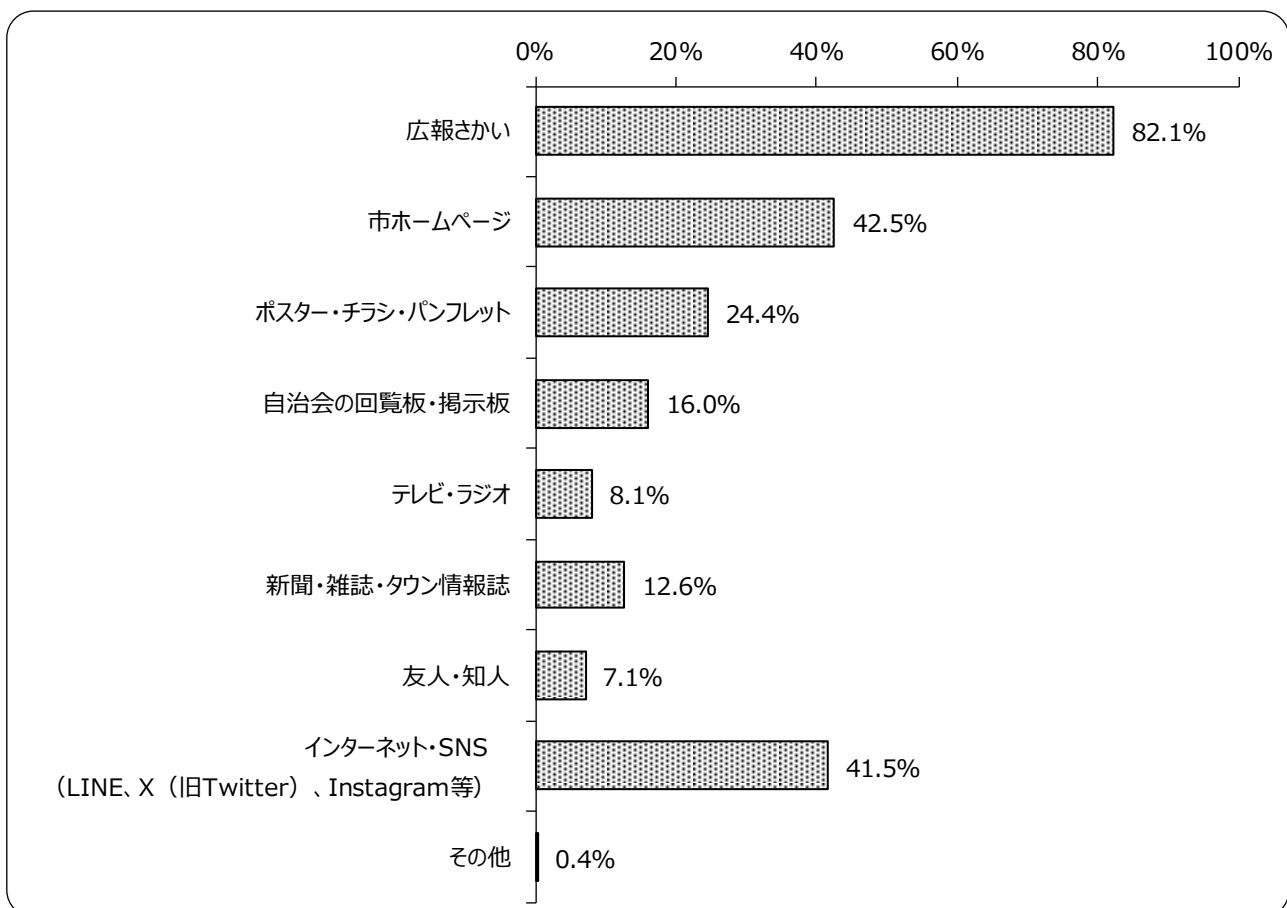
「広報さかい」と回答した方が 82.1%と最も多く、次いで「市ホームページ」が 42.5%、「インターネット・SNS（LINE、X（旧 Twitter）、Instagram 等）」が 41.5%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	広報さかい	384	82.1%
2	市ホームページ	199	42.5%
3	ポスター・チラシ・パンフレット	114	24.4%
4	自治会の回覧板・掲示板	75	16.0%
5	テレビ・ラジオ	38	8.1%
6	新聞・雑誌・タウン情報誌	59	12.6%
7	友人・知人	33	7.1%
8	インターネット・SNS（LINE、X（旧Twitter）、Instagram等）	194	41.5%
9	その他	2	0.4%

[9 その他]

【全回答】

- 専用のアプリ等あれば便利と思う。
- 市政に頼る予定なし



問 67. 生涯学習を行う上で、どのような情報があればいいと思いますか。

【複数選択可：いくつでも】

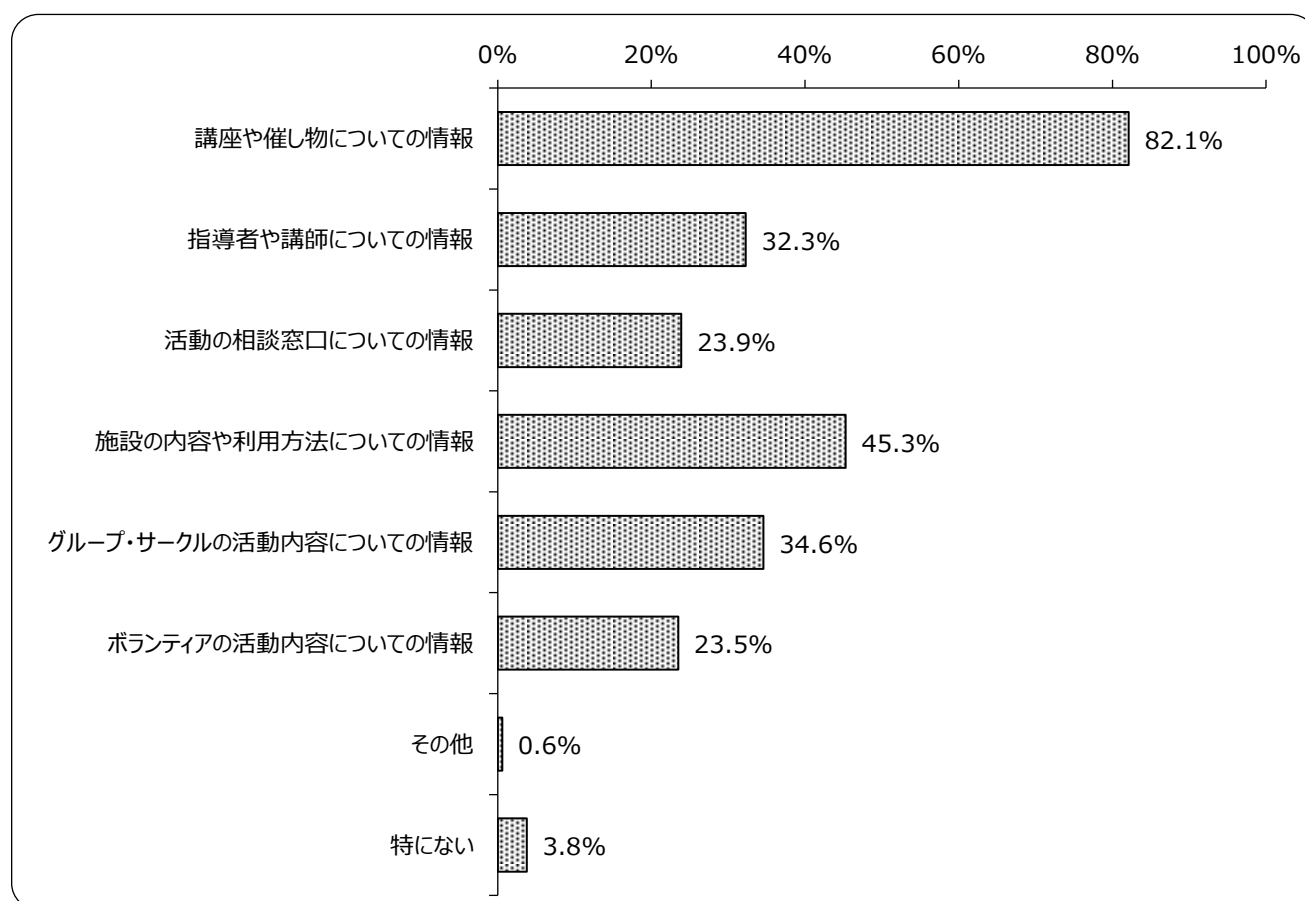
「講座や催し物についての情報」と回答した方は 82.1%と最も多く、次いで「施設の内容や利用方法についての情報」と回答した方が 45.3%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	講座や催し物についての情報	384	82.1%
2	指導者や講師についての情報	151	32.3%
3	活動の相談窓口についての情報	112	23.9%
4	施設の内容や利用方法についての情報	212	45.3%
5	グループ・サークルの活動内容についての情報	162	34.6%
6	ボランティアの活動内容についての情報	110	23.5%
7	その他	3	0.6%
8	特にない	18	3.8%

[7 その他]

【全回答】

- 公益通報
- その知識の活かし方
- 堺市としての取組のことなら上記の選択項目の全て



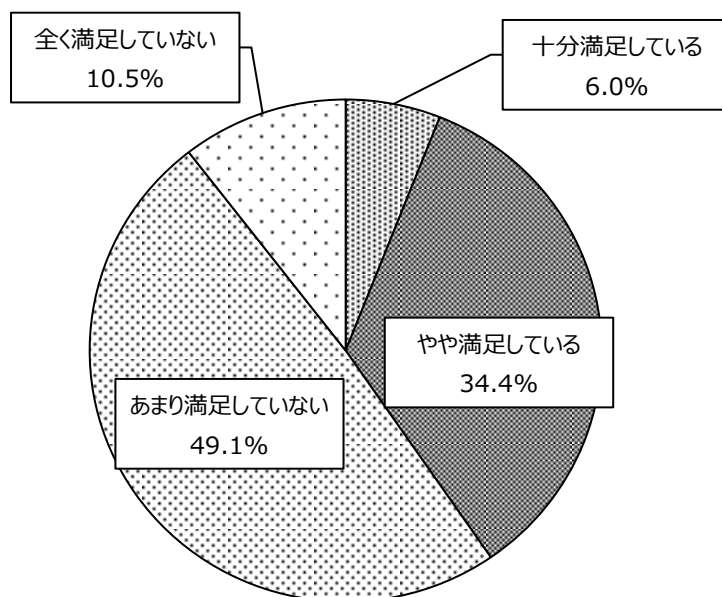
(4) 市の生涯学習施策

問 68. 市が発信する生涯学習情報についてどの程度満足していますか。

【1 つ選択】

「十分満足している」「やや満足している」と回答した方の合計は 40.4%で半数を下回った。

	選択項目（n=468）	回答数	構成比
1	十分満足している	28	6.0%
2	やや満足している	161	34.4%
3	あまり満足していない	230	49.1%
4	全く満足していない	49	10.5%
	計（回答総数）	468	100.0%



問 69. 生涯学習をもっと盛んにするために、市の施策として特にどのようなことに力を入れるべきと思いますか。

【複数選択可：3 つまで】

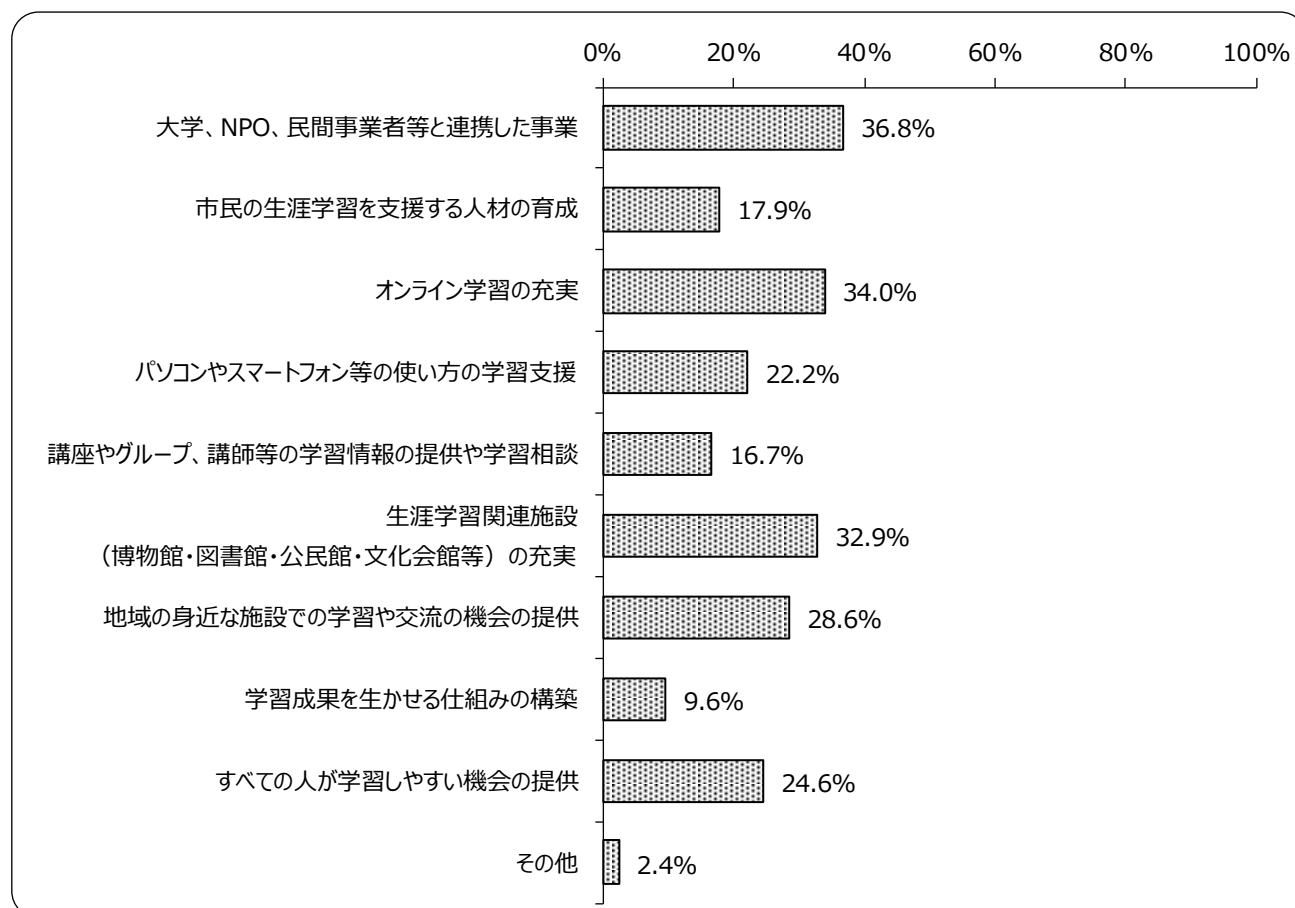
「大学、NPO、民間事業者等と連携した事業」と回答した方は 36.8%と最も多く、次いで「オンライン学習の充実」と回答した方が 34.0%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/ n
1	大学、NPO、民間事業者等と連携した事業	172	36.8%
2	市民の生涯学習を支援する人材の育成	84	17.9%
3	オンライン学習の充実	159	34.0%
4	パソコンやスマートフォン等の使い方の学習支援	104	22.2%
5	講座やグループ、講師等の学習情報の提供や学習相談	78	16.7%
6	生涯学習関連施設（博物館・図書館・公民館・文化会館等）の充実	154	32.9%
7	地域の身近な施設での学習や交流の機会の提供	134	28.6%
8	学習成果を生かせる仕組みの構築	45	9.6%
9	すべての人が学習しやすい機会の提供	115	24.6%
10	その他	11	2.4%

[10 その他]

【主な回答】

- 生涯学習とは何かを周知してほしい。
- 費用の支援
- 無償で借りる会議室や集会所
- 講座の価格を下げる。
- 無駄に推進して税金を使いすぎないように十分に精査してほしい。
- 特に無し



7. 女性相談に関する意識調査

調査結果の概要

テーマ	女性相談に関する意識調査
担当課	子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども家庭課
設問数	6 問
趣旨・目的	本市では、困難な問題を抱える女性への支援強化を目的として「堺市困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画」の策定に向け作業を進めています。 今回のアンケートは、計画を策定するに当たり、女性相談窓口が市民の皆様にとどの程度知られているかを把握するために実施するものです。調査結果は、計画策定の基礎的な資料として活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 70・71 では女性相談窓口があることや本市各区役所子育て支援課に女性相談員がいることは、それぞれ約 6 割の方に知られていることが分かりましたが、問 73 では、本市に配偶者暴力相談支援センターがあることは、約 3 割の人にしか知られていない状況でした。 なお、問 72・74 では、相談窓口に関する情報の取得方法が広報さかいと回答した方が最も多かったため、引き続き、広報さかいを活用した広報を実施します。 ・問 75 では、悩みを相談しやすいと思う方法が全体では専用電話と回答した方が最も多くなりました。一方で、18 歳以上 30 歳未満及び 30 歳代では、専用メール及び専用 SNS と回答した方が多い状況であり、専用メール及び専用 SNS の利用により相談へのためらいが軽減され、相談しやすいことが分かりました。より相談しやすい環境を整えるため、相談方法の見直しを検討します。

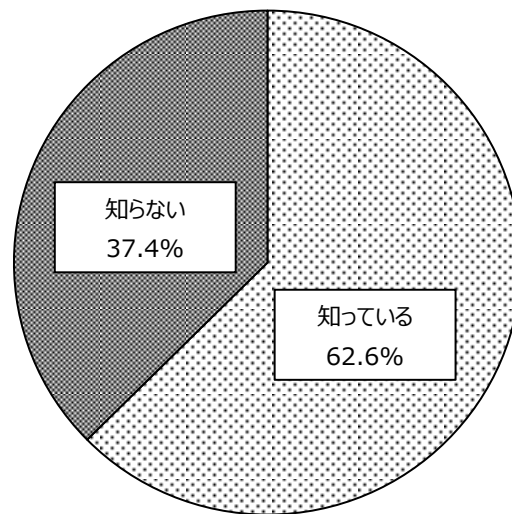
(1) 女性相談に関する意識調査

問 70. DV や離婚等の女性を取り巻く様々な問題に対して、女性が相談できる窓口があることを知っていますか。

【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 62.6%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	293	62.6%
2	知らない	175	37.4%
	計 (回答総数)	468	100.0%



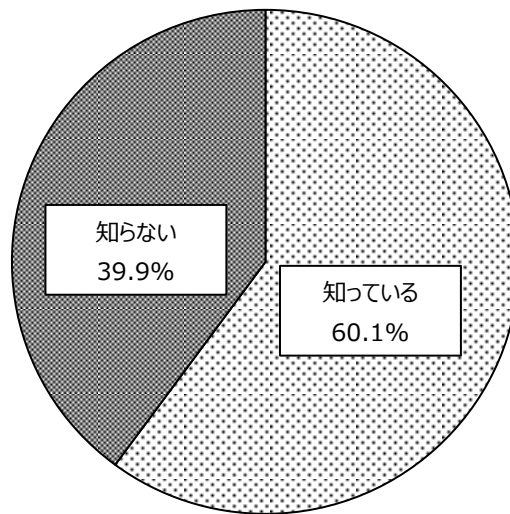
問 71. 問 70 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

本市では各区役所子育て支援課に女性相談員（女性相談支援員）がいることを知っていますか。

【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 60.1%であった。

	選択項目 (n=293)	回答数	構成比
1	知っている	176	60.1%
2	知らない	117	39.9%
	計 (回答総数)	293	100.0%



問 72. 問 70 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

女性相談窓口をどのようにして知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

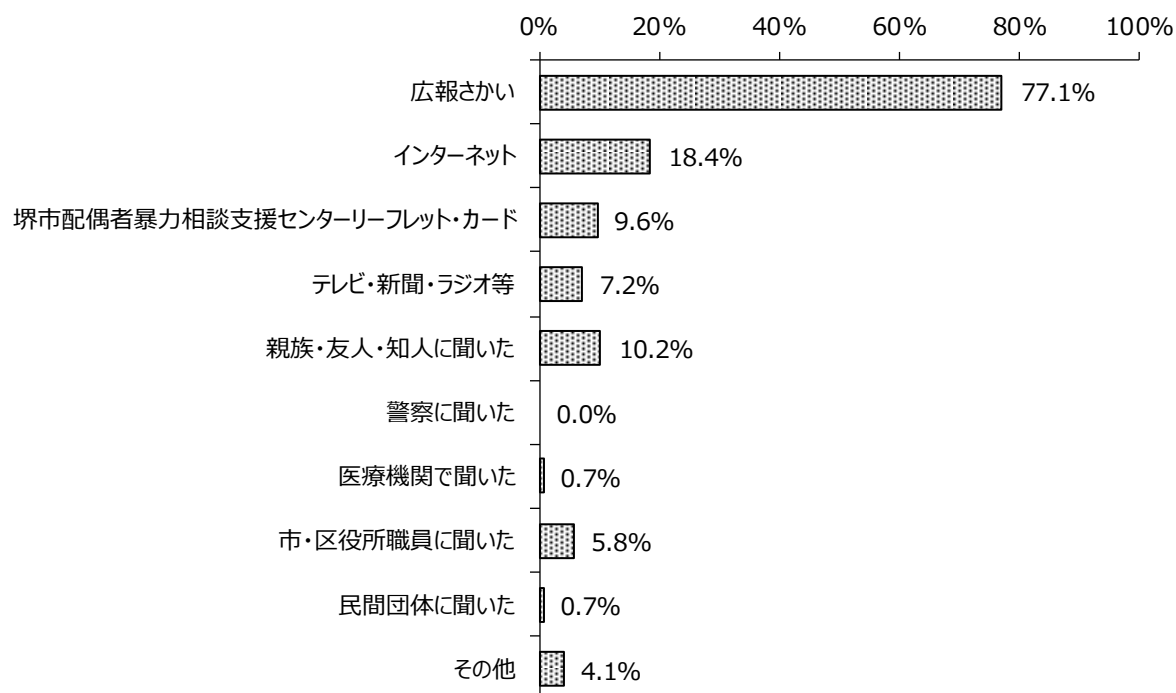
「広報さかい」と回答した方が 77.1%と最も多かった。

	選択項目（n=293）	回答数	回答数/n
1	広報さかい	226	77.1%
2	インターネット	54	18.4%
3	堺市配偶者暴力相談支援センターリーフレット・カード	28	9.6%
4	テレビ・新聞・ラジオ等	21	7.2%
5	親族・友人・知人に聞いた	30	10.2%
6	警察に聞いた	0	0.0%
7	医療機関で聞いた	2	0.7%
8	市・区役所職員に聞いた	17	5.8%
9	民間団体に聞いた	2	0.7%
10	その他	12	4.1%

[10 その他]

【主な回答】

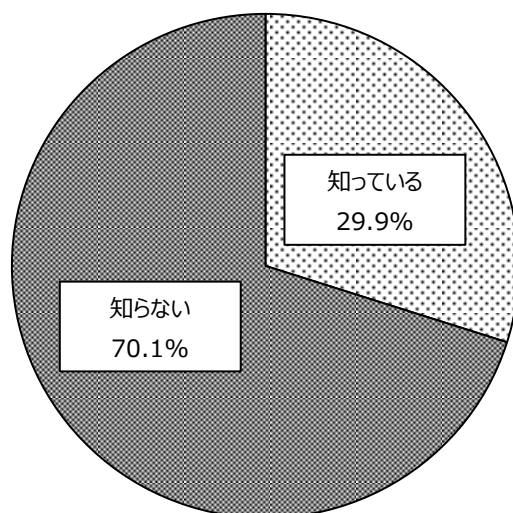
- 図書館の女子トイレ
- 実際に見た。
- 専門書
- 職場
- nishinishi（西区広報紙）



問 73. DV 専門電話相談窓口として、本市に配偶者暴力相談支援センターがあることを知っていますか。【1 つ選択】

「知っている」と回答した方は 29.9%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	知っている	140	29.9%
2	知らない	328	70.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



問 74. 問 73 で「1 知っている」と回答された方に伺います。

堺市配偶者暴力相談支援センターをどのようにして知りましたか。

【複数選択可：いくつでも】

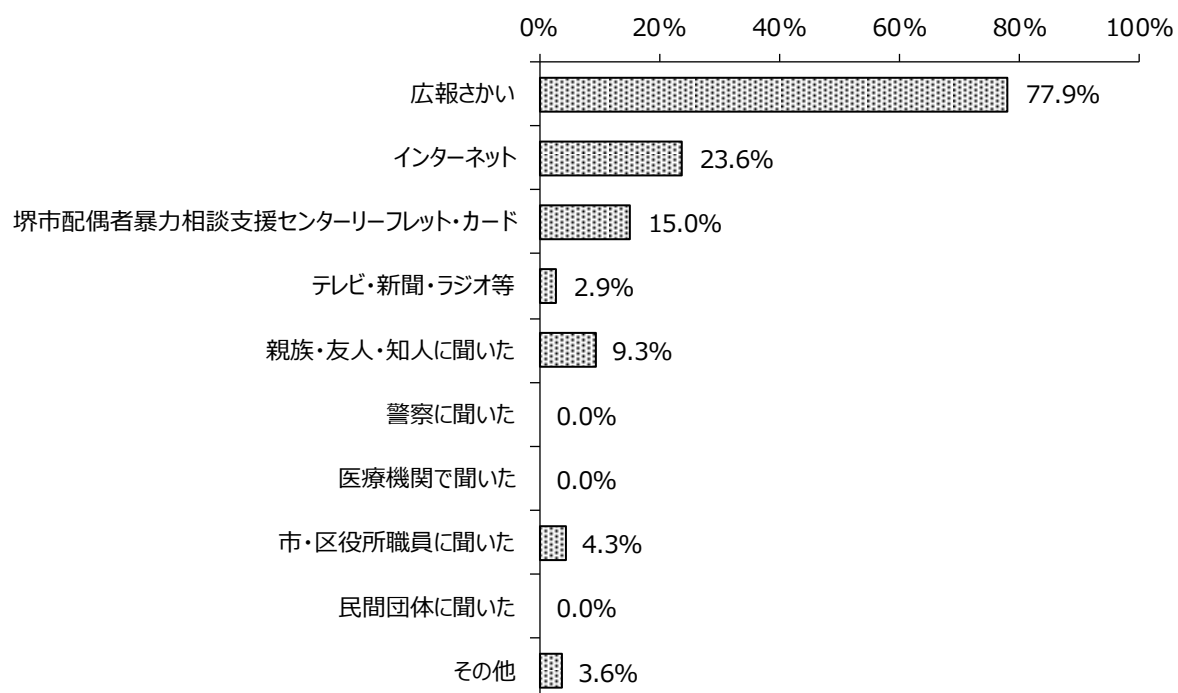
「広報さかい」と回答した方が 77.9%と最も多かった。

	選択項目（n=140）	回答数	回答数/ n
1	広報さかい	109	77.9%
2	インターネット	33	23.6%
3	堺市配偶者暴力相談支援センターリーフレット・カード	21	15.0%
4	テレビ・新聞・ラジオ等	4	2.9%
5	親族・友人・知人に聞いた	13	9.3%
6	警察に聞いた	0	0.0%
7	医療機関で聞いた	0	0.0%
8	市・区役所職員に聞いた	6	4.3%
9	民間団体に聞いた	0	0.0%
10	その他	5	3.6%

[10 その他]

【全回答】

- 医療系学校
- 専門書
- 保育士課程
- nishinishi（西区広報紙）
- 職場



問 75. DV 等の悩みを相談する場合、どのような方法が相談しやすいと思いますか。【複数選択可：いくつでも】

「専用電話」と回答した方が最も多く、58.8%であった。

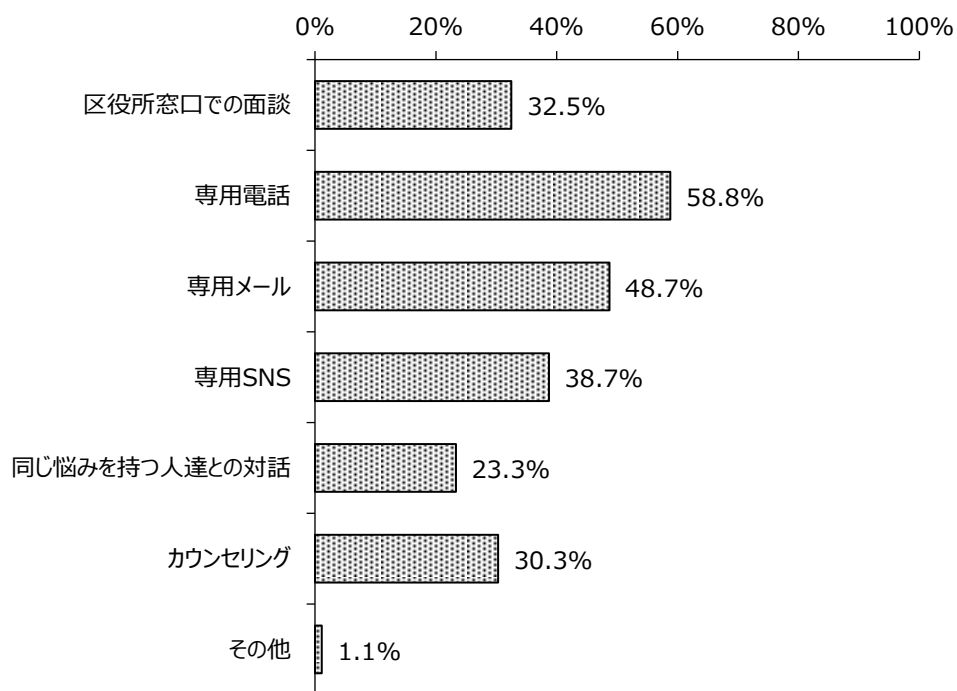
18 歳以上 30 歳未満及び 30 歳代では、「専用メール」及び「専用 SNS」と回答した方が多かった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	区役所窓口での面談	152	32.5%
2	専用電話	275	58.8%
3	専用メール	228	48.7%
4	専用SNS	181	38.7%
5	同じ悩みを持つ人達との対話	109	23.3%
6	カウンセリング	142	30.3%
7	その他	5	1.1%

[7 その他]

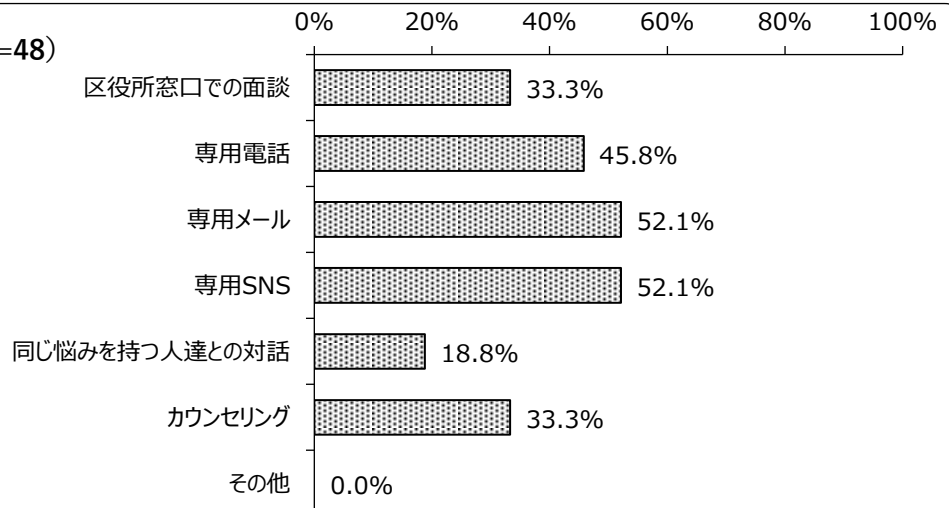
【全回答】

- 警察
- 信頼できるところがない。
- チャット
- 個室での予約制面談
- 守秘義務での相談

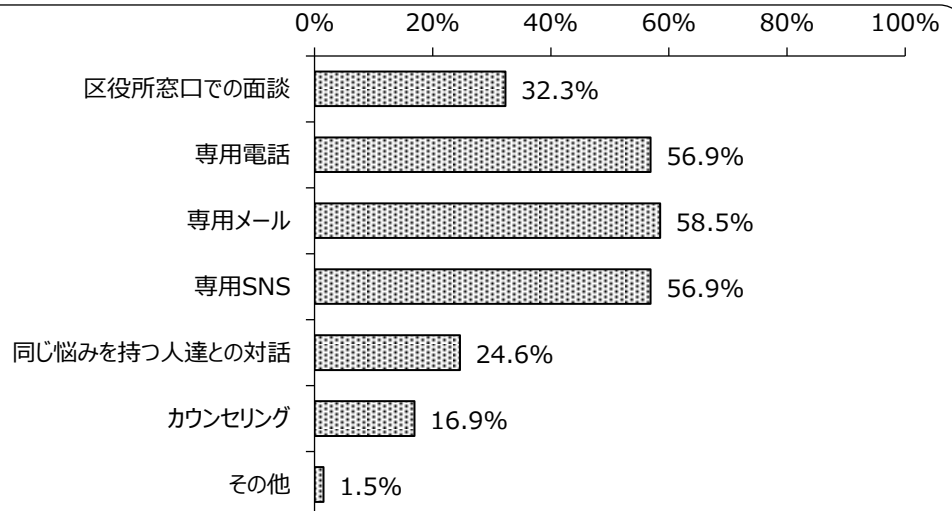


《年齢別》

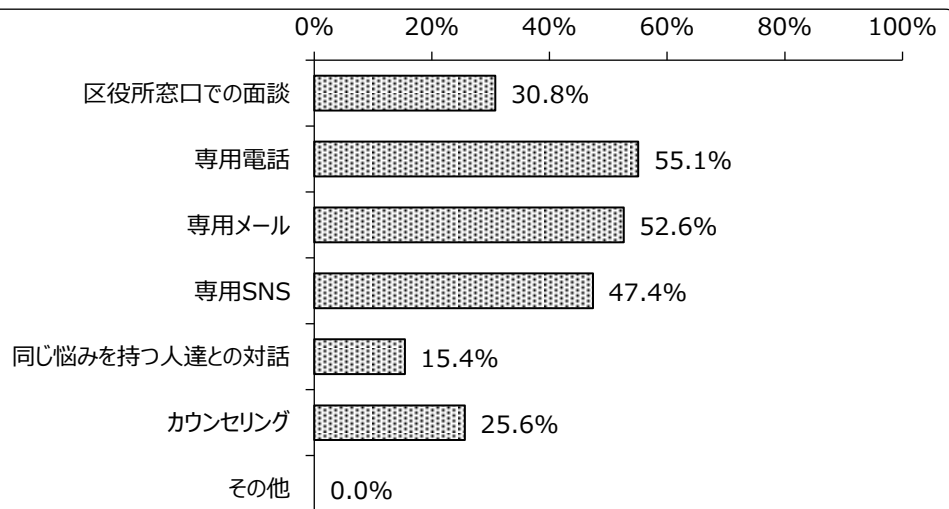
18歳以上30歳未満（n=48）

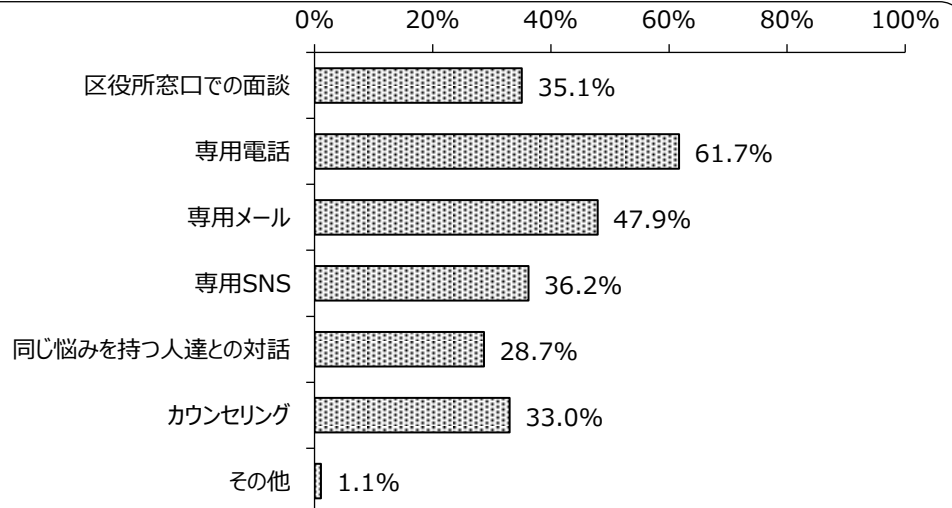
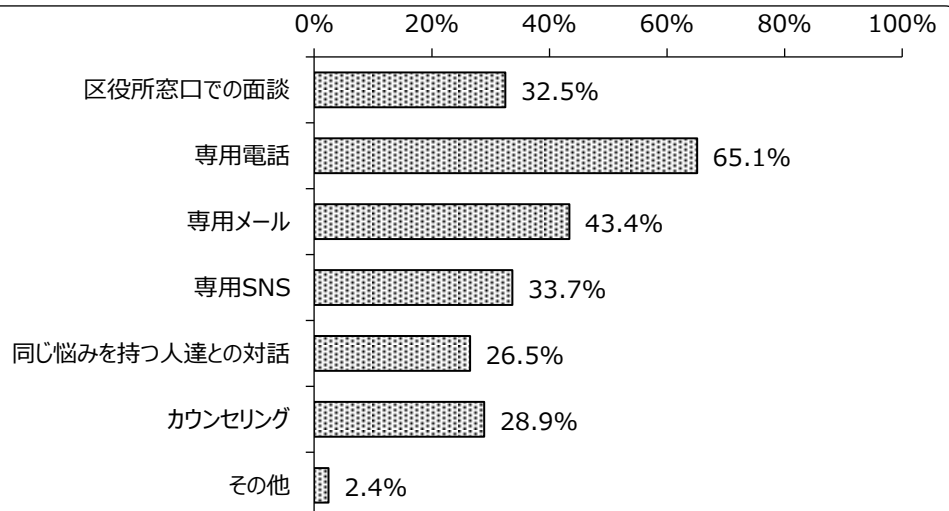
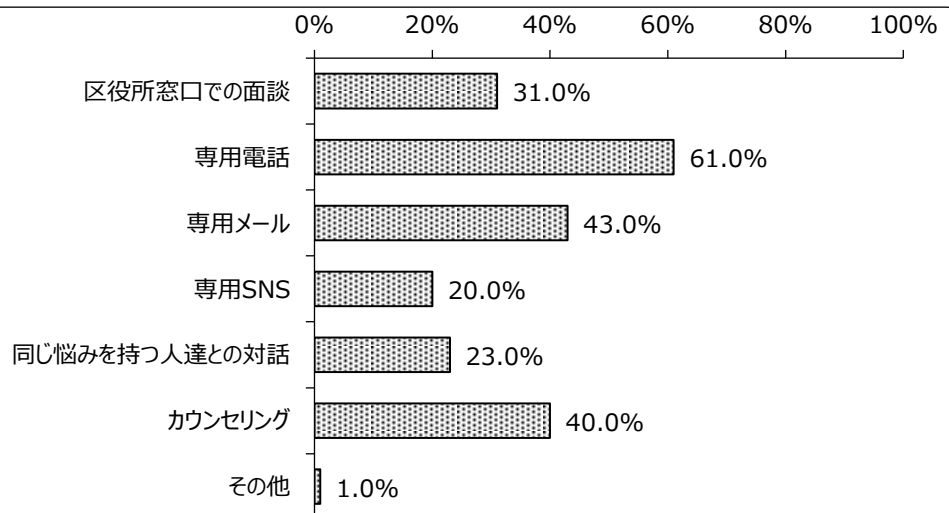


30歳代（n=65）



40歳代（n=78）



50歳代 (n=94)**60歳代 (n=83)****70歳以上 (n=100)**

8. SDGs

調査結果の概要

テーマ	SDGs
担当課	市長公室 政策企画部 公民連携担当
設問数	10 問
趣旨・目的	本市は、SDGs を先進的に進める自治体として国から SDGs 未来都市の選定を受けており、2021 年 2 月に策定した堺市 SDGs 未来都市計画をもとに、SDGs の目標達成に向けた取組を進めています。 今回のアンケートでは、SDGs 未来都市計画の改定に向け、市民の皆様の SDGs の意識や意見を調査し、今後の計画改定に活用したいと考えています。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 76 では、「知っている」と「SDGs17 ゴールのロゴマークを見たことがある」と回答した合計が 89.8%となり、世間での SDGs への関心の高まり等の社会的背景も後押しし、令和 3 年度と比較して、2.2 ポイントの増加が見られました。引き続き、本市としても、各種施策との関連付けや、さかい SDGs 推進プラットフォーム会員と連携した市内イベント等を通して SDGs の意義等の発信を継続します。 ・問 84 では、堺市 SDGs 未来都市計画の各目標に設定する KPI※のうち、「【目標 3】すべての人に健康と福祉を」への関心が 36.1%と一番高く、次に「【目標 1】貧困をなくそう」が 29.9%と高い結果となりました。普段の生活から身近に感じやすい目標テーマに対し、関心が高い傾向が見られたため、当該目標に対する次期計画の KPI の設定や関連する施策反映への参考とします。 ・問 85 では企業や学校等の外部団体と連携し SDGs に取り組むさかい SDGs 推進プラットフォームについて、「取組を知っているし、活動の方向性を評価する」は 11.1%、「取組を知らないが、活動の方向性を評価する」は 57.9%となり、同プラットフォームを評価する割合は 69.0%でした。引き続き、同プラットフォーム会員と連携したイベントの実施や連携事業の取組を継続します。

※KPI : Key Performance Indicator の略。達成すべき目標に対し、どれだけの進捗がみられたかを中間的に評価するための定量的な指標。

(1) SDGs 全体

「SDGs」とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、エス・ディー・ジーズと読みます。国連で 2015 年に採択された 2030 年までに達成をめざす世界共通の目標です。「誰一人取り残さない」という考え方のもと 17 の目標があり、今存在する私たちだけでなく、次の世代が地球に暮らし続けるために取り組む必要があります。

【SDGs17 ゴール ロゴマーク】

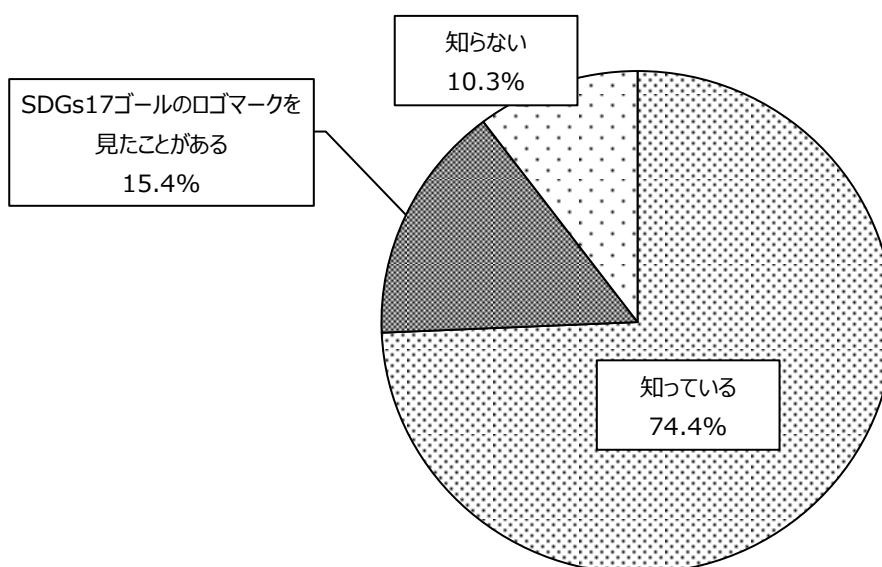


問 76. 「SDGs」を知っていますか。

【1 つ選択】

「知っている」「SDGs17 ゴールのロゴマークを見たことがある」と回答した合計が 89.8%であり、令和 3 年度の 87.6%から増加した。

	選択項目（n=468）	回答数	構成比
1	知っている	348	74.4%
2	SDGs17ゴールのロゴマークを見たことがある	72	15.4%
3	知らない	48	10.3%
	計（回答総数）	468	100.0%



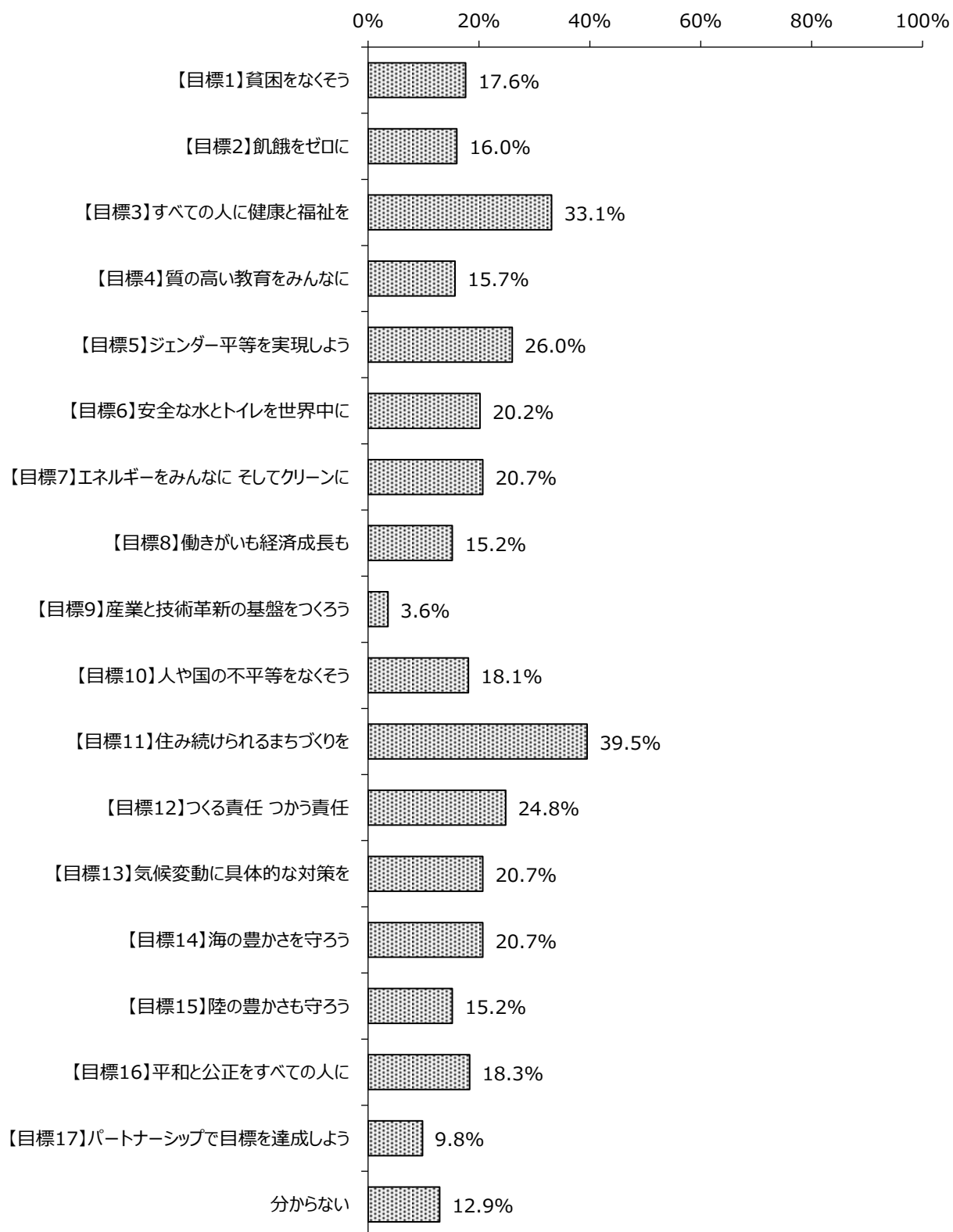
問 77. 問 76 で「1 知っている」「2 SDGs ゴールのロゴを見たことがある」と回答された方に伺います。

SDGs の 17 の目標の中で、個人で意識して取り組みやすいと思う目標はどれですか。

【複数選択可：いくつでも】

「【目標 11】住み続けられるまちづくりを」と回答した方が 39.5%と最も多く、次いで「【目標 3】すべての人に健康と福祉を」と回答した方が 33.1%であった。

	選択項目（n=420）	回答数	回答数/n
1	【目標1】貧困をなくそう	74	17.6%
2	【目標2】飢餓をゼロに	67	16.0%
3	【目標3】すべての人に健康と福祉を	139	33.1%
4	【目標4】質の高い教育をみんなに	66	15.7%
5	【目標5】ジェンダー平等を実現しよう	109	26.0%
6	【目標6】安全な水とトイレを世界中に	85	20.2%
7	【目標7】エネルギーをみんなに そしてクリーンに	87	20.7%
8	【目標8】働きがいも経済成長も	64	15.2%
9	【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう	15	3.6%
10	【目標10】人や国の不平等をなくそう	76	18.1%
11	【目標11】住み続けられるまちづくりを	166	39.5%
12	【目標12】つくる責任 つかう責任	104	24.8%
13	【目標13】気候変動に具体的な対策を	87	20.7%
14	【目標14】海の豊かさを守ろう	87	20.7%
15	【目標15】陸の豊かさを守ろう	64	15.2%
16	【目標16】平和と公正をすべての人に	77	18.3%
17	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう	41	9.8%
18	分からない	54	12.9%



(2) SDGsを意識した行動

問 78. 日常生活における SDGs の各目標に関する代表的な行動として、下記を本市で設定しました。これまでに意識して行動したことがあるものはありますか。 **【複数選択可：いくつでも】**

「【目標 6】お風呂や洗濯、トイレなど、水の無駄遣いをしない」と回答した方が 54.7%と最も多く、次いで「【目標 2】地元で採れた農作物を食べる」と回答した方が 54.3%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	【目標1】フェアトレード（※1）の商品を購入する	106	22.6%
2	【目標2】地元で採れた農作物を食べる	254	54.3%
3	【目標3】運動の習慣化、食生活の改善など、健康に気をつける	237	50.6%
4	【目標4】世界や日本教育の現状を考え、家族や周囲と話題にする	46	9.8%
5	【目標5】ジェンダー（※2）平等に興味をもち、理解する	126	26.9%
6	【目標6】お風呂や洗濯、トイレなど、水の無駄遣いをしない	256	54.7%
7	【目標7】必要時以外、電化製品の主電源をこまめに切る	202	43.2%
8	【目標8】ワークライフバランス（※3）を考えて上手に働く	109	23.3%
9	【目標9】身の回りで使われている新しい技術を探す	47	10.0%
10	【目標10】手話、点訳、音訳、要約筆記などに興味を持つ	60	12.8%
11	【目標11】清掃活動などの地域活動に参加する	86	18.4%
12	【目標12】すぐに食べるものは食品棚から手前どり（※4）をする	153	32.7%
13	【目標13】クールビズ・ウォームビズ（※5）に積極的に取り組む	139	29.7%
14	【目標14】魚介類を買うときは認証マーク（※6）のついた商品を選ぶ	33	7.1%
15	【目標15】エコマークなどが付いた、環境に配慮された製品を選ぶ	83	17.7%
16	【目標16】積極的に選挙に行くなど、政治に関心をもつ	196	41.9%
17	【目標17】SDGsに取り組んでいる企業の商品を購入する	50	10.7%
18	その他	4	0.9%
19	SDGsを意識して行動していない	50	10.7%

（※1） フェアトレードとは、発展途上国の人々の生活を助けるために、途上国との貿易において公正な取引をすること。コーヒー、紅茶、カカオ等のフェアトレード商品がある。

（※2） ジェンダーとは、生物学的な性別に対して、社会的・文化的につくられる性別のこと。世の中の男性と女性の役割の違いによって生まれる性別のこと。

（※3） ワークライフバランス（仕事と生活の調和）とは、個々が、年齢や性別にかかわらず、やりがいや充実を感じながら働き、家庭や地域生活等においても、子育て期、中高年期といった人生のライフステージに応じて様々な生き方を選択すること。

（※4） 手前どりとは、商品棚の手前に並んでいる賞味・消費期限の短い商品を選ぶ購買行動のこと。

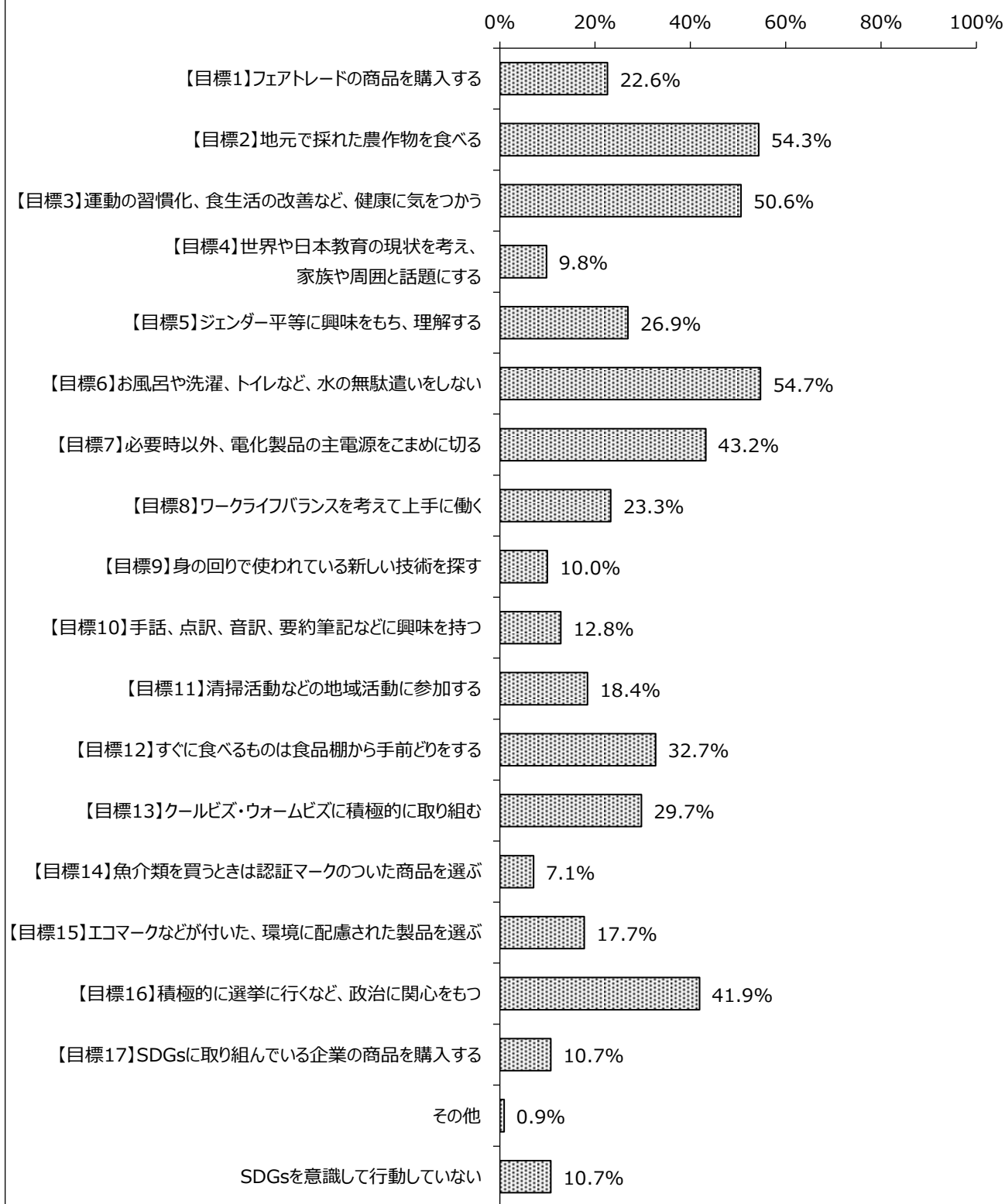
（※5） クールビズ・ウォームビズとは、軽装や厚着することで、適正な室温で快適に過ごすライフスタイルのこと。

（※6） MSC 認証や ASC 認証等がある。適切に管理された漁業や養殖業で育まれた水産物を認証するもの。

[18 その他]

【主な回答】

- 食品ロス
- 寄附



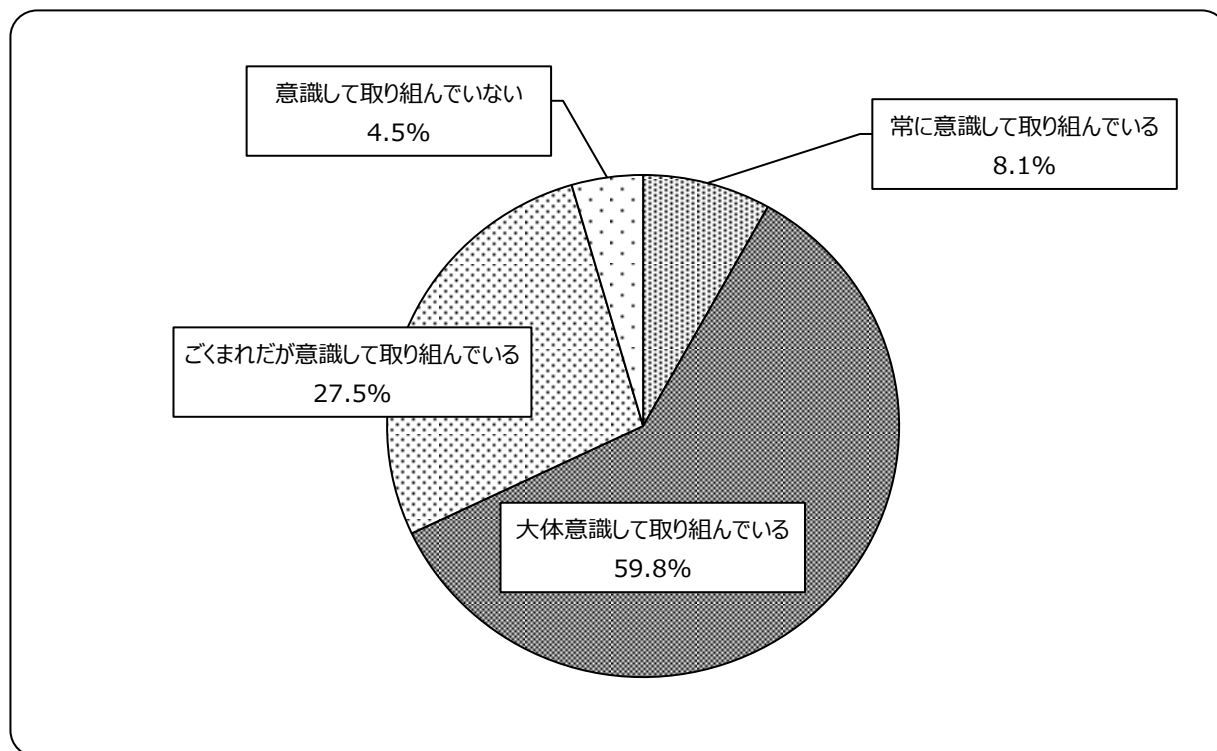
問 79. 問 78 で 1 から 18 と回答した方に伺います。

問 78 で回答いただいた SDGs を意識した行動について、どの程度取り組んでいますか。

【1 つ選択】

「常に意識して取り組んでいる」と回答した方が 8.1%、「大体意識して取り組んでいる」が 59.8%、「ごくまれだが意識して取り組んでいる」が 27.5%であり、SDGs を意識して行動している合計は 95.4%であった。

	選択項目（n=418）	回答数	構成比
1	常に意識して取り組んでいる	34	8.1%
2	大体意識して取り組んでいる	250	59.8%
3	ごくまれだが意識して取り組んでいる	115	27.5%
4	意識して取り組んでいない	19	4.5%
	計（回答総数）	418	100.0%



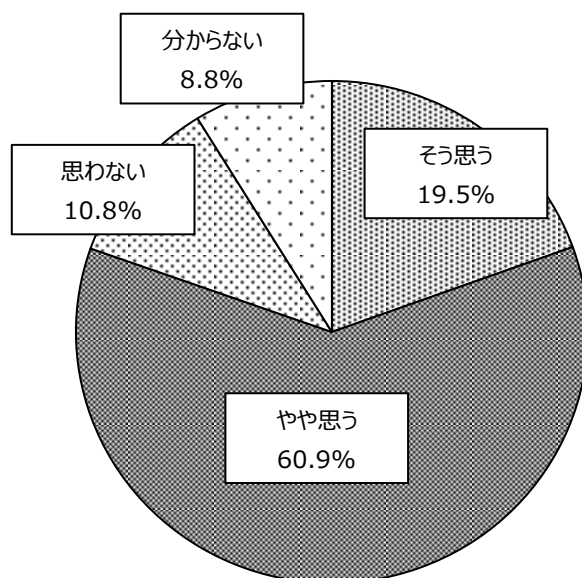
問 80. 問 79 で 1 から 3 と回答した方に伺います。

SDGs を意識した行動に取り組む中で、個人として新たに取組を増やそうと思いますか。

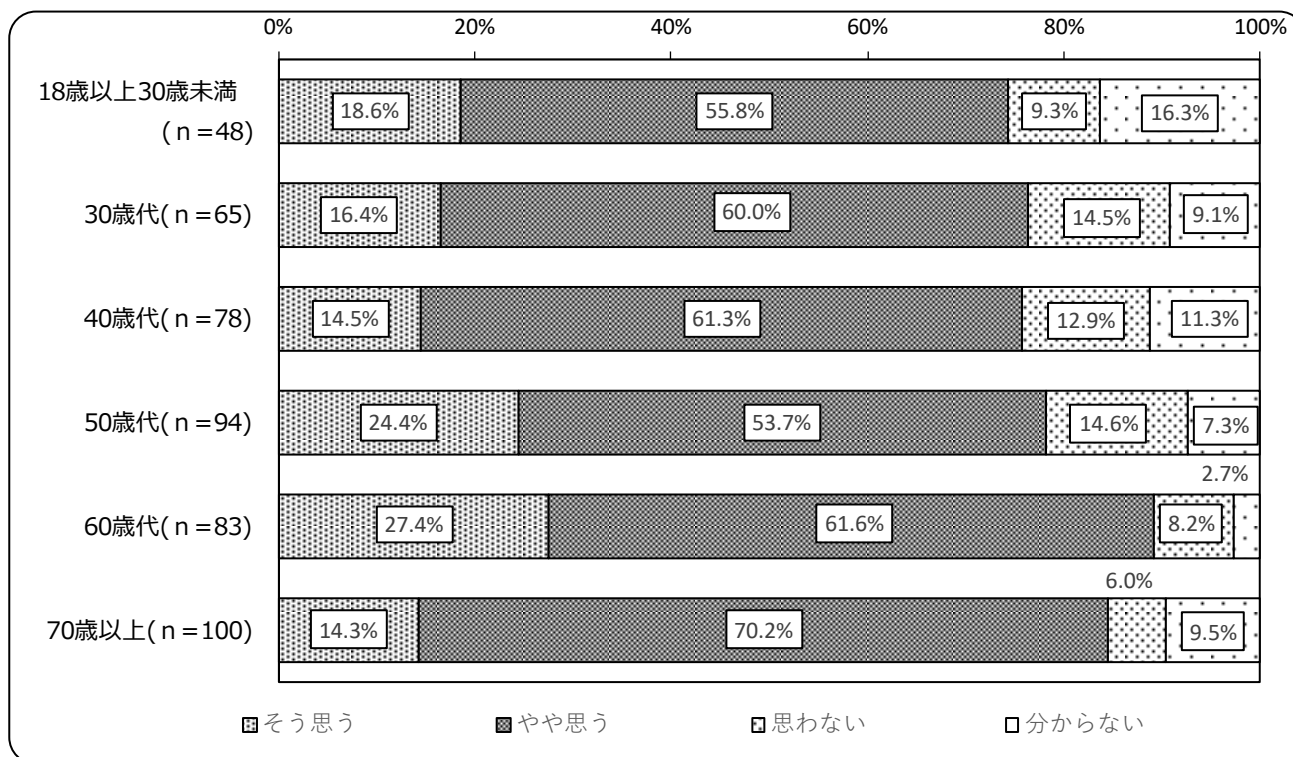
【1 つ選択】

「そう思う」と回答した方が 19.5%、「やや思う」が 60.9%と新たな SDGs の取組を増やそうと思う方は 80.4%であった。「そう思う」「やや思う」と回答した方の合計は、60 歳代が他年代と比べて一番多かった。

	選択項目（n=399）	回答数	構成比
1	そう思う	78	19.5%
2	やや思う	243	60.9%
3	思わない	43	10.8%
4	分からない	35	8.8%
	計（回答総数）	399	100.0%



《年齢別》

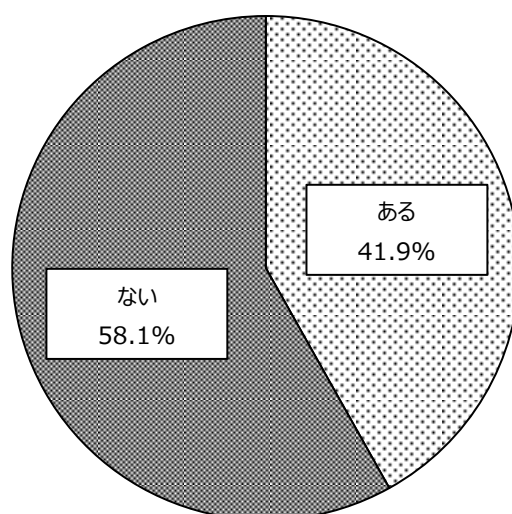


問 81. SDGs の実現に向けた「行動を広げる」には個人としての行動を増やす以外に、周囲の人との対話や連携が重要です。SDGs について話をしたり、誰かから SDGs に関する話題を聞いたことがありますか。

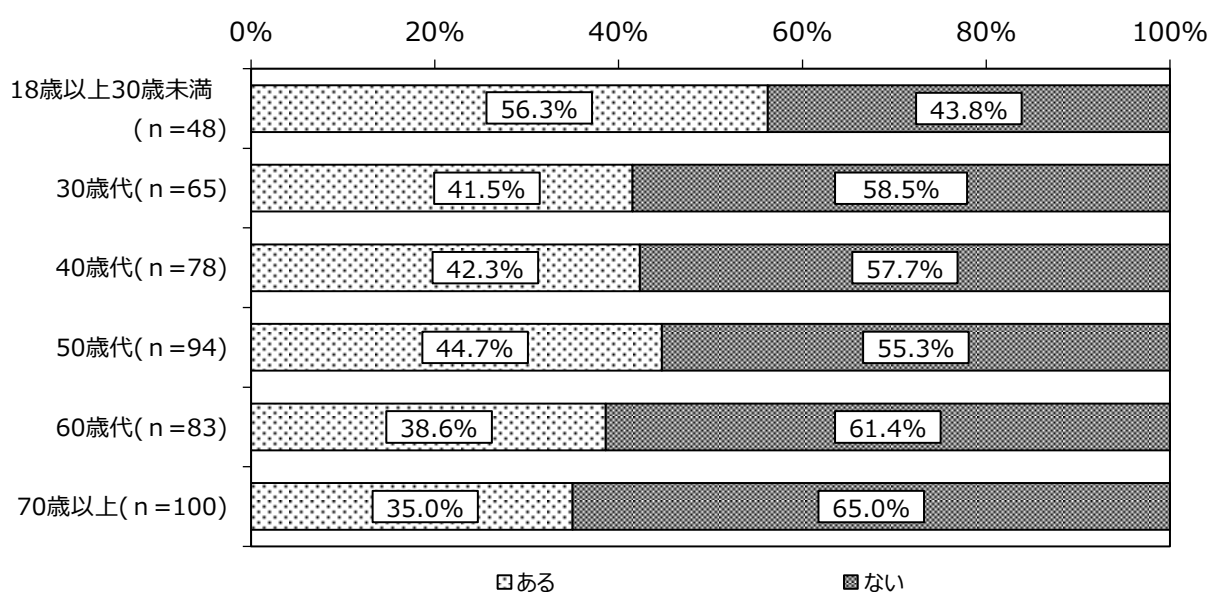
【1 つ選択】

「ある」と回答した方は 41.9%であり、18 歳以上 30 歳未満では 56.3%と最も多かった。また、「ない」と回答した方は 58.1%であり、70 歳以上では 65.0%と最も多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	ある	196	41.9%
2	ない	272	58.1%
	計 (回答総数)	468	100.0%



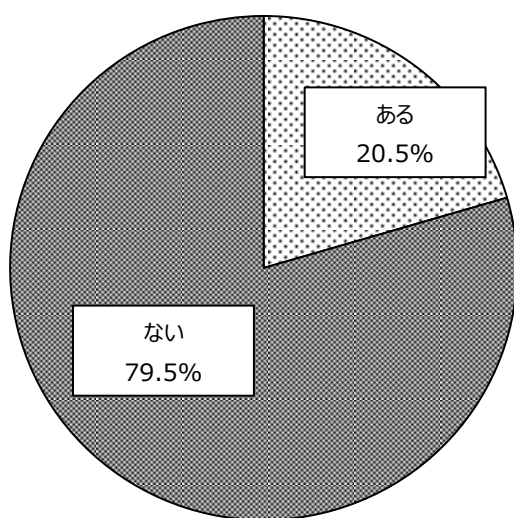
《年齢別》



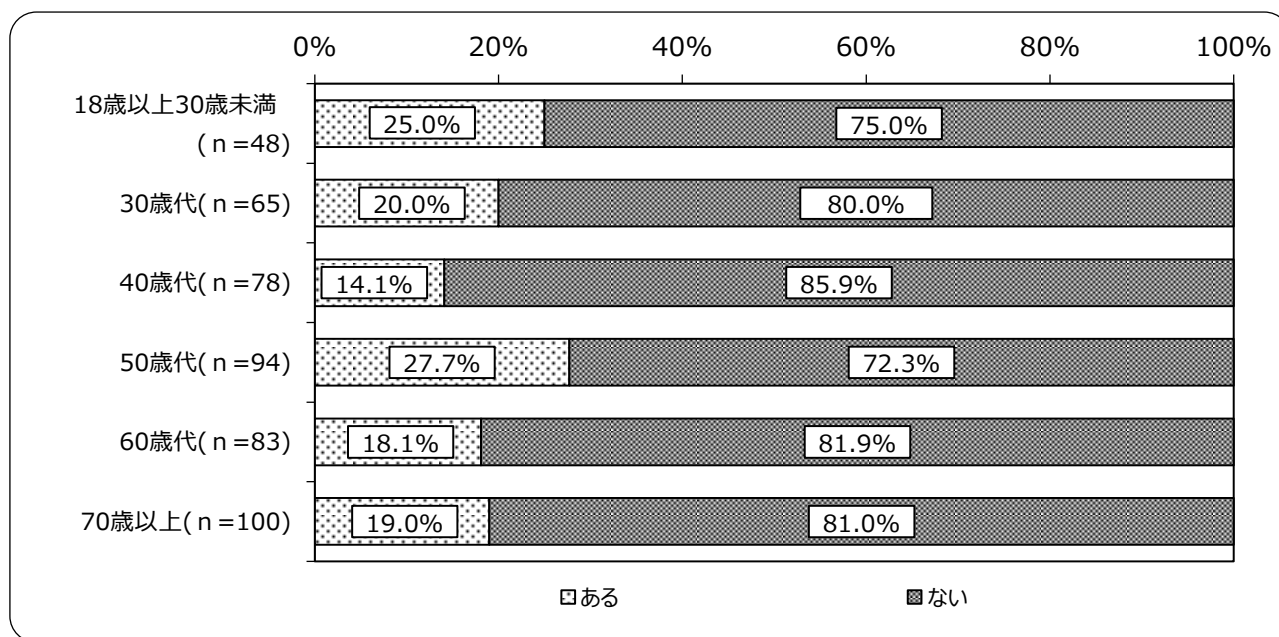
問 82. SDGs に関するイベントや講座、企業や団体の社会貢献活動に参加したことがありますか。 【1 つ選択】

「ある」と回答した方は 20.5%であり、50 歳代が最も多かった。「ない」と回答した方が 79.5%となり、40 歳代では 85.9%と最も多かった。

	選択項目 (n=468)	回答数	構成比
1	ある	96	20.5%
2	ない	372	79.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%



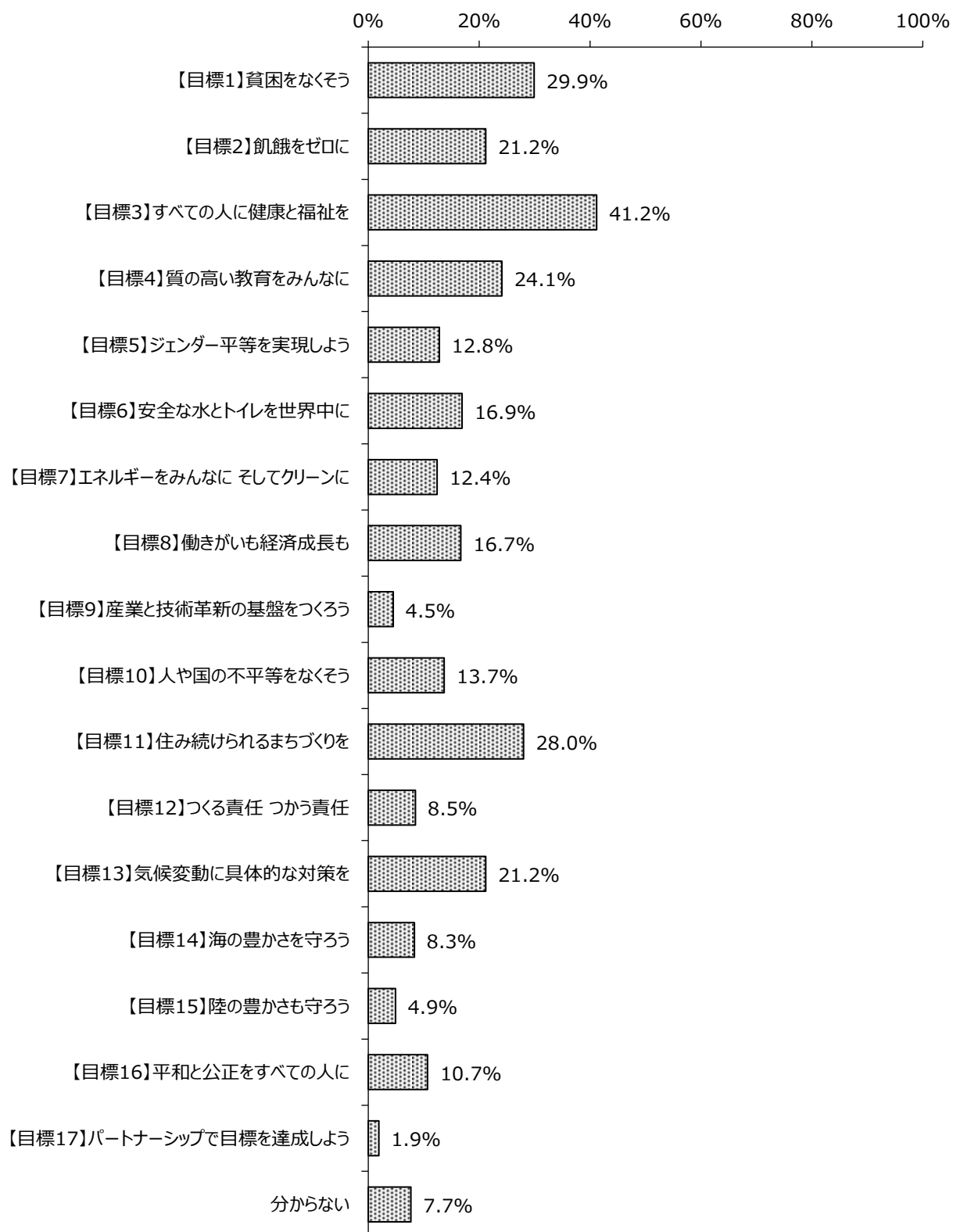
《年齢別》



問 83. 持続可能な社会の実現に向けて、SDGs の 17 の目標に対し、今後社会全体の取組として特に強化するべきと思う目標は次のうちどれですか。 **【3 つ選択】**

「【目標 3】すべての人に健康と福祉を」と回答した方が 41.2%と最も多く、次いで「【目標 1】貧困をなくそう」と回答した方が 29.9%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/ n
1	【目標1】貧困をなくそう	140	29.9%
2	【目標2】飢餓をゼロに	99	21.2%
3	【目標3】すべての人に健康と福祉を	193	41.2%
4	【目標4】質の高い教育をみんなに	113	24.1%
5	【目標5】ジェンダー平等を実現しよう	60	12.8%
6	【目標6】安全な水とトイレを世界中に	79	16.9%
7	【目標7】エネルギーをみんなに そしてクリーンに	58	12.4%
8	【目標8】働きがいも経済成長も	78	16.7%
9	【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう	21	4.5%
10	【目標10】人や国の不平等をなくそう	64	13.7%
11	【目標11】住み続けられるまちづくりを	131	28.0%
12	【目標12】つくる責任 つかう責任	40	8.5%
13	【目標13】気候変動に具体的な対策を	99	21.2%
14	【目標14】海の豊かさを守ろう	39	8.3%
15	【目標15】陸の豊かさを守ろう	23	4.9%
16	【目標16】平和と公正をすべての人に	50	10.7%
17	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう	9	1.9%
18	分からない	36	7.7%



問 84. 本市では持続可能な社会の実現に向けて、堺市 SDGs 未来都市計画（2021～2025）を策定し SDGs の目標に対する本市としてめざす目標（KPI）を設定の上、取組の進捗を評価しています。本市の取組として重要と思う目標（KPI）はどれですか。 【3 つ選択】

		【参考】	
SDGs の目標	堺市の目標（KPI）	現状値	目標値（2025 年）
1	【目標 1】貧困をなくそう 児童扶養手当の全部支給割合	堺市:55.2% 全国:47.3%※ ※厚生労働省 2021 年度データ	全国を下回る
2	【目標 2】飢餓をゼロに 市内で採れた食材を食べていると答えた人の割合（概ね 6 ヶ月以内）	62.5%	55.0%
3	【目標 3】すべての人に健康と福祉を 健康寿命	男性：72.82 年 女性：74.46 年	男性：73.40 年 女性：76.40 年
4	【目標 4】質の高い教育をみんなに 学力調査（小学 6 年、中学 3 年）	小学 6 年：97.9 中学 3 年：96.9	小学 6 年：103.0 中学 3 年：100.0
5	【目標 5】ジェンダー平等を実現しよう 市職員の女性管理職の割合（一般行政職）	19.1%	22.0%
6	【目標 6】安全な水とトイレを世界中に 水道管路の優先耐震化路線（※1）の耐震化率	97.4%	100%
7	【目標 7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに 市域の再生可能エネルギー（※2）導入容量	183MW	216MW
8	【目標 8】働きがいも経済成長も 女性の就業率	50.1%	55.0%
9	【目標 9】産業と技術革新の基盤をつくろう 堺市イノベーション投資促進条例に基づく認定投資額	541 億円	2021 年度からの累計 1000 億円
10	【目標 10】人や国の不平等をなくそう 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っているまちだと思うと答えた人の割合	42.0%	50.5%

11	【目標 11】住み続けられるまちづくりを	緊急交通路等 ^(※3) における橋りょうの耐震化率	87.1%	97.0%
12	【目標 12】つくる責任 つかう責任	1 人 1 日当たり家庭系ごみ排出量	617g	628g
13	【目標 13】気候変動に具体的な対策を	市域の温室効果ガス排出削減量 (2013 年度比)	19.1%	19.0%
14	【目標 14】海の豊かさを守ろう	レジ袋辞退率	80.0%	85.0%
		水質関係法令に基づく排水基準不適合であった工場・事業場の改善率	100%	100%
		水再生センターからの放流水質基準達成率	100%	100%
15	【目標 15】陸の豊かさを守ろう	都市部における緑地面積 ^(※4)	2261ha	2264ha
		身近な公園や広場の充足度 (市民一人あたりの開設公園面積)	8.76 m ²	8.99 m ²
16	【目標 16】平和と公正をすべての人に	大阪重点犯罪 ^(※5) 認知件数	913 件	900 件
17	【目標 17】パートナーシップで目標を達成しよう	SDGs の意味及び重要性を理解し、取り組んでいると答えた企業の割合	23.0%	33.0%
18	分からない			

(※1) 避難所や病院等に水道水を供給するため優先的に耐震化を行う路線

(※2) 太陽光発電、廃棄物発電、小水力発電の合計

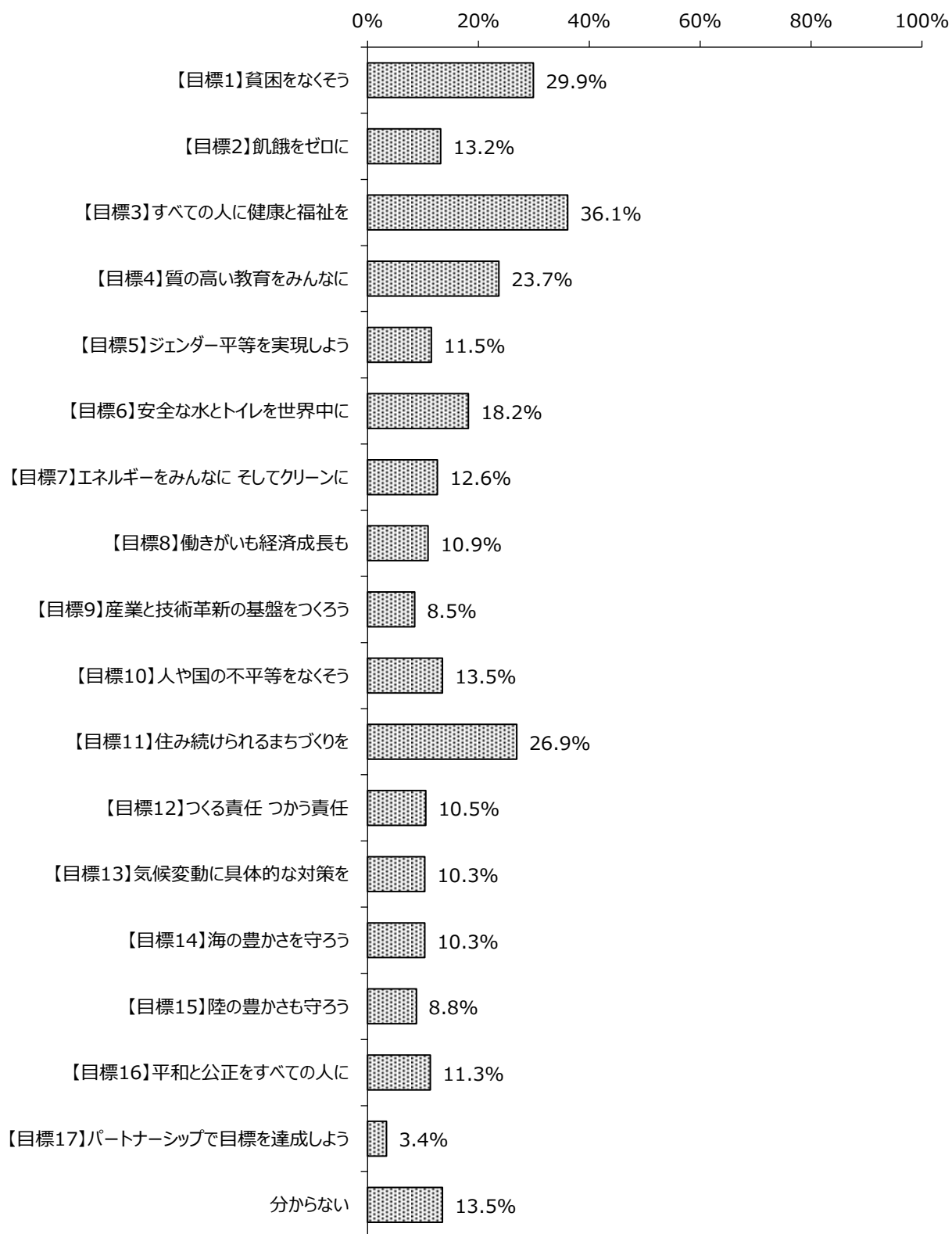
(※3) 災害時に迅速に緊急輸送活動や応急活動を行うための路線

(※4) 市全域から南部丘陵エリアを除いた緑地面積

(※5) 不同意性交等、不同意わいせつ、公然わいせつ、特殊詐欺、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい

「【目標 3】すべての人に健康と福祉を」と回答した方が 36.1%で最も多く、次いで「【目標 1】貧困をなくそう」と回答した方が 29.9%であった。

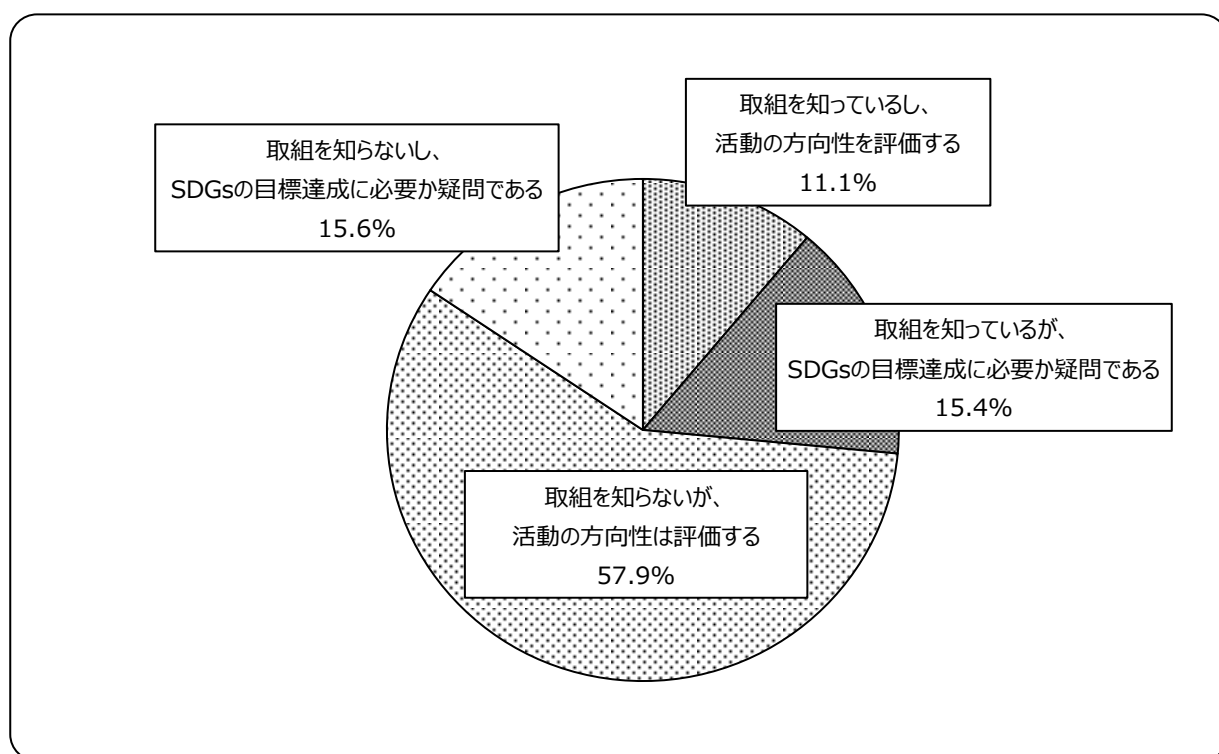
	選択項目（n=468）	回答数	回答数/n
1	【目標1】貧困をなくそう	140	29.9%
2	【目標2】飢餓をゼロに	62	13.2%
3	【目標3】すべての人に健康と福祉を	169	36.1%
4	【目標4】質の高い教育をみんなに	111	23.7%
5	【目標5】ジェンダー平等を実現しよう	54	11.5%
6	【目標6】安全な水とトイレを世界中に	85	18.2%
7	【目標7】エネルギーをみんなに そしてクリーンに	59	12.6%
8	【目標8】働きがいも経済成長も	51	10.9%
9	【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう	40	8.5%
10	【目標10】人や国の不平等をなくそう	63	13.5%
11	【目標11】住み続けられるまちづくりを	126	26.9%
12	【目標12】つくる責任 つかう責任	49	10.5%
13	【目標13】気候変動に具体的な対策を	48	10.3%
14	【目標14】海の豊かさを守ろう	48	10.3%
15	【目標15】陸の豊かさを守ろう	41	8.8%
16	【目標16】平和と公正をすべての人に	53	11.3%
17	【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう	16	3.4%
18	分からない	63	13.5%



問 85. 本市では、多様な主体が SDGs を認識し、それぞれができる行動を増やし、更に相互に連携し行動が広がることをめざし、さかい SDGs 推進プラットフォーム※を設立しています。（約 1900 会員、約 200 件取組）あなたはこのプラットフォームについて知っていましたか。また、このような取組についてどのように考えますか。
※SDGs に取り組む意欲のある企業や教育機関等の組織団体を会員対象とし、会員同士がつながりながら SDGs に取り組み、地域課題の解決に向けた活動を行うネットワーク基盤 **【1 つ選択】**

「取組を知っているし、活動の方向性を評価する」と回答した方は 11.1%、「取組を知らないが、活動の方向性を評価する」と回答した方が 57.9%となり、さかい SDGs 推進プラットフォームを評価する合計は 69.0%であった。

	選択項目（n=468）	回答数	構成比
1	取組を知っているし、活動の方向性を評価する	52	11.1%
2	取組を知っているが、SDGsの目標達成に必要なか疑問である	72	15.4%
3	取組を知らないが、活動の方向性は評価する	271	57.9%
4	取組を知らないし、SDGsの目標達成に必要なか疑問である	73	15.6%
	計（回答総数）	468	100.0%



9. 「（仮称）堺ミュージアム」のあり方

調査結果の概要

テーマ	「（仮称）堺ミュージアム」のあり方
担当課	文化観光局 歴史遺産活用部博物館 学芸課
設問数	6 問
趣旨・目的	本市では、堺市博物館について施設・設備の改修の必要性等の課題を踏まえ、先人から受け継いだ堺の類いまれな歴史・文化を発信・継承し、アルフォンス・ミュシャ作品を含む本市のコレクションや文化財を集約して保管・展示する機能を併せ持つ「（仮称）堺ミュージアム」の整備に向けて検討を始めました。 今回のアンケートは、市民の皆様にとって堺に誇りや愛着を持てる施設となるよう今後のあり方の検討に活用するものです。
調査結果	各設問のページをご覧ください。
調査結果に係る 担当課の所見	・問 87 では、堺市博物館、アルフォンス・ミュシャ館に「訪れたことはないが、関心はある」と回答した方が、それぞれ約 4 割・5 割いることが分かりました。関心はあるが来館したことがない方に、来館を促すため、一層取組を行う必要があります。 ・問 88 では、古墳時代に関心が高いことが改めて分かりました。次いで江戸時代に関心が高いことは、令和 6 年 3 月にオープンした鉄炮鍛冶屋敷の影響等が考えられます。（仮称）堺ミュージアムの展示内容検討の参考にします。 ・問 89 では、直接触れるなどの体験・体感できる展示が最も期待されていました。次いで VR・AR、シアターの期待値が高いことから、（仮称）堺ミュージアムでは、実物展示に併せて体験・体感できる展示を意識し、検討を進めます。

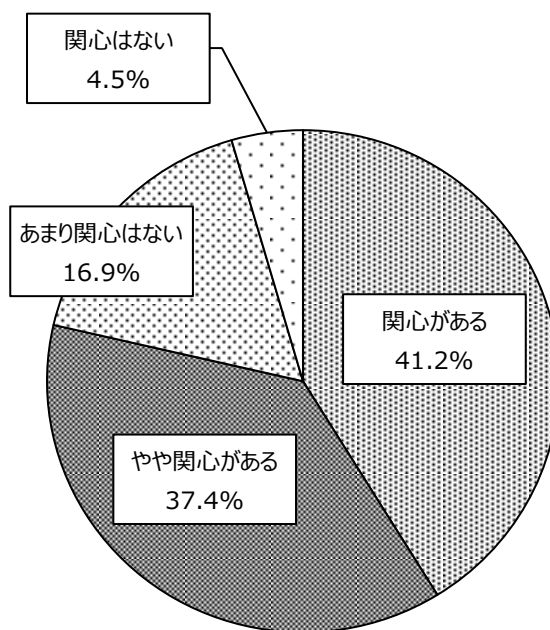
(1) 博物館・美術館への関心

問 86. 博物館や美術館に関心がありますか。

【1 つ選択】

「関心がある」「やや関心がある」と回答した方は約 8 割を占めた。

	選択項目 (n = 468)	回答数	構成比
1	関心がある	193	41.2%
2	やや関心がある	175	37.4%
3	あまり関心はない	79	16.9%
4	関心はない	21	4.5%
	計 (回答総数)	468	100.0%

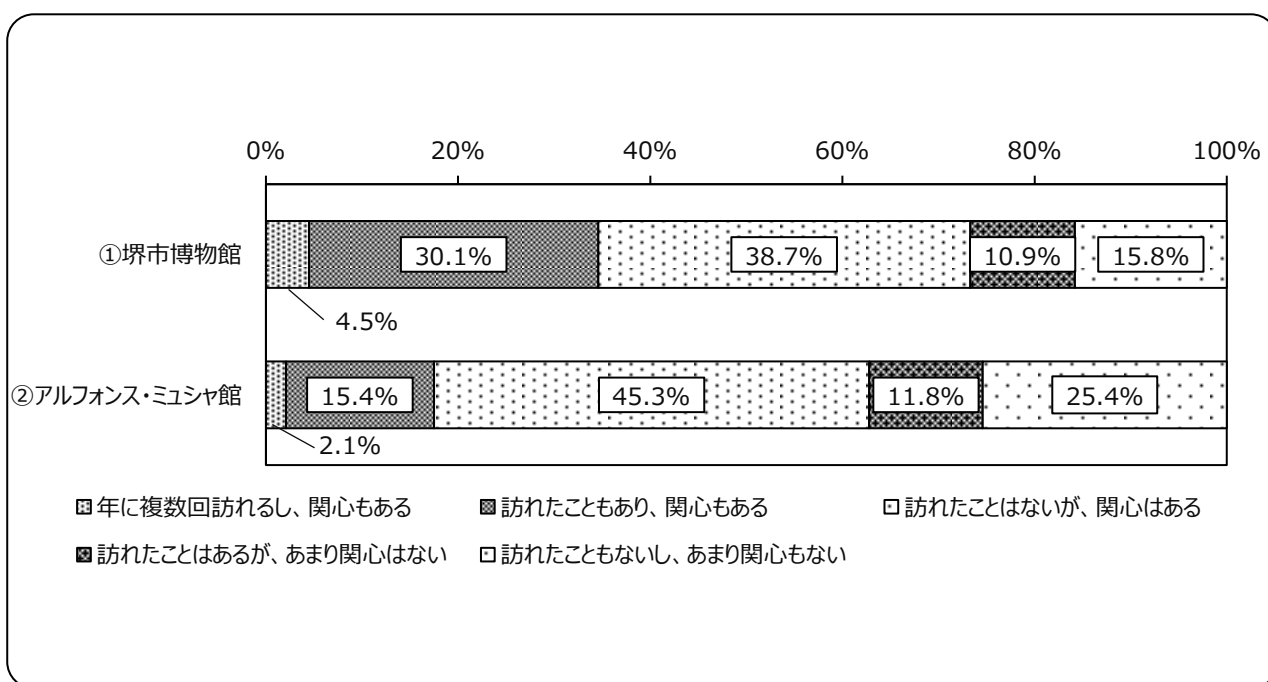


(2) 堺市博物館等への関心

問 87. 百舌鳥古墳群と堺の歴史・文化等を紹介する「堺市博物館」と、アール・ヌーヴォーを代表する作家・アルフォンス・ミュシャの作品を展示する「堺 アルフォンス・ミュシャ館」について、あなたの関心度合いに最も近いものを選んでください。
【各項目：1 つ選択】

訪れたことがある方の合計が、堺市博物館で 45.5%、堺 アルフォンス・ミュシャ館で 29.3%であった。訪れたことはないが関心はある方が、それぞれ 38.7%、45.3%であった。

選択項目 (n=468)	年に複数回訪れるし、関心もある	訪れたこともあり、関心もある	訪れたことはないが、関心はある	訪れたことはあるが、あまり関心はない	訪れたこともないし、あまり関心もない	計 (回答総数)
①堺市博物館	21 4.5%	141 30.1%	181 38.7%	51 10.9%	74 15.8%	468 100.0%
②アルフォンス・ミュシャ館	10 2.1%	72 15.4%	212 45.3%	55 11.8%	119 25.4%	468 100.0%



(3) 堺の歴史・文化への関心

問 88. 堺の歴史や所蔵品について、興味のある項目を選んでください。

【複数選択可：3 つまで】

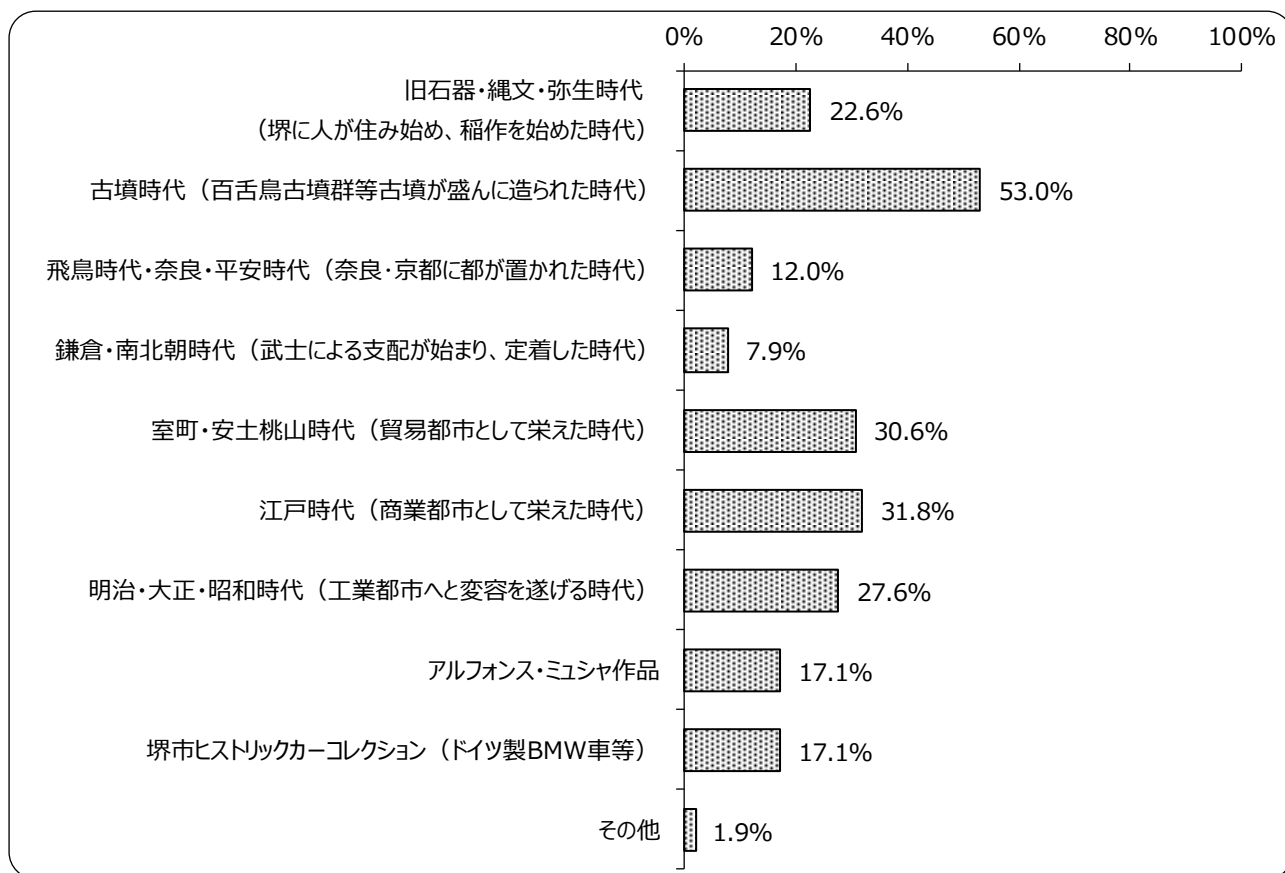
「古墳時代（百舌鳥古墳群等古墳が盛んに造られた時代）」と回答した方が半数を超えており、他の選択項目と比べて多かった。次いで「江戸時代（商業都市として栄えた時代）」「室町・安土桃山時代（貿易都市として栄えた時代）」と回答した方がそれぞれ約 3 割を占めた。

	選択項目（n=468）	回答数	回答数/ n
1	旧石器・縄文・弥生時代（堺に人が住み始め、稲作を始めた時代）	106	22.6%
2	古墳時代（百舌鳥古墳群等古墳が盛んに造られた時代）	248	53.0%
3	飛鳥時代・奈良・平安時代（奈良・京都に都が置かれた時代）	56	12.0%
4	鎌倉・南北朝時代（武士による支配が始まり、定着した時代）	37	7.9%
5	室町・安土桃山時代（貿易都市として栄えた時代）	143	30.6%
6	江戸時代（商業都市として栄えた時代）	149	31.8%
7	明治・大正・昭和時代（工業都市へと変容を遂げる時代）	129	27.6%
8	アルフォンス・ミュシャ作品	80	17.1%
9	堺市ヒストリックカーコレクション（ドイツ製BMW車等）	80	17.1%
10	その他	9	1.9%

[10 その他]

【主な回答】

- 御朱印帳
- 旧堺水族館や堺大浜水上飛行場
- 特になし
- 興味がない。



(4) (仮称)堺ミュージアムに期待する取組(展示等に関するサービス)

問 89. 「(仮称)堺ミュージアム」にあれば良いと思うものはどれですか。

【複数選択可：3 つまで】

「直接触れるなどの体験・体感ができる展示」と回答した方が 48.5%であった。次いで「VR や AR 等の最新映像技術を用いた展示」が 41.9%、「シアタールームで鑑賞できる映像」が 34.6%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/n
1	VRやAR等の最新映像技術を用いた展示	196	41.9%
2	シアタールームで鑑賞できる映像	162	34.6%
3	直接触れるなどの体験・体感ができる展示	227	48.5%
4	こども向けの表現を用いた展示	165	35.3%
5	古墳の築造や中世の街並み等のジオラマ模型	121	25.9%
6	展示物の音声ガイド	61	13.0%
7	デジタルデータによる館蔵資料の検索・閲覧機能	51	10.9%
8	堺の歴史・文化について質問できるコーナー	51	10.9%
9	堺の歴史・文化について自身で調べられる自習室・ラボ	48	10.3%
10	その他	11	2.4%

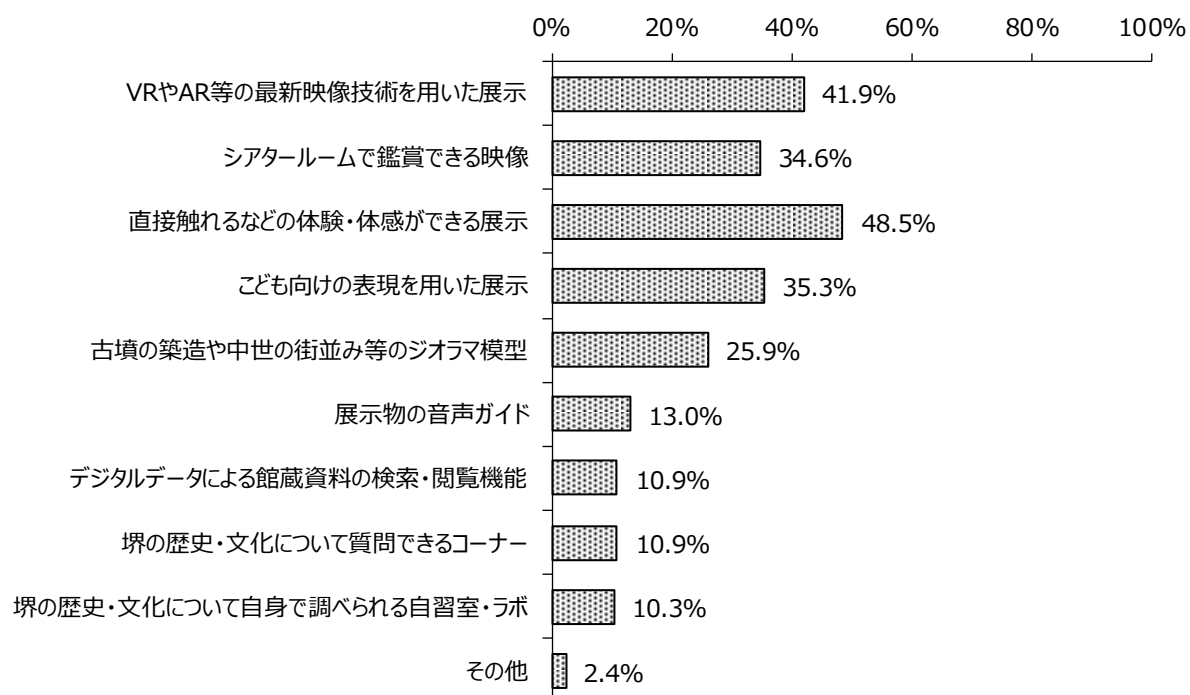
(※1) VR (Virtual Reality) : 一般に「仮想現実」と訳される。閉鎖された視界に CG を投影し、自分が仮想世界にいるかのような体験ができる技術。

(※2) AR (Augmented Reality) : 一般に「拡張現実」と訳される。スマートフォンやタブレット端末等の機器を使用し、実世界に CG を重ねて映し出す技術。

[10 その他]

【主な回答】

- 旧堺水族館や旧堺大浜飛行場等、堺の埋もれた歴史を周知するような情報発信。大阪市より堺市のほうが繁栄していた歴史等を広く住民に周知し、誇りを持てるような施策の実施
- 観光客だけでなく地元の人が訪れたいようなカフェとか商業施設等の併設
- 街並み等原寸大の模型エリア
- 映える写真撮影スポット
- 適切な展示の更新
- 興味をそそる何か
- 興味がない。
- 全くない。



(5) (仮称) 堺ミュージアムに期待する取組 (イベント)

問 90. 「(仮称) 堺ミュージアム」で期待する取組や、来館のきっかけとなると思う取組は何ですか。

【複数選択可：3 つまで】

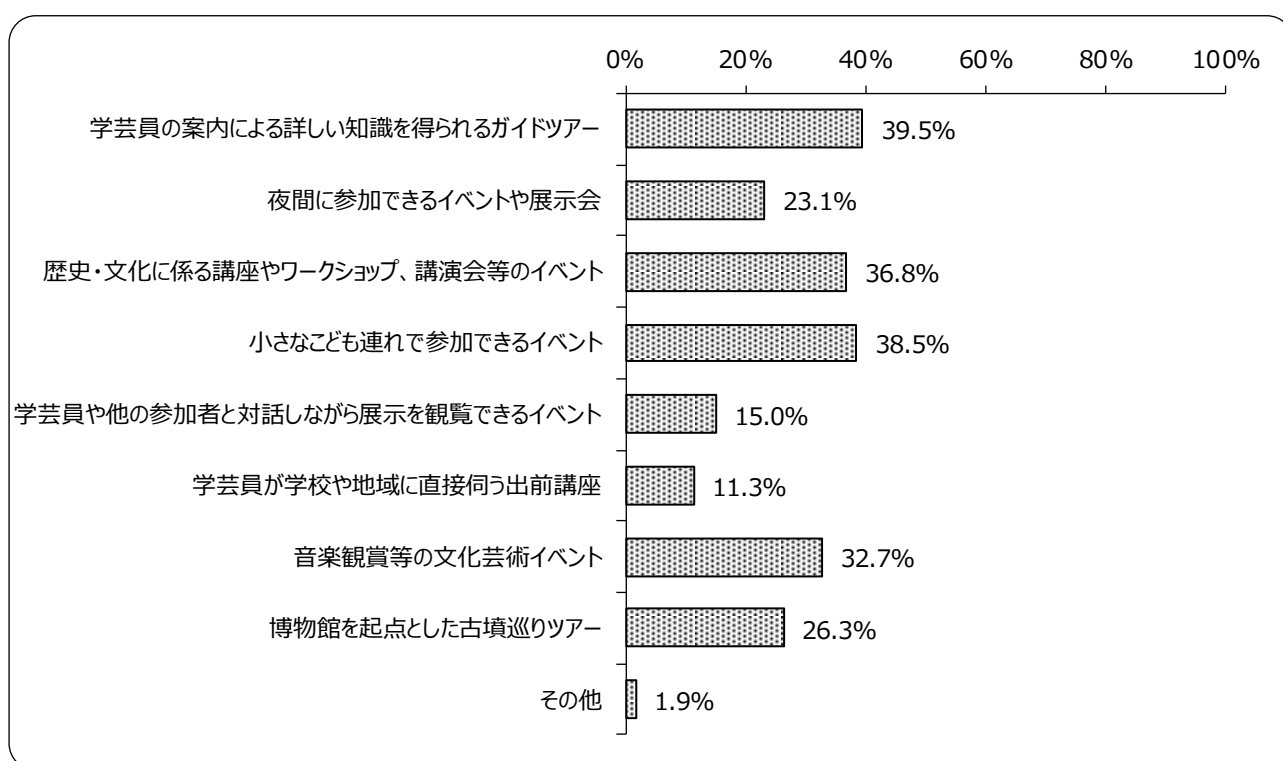
「学芸員の案内による詳しい知識を得られるガイドツアー」と回答した方が 39.5%で最も多く、次いで「小さな子ども連れで参加できるイベント」「歴史・文化に係る講座やワークショップ、講演会等のイベント」と回答した方が、38.5%、36.8%であった。また「音楽観賞等の文化芸術イベント」は 32.7%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/ n
1	学芸員の案内による詳しい知識を得られるガイドツアー	185	39.5%
2	夜間に参加できるイベントや展示会	108	23.1%
3	歴史・文化に係る講座やワークショップ、講演会等のイベント	172	36.8%
4	小さな子ども連れで参加できるイベント	180	38.5%
5	学芸員や他の参加者と対話しながら展示を観覧できるイベント	70	15.0%
6	学芸員が学校や地域に直接伺う出前講座	53	11.3%
7	音楽観賞等の文化芸術イベント	153	32.7%
8	博物館を起点とした古墳巡りツアー	123	26.3%
9	その他	9	1.9%

[9 その他]

【主な回答】

- リピーターを増やすために常設のものばかりでなく別の展覧会
- 他市に負けないような内容の展示
- 行ってみたいと思える何か
- 小学校で配布される無料チケット
- 分からない
- 興味がない
- 全くない



(6) (仮称) 堺ミュージアムに期待する取組 (その他サービス)

問 91. 「(仮称) 堺ミュージアム」にあれば良いと思うものはどれですか。

【複数選択可：3 つまで】

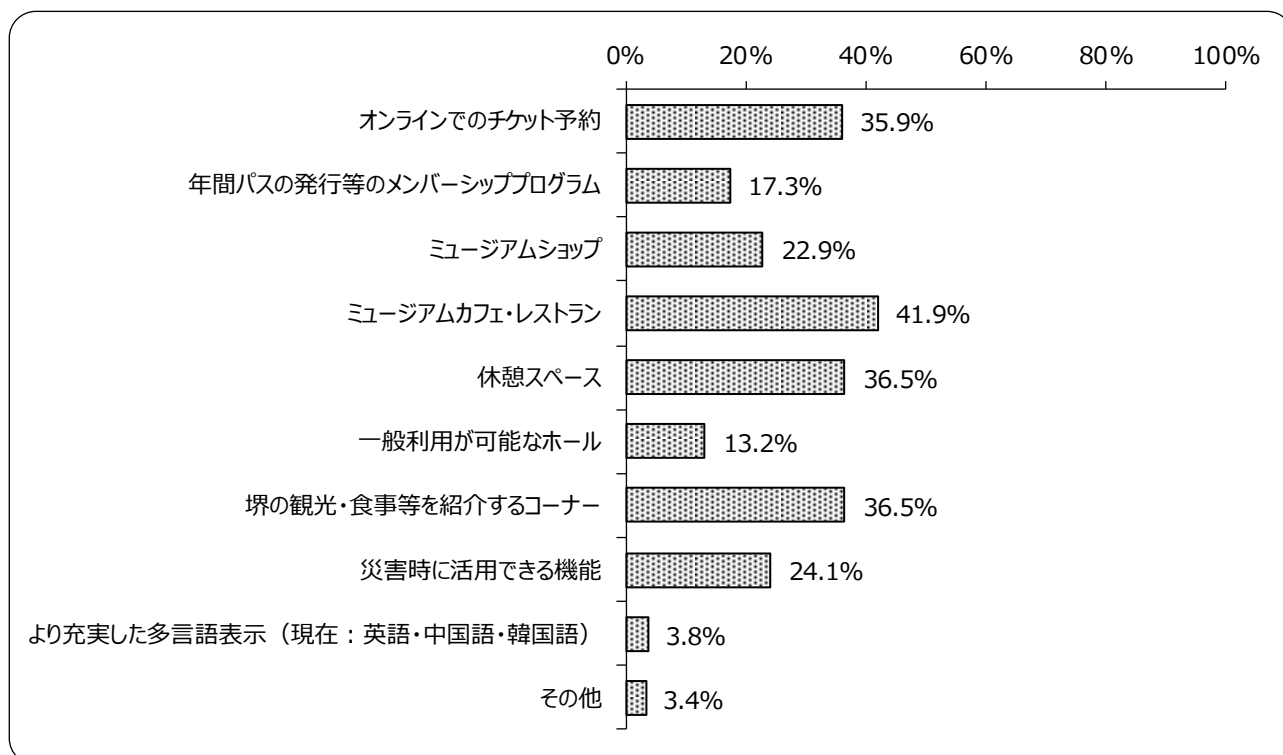
「ミュージアムカフェ・レストラン」と回答した方が 41.9%で最も多く、次いで「休憩スペース」「堺の観光・食事等を紹介するコーナー」がそれぞれ 36.5%、「オンラインでのチケット予約」が 35.9%であった。

	選択項目 (n=468)	回答数	回答数/ n
1	オンラインでのチケット予約	168	35.9%
2	年間パスの発行等のメンバーシッププログラム	81	17.3%
3	ミュージアムショップ	107	22.9%
4	ミュージアムカフェ・レストラン	196	41.9%
5	休憩スペース	171	36.5%
6	一般利用が可能なホール	62	13.2%
7	堺の観光・食事等を紹介するコーナー	171	36.5%
8	災害時に活用できる機能	113	24.1%
9	より充実した多言語表示 (現在：英語・中国語・韓国語)	18	3.8%
10	その他	16	3.4%

[10 その他]

【主な回答】

- 一回訪れたら終わりにするような展示でないものを望む。
- キッズスペース・こどもの遊び場
- イベント
- 催しの市民リクエスト
- イベントの予定が分かる掲示
- ペット可
- 無償化・市民は無料
- コンサートホール
- 分からない。
- 満足に行政できないのに何も期待できない
- 期待していない。
- 全くない。



令和 6 年度 第 2 回 市政モニターアンケート報告書

1. 自転車の利用環境
2. 大阪 880 万人訓練
3. 防災マップ閲覧方法・配架に関する効果測定
4. 上下水道局の取組
5. ごみ減量化・リサイクル
6. 生涯学習
7. 女性相談に関する意識調査
8. SDGs
9. 「（仮称）堺ミュージアム」のあり方

発行月 令和 7 年 4 月

編集・発行 堺市 市長公室 広報戦略部 市政情報課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号

TEL 072-228-7475

FAX 072-228-7444

URL <https://www.city.sakai.lg.jp/>

配架資料番号 1 - C3 - 24 - 0218
